

令和5年度 沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画 成果目標

令和6年2月22日

那覇市	1	嘉手納町	112
宜野湾市	21	北谷町	116
石垣市	28	北中城村	119
浦添市	33	中城村	124
名護市	38	西原町	129
糸満市	44	与那原町	135
沖縄市	49	南風原町	140
豊見城市	56	渡嘉敷村	149
うるま市	61	座間味村	152
宮古島市	70	粟国村	155
南城市	75	渡名喜村	159
国頭村	79	南大東村	160
大宜味村	82	北大東村	162
東村	84	伊平屋村	165
今帰仁村	86	伊是名村	169
本部町	90	久米島町	172
恩納村	93	八重瀬町	177
宜野座村	97	多良間村	183
金武町	101	竹富町	187
伊江村	104	与那国町	191
読谷村	108		

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内所の実施に必要なスタッフ(常勤9名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスのさらなる充実に勤め、本市の観光イメージアップ及び観光誘客を図る。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・案内所を利用する外国人観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	・迷惑行為に対する是正指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車への指導回数 看板：月平均510回以内 車両：月平均200回以内	【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 R5年度もR4年度に引き続き、具体的手法を検討するため、看板等の違法な設置と車両の違法駐車に目標値を分けて設定した。 成果目標値は、令和4年4月から10月の平均に1割減した値とした。
1	3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」事業等の開催支援 ・「那覇大綱挽まつり」の綱製作など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における会場設営・ボランティアスタッフの配置・広報 ・「那覇ハーリー」及び「那覇大綱挽まつり」における祭りの賑わい創出や安心安全な開催に係る業務の委託 ・「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備の実施	・「那覇ハーリー」来場者数：194,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数：272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数：48,600人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	本市における国内観光客の旅行行動、観光消費額等を把握し、その結果を観光施策の企画・立案及び成果検証に活用するため、WEBによるアンケート調査を実施する。	①統計調査 ②アンケート調査 (WEB方式による調査)	・WEBアンケート調査における回収件数600件以上。	【今後のスケジュール】 宿泊人数、平均泊数、消費額等について、過去の調査結果や全国・沖縄県と比較することで今後の観光振興施策に活用する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備しキャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数: 14,000人 	<p>【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 コロナ禍前の実績を勘案して設定した。</p>
1	6	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	「那覇まちまーい」実施に要する費用の支援	参加者数 5,280人	<p>【今後のスケジュール】 今後も(一社)那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」に要する費用に対する支援を行う。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。</p>
1	7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備の図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う	・クルーズ受入に係る事業に対する支援	クルーズ乗船客数: 188,000人	<p>今後もクルーズ受け入れに関する体制を整備するために支援を実施する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 新型コロナの影響により邦船・外国船の寄港回数の回復まではしばらく時間がかかると予測。全国1位の寄港回数を記録したH31年度(コロナ禍前)の乗船客数624,596人を100としたときの約3割で目標を積算。</p>
1	8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	<ul style="list-style-type: none"> 年間稼働数: 54回(内訳) ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎: 15回 ・沖縄国際映画祭: 4回 ・那覇ハーリー: 3回 ・FIBA/バスケットワールドカップ公式ファンゾーン: 5回 ・那覇大綱挽まつり: 2回 ・琉球王朝祭り首里: 1回 ・那覇マラソン: 3回 ・読売巨人軍那覇キャンプ: 20回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント: 5回 	<p>【スケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績と予算額を勘案して設定した。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	9	沖縄国際映画祭関連事業	H28 ～ R13	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭関連イベントの実施に対する支援。	国際通りレッドカーペット観客数 92,000人	【今後のスケジュール】 沖縄国際映画祭を4月の観光メニューとして定着させ、一層の観光振興を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	10	国際通りトランジットモール推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:35回 新型コロナの影響を受けていない過去5年間(H27～R1)の平均値で設定。 【実績】 H24:35回 H29:36回 H25:37回 H30:35回 H26:35回 R1:33回 H27:36回 R2:16回 H28:34回 R3:8回	歩行者通行量(1日) 11,200人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	一万人のエイサー踊り隊の開催支援。	来場者数:90,800人	【今後のスケジュール】 引き続き、一万人のエイサー踊り隊の開催を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	12	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R5	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することで、第一牧志公設市場を含めた中心市街地の賑わいの維持及び観光客の誘客を図る。 令和5年度は、再整備に伴い撤去されたアーケードの再整備補助を実施する。	アーケード再整備補助の実施	アーケード再整備補助の実施	【R6成果目標】 年間来訪者数目標256万人	【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	13	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年8回以上)	月平均視聴者数:16,167人 ※視聴者測定システムで測定	【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取り組む。 R6年度以降は、那覇ぶんかテンプス館との一体活用を予定。	【R5成果目標設定の考え方】 R4は新型コロナの影響も少なく、イベントも再開し視聴者数が増加し始めていることから、コロナ禍前のH30実績値を目標に設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	14	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に、案内所を設置する。	①案内所の運営 案内スタッフ:常時1名以上配置 (開所時間9時～20時 年中無休 ※元日を除く) ②中心商店街(マチグワー)情報の発信(HP、SNS、情報誌制作等)	①利用者数:14,000人 ②利用者満足度:80%以上	【今後のスケジュール】 新・第一牧志公設市場に移転したことで観光案内の利用増が見込まれる。スタッフの体制強化を図り、引き続き案内所を運営する。 ・案内スタッフの配置:常時1名以上 ・中心商店街(マチグワー)情報の発信	【R5成果目標設定の考え方】 ①案内所移転後の実績を勘案し設定した。 ②移転後の運営内容が異なるため、80%以上で設定。
1	15	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R13	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年3回) ・チラシ及びポスターの作製(年3回) ・資料梱包運搬業務委託(年1回)	来館者数 9,150人 ※H30年度の企画展1回あたりの来場者数に近い3,050人を想定 ・企画展1回あたり3,050人×3回=9,150人	【今後のスケジュール】 令和5年:沖縄の工芸や絵図・地図、文書をテーマにした企画展示を開催予定。	【R5成果目標設定の考え方】 H30年度の企画展1回あたりの来場者数に近い3,050人をベースに設定。
1	16	第2次那覇市観光基本計画策定事業	R5 ～ R6	令和6年度中の第2次那覇市観光基本計画策定に向け、基礎調査を行い、計画の将来像、骨子案を作成する。	第2次那覇市観光基本計画素案作成に向けた調査、骨子案の作成	第2次那覇市観光基本計画の骨子案を策定する。	【今後のスケジュール】 (R5) ・基礎調査実施 ・次期計画将来像・骨子案の策定 (R6) ・那覇市観光推進本部・那覇市観光審議会等の組織で計画を検討。 ・パブリックコメント等を経て、計画を策定	
1	17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ 延べ見学者数 84,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	R7年度の松枯れ予防達成率90%以上	【今後のスケジュール】 薬剤注入完了から2年後の松枯れ予防達成率を90%以上とする。	【R7成果目標設定の考え方】 枯損木の目標は過去の事業実績を基に、90%以上の予防達成率とした。
1	20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	・観光ルート沿線を対象に市民・学校等に草花を配布 ・公共花壇及び公園花壇を対象に花卉植栽を実施 ・新たな魅力創出のための立体花壇等を設置 ・亜熱帯樹木活用のための計画を作成	・立体花壇等の設置完了 ・亜熱帯樹木活用のための計画作成完了	【R6成果目標】 立体花壇等の設置後、継続してアンケート調査等を実施し、「観光地としてふさわしい景観や公園と感ずる」割合が80%以上となるよう成果目標を設定し、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R6 亜熱帯樹木活用の環境整備 チョウ園の設計	【R6成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R5	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備：道路整備工事（整備路線：山下南線外1路線）	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を検証する。	【今後のスケジュール】 R6年度検討中 整備工事：(松城中学校東側線) R7年度検討中 整備工事：(松城中学校東側線) R8年度以降検討中 整備工事：(首里地域)	【R5成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	・観光に資する路線の街路樹剪定 約1,400本 ・観光に資する路線の除草 約23,400㎡ ・鏡原小祿線の植栽整備 約550㎡	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に道路美化(剪定・除草・植栽整備等)を行い観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	【R5成果目標設定の考え方】 観光地としてふさわしい良好な道路環境及び景観の創出をはかるため、当該路線について観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じている人の割合を指標に設定した。 大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	23	都市景観資源形成促進事業	R5 ～ R13	那覇らしい個性豊かな景観まちづくりを推進するために景観資源の維持保全費用の補助及び銘板設置を行う。	・都市景観資源の維持保全等に対する補助 ・銘板設置業務の実施	・補助金の交付 3件 ・銘板設置 5件	【今後のスケジュール】 今後も都市景観資源の保全を図るため、都市景観資源の保全に対する補助を行う。	都市景観資源の補助対象を年間3件に設定した。 銘板設置については、年間5か所まで設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	24	早朝・夜間の活動時間創出支援事業	R4 ～ R6	本県は、国内有数のクルーズ船寄港地であり、本市は、県内旅行の拠点として利便性の高い国際通りエリアが所在するが、時間の限られた観光客等に対する観光コンテンツの開発等に課題があるため、早朝・夜間の活動時間創出に繋がる市内事業者等の事業立ち上げに係る取り組みを支援し、継続的な事業実施を目指す。	支援件数:3件	R6年度以降も継続して事業実施することが見込まれる事業に対する支援件数:3件	【今後のスケジュール】 補助を受けた事業の継続実施状況を確認しながら、支援の在り方を検討する。	【R6成果目標設定の考え方】 持続的な事業者の稼ぐ力や地域で消費を促す仕組みづくりを目指す事業のため、事業継続割合を設定した。
1	25	那覇市宮奥武山体育施設照明設備及びスコアボードLED化整備事業	R4 ～ R5	照明設備のLED化により、省エネ化を図るとともに、スコアボードフルLED化により、イベント開催のための機能強化を行い利用者増を図る。	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の実施	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化整備工事の完了	令和4年度 設計業務 令和5年度 照明設備LED化整備 スコアボードフルLED化整備 【令和6年度成果目標】 整備工事完了後1年目(令和6年度)の目標を以下のとおりとする。 ・二酸化炭素排出量削減効果 15t以上 ・利用者数 320,000人以上	【二酸化炭素排出量削減効果】 平成27年、28年、令和元年度に水銀灯照明設備を使用した時間から算出した各年のCO2排出量を参考値とし、照明設備をLED化した場合に過去の実績と同時間使用した際のCO2排出量と比較し削減効果を設定した。 【利用者数】 コロナ禍前の平成29年から令和元年度までの3年間の平均利用者数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数を設定した。 (参考)3年間の平均利用者数 315,911人
1	26	那覇市スポーツコンベンション推進事業	R4 ～ R6	漫湖公園市民庭球場の人工芝コート整備及び照明設備のLED化を行い、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上を図る。	人工芝コートの張替え及び、照明設備のLED化整備工事の実施 観客席への日除け設置に係る用途許可申請手続きの実施	人工芝コートの張替え及び、照明設備のLED化整備工事の実施 観客席への日除け設置に係る用途許可申請手続きの実施	令和4年度 設計業務 令和5年度 工事実施 (照明設備LED化・人工芝コート) 用途許可申請業務 令和6年度 工事実施(日除け・フェンス) 【令和7年度成果目標】 工事完了後1年目(令和7年度)の目標を以下のとおりとする。 ・施設利用者数 73,300人 ・県外からの合宿・大会開催件数:2件	【R7成果目標設定の考え方】 コロナ禍前の平成27年度から令和元年度までの5年間の平均利用者数・平均県外大会等開催数を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数と県外からの合宿・大会開催数を設定した。 (参考) 5年間の平均利用者数:69,740人 5年間の平均県外大会等開催数:1.4件

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	27	NAHAマラソン大会推進事業	R5 ～ R7	安全・安心かつ円滑な大会運営を行い、NAHAマラソン大会を継続して実施できるよう開催支援を行う。	警備費用、交通規制情報の発信にかかる費用を補助する。	参加申込者数:21,000人 (参考) 第37回NAHAマラソン大会 参加申込者数上限:30,000人	【R7年度成果目標】 参加申込者数:27,598人	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ※参考※ コロナ禍前の過去3大会の参加申込者数の平均値 (①+②+③参加申込者数合計)÷3 =27,598人 【参加申込者数】 ①第33回(H29) 28,369人 ②第34回(H30) 28,395人 ③第35回(R1) 26,032人
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・情報発信業務:3回 ・イベント及びキャンペーン等開催支援:11回 ・水産教室等開催支援:3回	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:5,148円以上 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後は漁業組合や民間企業等への助成及び業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。 ・イベントやキャンペーン実施により、マグロのさらなる消費促進を図る。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	漁業者数 197名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	水産物利活用調査事業	R4 ～ R5	マグロの胃袋等の現状では廃棄されている未利用部位を活用するための加工方法等を調査し、得られた調査結果を広く漁業者へ周知することで所得向上を図ることを目的とする。	・市内漁協へ未利用部位の廃棄状況等をヒアリング ・上記で得られた結果を基に他市町村での未利用部位の加工事例調査 ・那覇市近隣での未利用部位の加工が可能な施設の有無 ・加工品の販売先調査 ・事業採算性の調査	漁業者への活用事例の提供:3件	令和6年度以降は、漁協が調査結果を基に実施する取組について、必要な支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 市内に拠点を置く3漁協がそれぞれ活用事例の取組ができるように設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	4	泊漁港将来像構想策定事業	R5 ～ R6	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及び水産関係団体等のヒアリングをもとに、泊漁港の将来像構想を策定するための基礎調査を実施し、本市水産業を発展に繋げることを目的とする。	泊漁港将来像構想策定のための基礎調査の実施。	泊漁港将来像構想策定のための基礎調査の完了。	【R6以降の成果目標】 令和5年度に実施する基礎調査を基に将来像構想を策定し、将来像構想にて生産者及び流通事業者等の目標値を設定し、これらを達成するための支援策を実施する。	【成果目標設定の考え方】 将来像構想で設定した目標値に向けた水産業振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーを開催し、フォローアップを行う等実践的な支援を行う。	・販路拡大支援: 8件 (県内外7件、海外1件)	■商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 ■セミナー等参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上 ■個別相談支援事業者のうち、実際に販路拡大に取り組んだ割合30%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施 【R5成果目標】 ・商談成約率 10%以上	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	なはし創業・就職サポートセンター	H24 ～ R13	ビジネスアイデアやプランを持つ市民への効率的かつ効果的な創業支援や若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。	・相談窓口利用者: 1,500人 ・セミナー開催: 創業・就職各毎月1回以上	・創業者7人以上 ・利用者のうち、就職した人数の割合5%以上	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績を参考に、昨今の状況を勘案し設定した。
3	3	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内42地点で、歩行者通行量調査の実施	中心商店街の平日歩行者通行量106,000人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去2年間はコロナの影響が大きく、適切な目標値が設定できないため、R1年度実績値を目標とし設定する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ～ R13	本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施する。	①意向調査:3,000社以上に実施 ②企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問 ③市内投資環境視察や勉強会及びビジネスマッチング:1回	①誘致企業:3社 ②ビジネスマッチング参加企業:30社	【今後のスケジュール】 今後も継続的に本市への県外企業の誘致を推進するため、企業誘致活動を実施し、雇用の創出及び経済振興を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナー等の実施、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	①経営課題解決に資するセミナー:12回開催 ②専門家派遣を20社×5回(計100回実施)	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も市内事業者を対象としたセミナーの実施、企業の実情にあった制度導入のための専門家派遣を実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 アンケートにおける「経営基盤の強化に役立った」旨の回答は、経営者の意識改革や今後の具体的な取組実践に繋がる可能性が高いと考える。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	(1)経営課題に対する相談・指導。 (2)施設に関するプロモーションや業界に関する最新情報の発信を目的として、ホームページ等や冊子による情報発信。 (3)入居企業、創業期の企業、創業活動を行う個人等を対象に関連する業界の最新情報や技術に関する研修やセミナー等の開催。 (4)地域の企業、学校、住民等、参加型のキャリア教育支援又はキャリアアップ支援に繋がるイベントの開催。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。
3	7	企業立地促進事業	H28 ～ R13	那覇市における雇用拡大と産業の振興を目的に、市内に事務所等を設置し、一定数・一定期間以上、市民の新規常用雇用を行った企業からの申請に基づき、事業内容、雇用効果、産業振興への効果を総合的に検討し、助成金を交付する。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:21名 ・新規企業立地社(申請者):3社	【今後のスケジュール】 ・誘致活動サポート事業との連携 ・なは産業支援センターやIT創造館等、関係機関との連携	【R5成果目標設定の考え方】 過去3年分の新規常用雇用者数及び企業立地数の実績平均値を上回る数値を指標とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	・新商品開発支援対象事業者の選定(5事業者程度) ・商品開発にかかる経費の助成 ・テストマーケティング支援及び結果の分析 ・商品開発セミナー等の開催(3回以上) ・次年度以降の商品化に向けた支援	・新商品開発については、実施年度、新商品の企画開発・テストマーケティングの実施。 ・セミナーについて、参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発等に役立つ」旨の回答割合を80%以上。	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て販売等を行う。 【R5成果目標】 各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品等の全件数に占める割合80%以上	【R5成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。
3	9	小中学生キャリア教育支援事業	R2 ～ R13	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験を実施する。	・起業家教育プログラム:2校 ・産業教育プログラム:1校	職業観や就業意識の上昇(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。	今後も、職業観の多様化に対応した、職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成に向け取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。
3	10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小中学生を対象にプログラミング講座及びプログラミングコンテスト(小学生対象)を開催し、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	・市内小中学生向けプログラミング講座の実施。 ・市内小学生向けプログラミングコンテストの実施。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。
3	11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R5	地域の事業者が事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	事業の転換や業態変更にかかる経費の一部を補助	補助実績15事業者以上	【今後のスケジュール】 市内の落ち込んだ経済状況にある中の事業者の事業領域を広げることを支援する補助であることから、補助実績数そのものを目標設定とする。	【R5成果目標設定の考え方】 補助の性質を勘案して目標設定した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。
3	12	高度IT人材育成研修等補助事業	R4 ～ R13	市内の情報通信関連事業者が行う従業員の人材育成研修等に係る費用の一部を補助する。	市内事業者の人材育成等に係る費用の一部を補助。	補助実績10件以上	事業の性質を考慮し目標を設定したが、成果指標に加え、事業終了後にアンケート調査を実施し、事業効果についても別途把握に努めるものとする。	【成果目標設定の考え方】 本事業は、情報通信関連産業従事者の技術向上、高度人材の創出を目的としているが、資格取得のような客観的な指標があるものと比べ、IT関連イベント等への参加での人材育成については一概に人数のみで成果を判断することは難しいため、補助実績(件数)そのものを成果指標とした。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	13	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ～ R13	那覇市長賞商品の募集・審査・選定を行う。市長賞を受賞した商品等を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇市長賞及び、那覇市長賞受賞商品のPR	・市長賞申込件数:17件以上 ・受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及びPRを展開する。	【令和5年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。また、受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増も成果目標とした。
3	14	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R6	那覇市のMICE受入体制構築、誘致促進に繋げるため、MICEに関する取り組みを整理し、MICE振興戦略(案)を作成する。	・モニターツアー参加者5名以上 ・MICE振興戦略(案)作成に向けた素案の作成、検討会議における議論。	・那覇MICE受入実証モニター事業の実施 ・MICE振興戦略(案)の作成	【R6年度成果目標】 ・MICE開催件数(277件) 【今後のスケジュール】 R5:実証モニター事業、MICE振興戦略(案)作成 R6:誘致活動等の各種取組実施	【R6成果目標設定の考え方】 本格的なMICE誘致活動等を実施していくことで見込まれる効果を成果目標として設定した。 なお、開催件数の出所は「沖縄県MICE開催実態調査」であり、当該調査公表が例年7月頃になるので、開催実績が明らかにするのはR7.7月頃の見込み。
3	15	那覇市産業DX促進支援事業	R5	市内事業者に対するアンケート調査や意向調査を実施し、DX推進に必要な取組等を整理の上、支援策のマトリクスを作成する。具体的な支援策案についての市内事業者向け報告会後に本市における支援策を決定し、モデル事業者の募集・支援策実施を行う。	・アンケート調査・分析 ・分析結果をもとにした支援策マトリクスの作成 ・支援策案の提案報告会、支援策決定 ・モデル事業者の募集、支援策実施	・市内事業者の2/3以上(約12,000社以上)にアンケート調査を案内する。 ・分析結果から1業種以上を選定し、モデル事業としてDX支援を行い、取り組み内容を公表する。	本事業をとおし、行政から積極的にアプローチを行うことで、デジタル化やDXの波に乗り遅れない強い企業を育てる。	【成果目標設定の根拠・考え方】 令和3年度の実態調査において、デジタル化に取り組みたいことが特に無いと回答した事業者が25%程度であったため、少なくとも、それ以外の業種をアンケート対象にしたいと考え、2/3以上の事業者アンケート調査とした。アンケート結果から分析を行いより効果的な業種や事業に対して支援策を実施し、モデル事業として公表し、水平展開を図っていく。
3	16	那覇市進出可能産業調査事業	R5	那覇市軍港跡地を本市の産業振興のために有効活用することを目的に調査事業を行う。	業務委託によりアンケート調査、ヒアリング調査、検討委員会の実施に取り組む。	・那覇市での事業可能性のあるアイテムの発掘を実施する。 ・事業化に向けた課題の抽出を実施し、本市関係部署との共有を行う。 ・調査実施により進出可能な産業・業種について2つ以上候補を提示する。	調査により製造業またはその他産業の集積について複数の候補を出すことにより産業振興をより有効にすすめる方策の検討が進むと考える。	調査により製造業またはその他産業の集積について複数の候補を出すことにより産業振興をより有効にすすめる方策の検討が進むと考える。調査結果を基に今後の産業振興を進めたい。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	17	那覇市内事業者実態調査事業	R5	<p>島嶼県の沖縄県では本市を含め、市のリーディング産業である観光業を中心に経営基盤が弱い弱な事業者が多く、また、県民所得が全国一低い等の課題があり、特に新型コロナウイルス等の危機に対して強い経済の構築が必要である。そのため、本市独自の経済状況の調査・分析を行い、市の経済政策へ反映させることで、危機に強い本市経済の構築を図る。</p>	<p>①市内事業者5,000社以上に対するアンケート調査(サンプリング調査)の実施及び既存の調査結果等(経済センサス、RESAS等)を元にした本市経済状況の調査・分析の実施。</p> <p>②本市に求められる施策の分析・報告書の作成</p>	<p>本市に求められる施策の分析をし、政策提言を2つ以上含む報告書を作成する。</p>	<p>【R6年度以降】 コロナ禍前からコロナ禍、コロナ禍後の市内事業者が経済活動等で受けた影響の調査や本市におけるコロナ禍での支援策に対する評価等についての分析、受託者からの施策提言をふまえ、事業者から求められる施策や本市の経済・観光産業の発展に資する事業の実施・展開に活用する。</p>	<p>作成する報告書を基に中小企業振興審議会等での助言・提言も踏まえた施策を実施する。</p>
5	1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	<p>ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。</p>	<p>健康ウォーキング大会 1回 ウォーキング講座 5講座</p>	<p>・健康ウォーキング大会 参加者 4,000人以上 満足度 90% (参加者アンケート) ・ウォーキング講座 受講後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)</p>	<p>【今後のスケジュール】 ○健康ウォーキング大会の開催 ○「健康フェア」との同時開催 開催数:1回/年 ウォーキング大会参加者数: 4,000人以上 (参加者人数の定着化) ○ウォーキング講座の開催 開催数:5講座(20回)/年</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 参加者数については、3年ぶりの開催で、令和4年度開催の参加者数が3,900人いたことから、昨年度の目標3,500人から、4,000人以上と目標値を上げて設定した。 講座については、日常的な運動の習慣化が図られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p>
5	2	小中学校歯科保健予防事業	R4 ～ R13	<p>学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。</p>	<p>①むし歯予防に関する研修会の実施 全53小中学校で実施</p> <p>②フッ化物洗口の実施 小学校 4校(36校中) 中学校 2校(17校中)</p> <p>③実施校のフッ化物洗口実施率 90%</p>	<p>① 研修会後のアンケート結果 ・むし歯予防に関して概ね理解できたとする割合 80%以上</p> <p>② 実施校に対するアンケート結果 ・児童生徒のむし歯予防に対する意識が向上したと回答する学校 3校以上 ・令和6年度も継続実施を希望する学校 6校</p> <p>③ 未実施校に対するアンケート結果 ・令和6年度に実施を希望する学校 22校以上(小中学校53校中)</p>	<p>令和5年度から令和7年度にかけて、市立の全小中学校に導入する。</p> <p>【令和8年度以降の成果指標】 ①児童生徒のむし歯予防に対する意識が向上したと回答する割合 実施校の半数以上 ②むし歯に罹患する児童生徒の割合が減少する。(12歳・中学1年) 沖縄県 R2: 55.8% R3: 未発表</p>	<p>【活動指標について】 実施率については、フッ化物洗口を実施する児童生徒の率で、H27～R元年にモデル校として小学校1校で実施したところ、5年間の実施率の平均が91%であったため、先行実施率を「90%」と設定した。 ※フッ化物洗口にあたり保護者の承諾書を得る。</p> <p>【成果目標設定の考え方】 ②意識が向上したと回答する学校数については、意識の醸成については時間がかかると予想されるため半数以上の学校とした。 ③年次的に実施校を拡大していく計画としており、実施校での成果やアンケート結果を踏まえ、実施を希望する学校が増えることを目標とする。(市全体の約半数の学校22校を目標とする)</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覽

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	<p>学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣を行う。中学校において採点システムを利用する。</p>	<p>学習支援員配置: 小学校 36人 中学校 20人</p> <p>学習支援ボランティア派遣: 小中学校 54校対象</p> <p>採点システムの利用: 中学校 17校</p>	<p>①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +1.5ポイント</p> <p>②中学校数学(1年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +3.0ポイント</p>	<p>【今後の方針】 ・学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境を提供する。 ・引き続き学校教育に精通した退職教員を中心に人材確保に努める。 ・児童生徒の習熟度に合わせ個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。 ・中学校において採点システムを利用することで、定期テストや小テスト、単元テストで採点・集計や分析を短時間で行うことができ、レスポンスを早めることで生徒の学習意欲の向上と学習の定着状況の把握、個別の学習支援に繋げ、授業の改善に資する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査は、R2年度から小学校3学年が対象外となったため、小学校3学年の指標は、沖縄県学力定着状況調査の結果を利用する。 中学校1学年については、沖縄県学力到達度調査の結果を指標に設定する。 正答率は、テストの難易度に影響されるため、県全体の正答率の平均との差を指標とする。 指標の過去2年間の実績の平均をR5年度の成果目標とする。</p>
6	2	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	<p>多様性や国際性を身に着け、英語で適切に対応できるコミュニケーション能力の育成を図るため、市立の小学校及び中学校に英語指導員を配置し、長期的な英語指導を行う。</p>	<p>各小中学校に英語指導員を配置。 ・小学校(外国人14人、日本人14人) ・中学校(外国人10人)</p>	<p>①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合80%以上 (アンケート調査実施)</p> <p>②中学校 (中学2年生対象)沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +3.5ポイント</p>	<p>【今後の方針】 英語指導員の活用に当たっては、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。 英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 小学校においては、児童へのアンケート結果をもとに成果目標を設定する。 中学校においては、沖縄県学力到達度調査結果を活用し成果目標を設定する。</p>
6	3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R13	<p>特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育補助員の配置や特別支援教育相談員及び特別支援教育指導コーディネーターの派遣を行う。</p>	<p>・特別支援教育補助員配置:小中学校100人 ・特別支援教育相談員派遣:教育相談・検査・面談等の実施 ・特別支援教育指導コーディネーター派遣</p>	<p>・特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上)</p> <p>・対象児童生徒の保護者へアンケート実施</p>	<p>【今後の方針】 特別支援教育補助員の配置や特別支援教育相談員及び特別支援教育指導コーディネーターの派遣を引き続き行い、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。</p>	<p>【成果目標の考え方】 特別支援教育補助員の対応への満足度については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。 また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。</p>
6	4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24 ～ R13	<p>特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。</p>	<p>○有資格の主任ヘルパー、特別支援教育ヘルパーの配置人数 (配置目途数) 主任ヘルパー:19人 6Hヘルパー:44人 4Hヘルパー:34人</p>	<p>特別支援教育ヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 特別支援教育ヘルパー対応への満足度の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	5	不登校対策等支援事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行う。	(1)相談室の設置 ①電話相談150件 ②来所相談280件 ③アフターケア40件 ④教師へのメンタルヘルス10件 ⑤コンサルテーション40件 ⑥支援員コンサルテーション270件 (2)心理的・情緒的不安が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ①正式入級者数:6～8名、体験入級者数:20名/年 ②体験活動2回/週、学習支援2h/日 ③スポーツ活動・ソシヤルスキルトレーニング:20回/年 (3)学習支援室の設置 ①在籍者数:70～80人 ②学習支援:1～2h/日、2～3回/週 (4)問題行動化が理由で不登校の児童生徒を対象とした自立支援教室の設置 ①通級支援:20名/年 ②一時支援:25名/年 ③集中支援:5名/年 ④学校支援:5名/年	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【成果目標設定の考え方】 「第3次那覇市教育振興基本計画(令和3年3月策定)」 【基準値 令和元年度】 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校23.7%、中学校20.2%
6	6	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R13	不登校の改善を図るため、学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行う。	①相談支援件数1,200件 ②相談支援回数24,300回	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【成果目標設定の考え方】 「第3次那覇市教育振興基本計画(令和3年3月策定)」 【基準値 令和元年度】 相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校23.7%、中学校20.2%
6	7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	・児童生徒へ旗頭演舞の指導を実施 ・旗頭の制作及び修繕 ・児童生徒の成果発表の場として「やる気・元気旗頭フェスタinなは」の開催	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:888人	今後も、児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため「やる気・元気旗頭フェスタinなは」を開催する。	【R5成果目標設定の考え方】 成果目標は過去3年度の実績値の平均値で設定した。
6	8	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ R13	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	・専任指導員の配置数:6人 ・青少年指導員の配置数:17中学校区に各5人程度	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.5%	今後も継続的に巡回指導を行い、問題行動の把握と青少年の非行の早期発見及び早期対応を行う。	【成果目標設定の考え方】 那覇市の19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合は年々減少傾向にあるが、新型コロナウイルスが収束した場合、経済活動の活発化における外出者の増加等も想定し、コロナ禍前の令和元年度実績値の同等程度を目標設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄のスポーツ振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する補助を継続する。	【成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒を普段から見守る立場である保護者が、児童生徒の変化の状況を把握しているものと考え、島内ではできない経験をすることができたかどうかを聞き取ることで検証できることから本指標を設定した。 80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
6	10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	○航空運賃実費の1/2若しくは全額補助 ○H27～R3年度(R2年度除く)実績補助人数 374人 航空運賃往復1人あたり38,360円の半額若しくは全額を補助。	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(90%以上)派遣後に保護者へのアンケート実施	【今後の方針】 引き続き派遣費の補助を行い、保護者へのアンケート調査を実施する。結果を踏まえながら事業の在り方を検討する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 【6-9 児童のスポーツ県外派遣補助金との相違点】 6-9は、学校外で活動するスポーツ少年団などを対象とし、本件事業は学校教育の一環で行なわれる部活動を対象としている。
6	11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:36校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 88%以上	【今後の方針】 自然教室を継続して実施する。アンケートを実施し、児童の社会性が向上したという回答数が85%以上を維持する。	【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R8	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	・校舎等外壁の塗装:小学校1校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	【今後のスケジュール】 令和8年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和8年度以降は、事業の効果(劣化の抑制状況)の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 ※過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	13	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R8	乳幼児の健やかな発達を保証し、就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等を早期に把握し支援を行う。	・1歳6か月児、3歳児健診会場での保育観察の実施(年間87回) ・発達相談の実施(64回) ・親子教室の実施(24回) ・育児教室等の実施(8回) ・関係機関との調整会議(1回) ・発達支援研修会の実施(1回)	①アンケート調査により発達相談及び親子教室後の保護者等の満足度(80%以上) ②乳幼児健診や育児教室等における支援を必要とする児及び保護者の早期把握の数(健診会場保育観察から地区保健師につながった人数:年間120人以上)	【今後のスケジュール】 アンケート調査及び活動実績から事業内容を検証し、必要に応じ改善しながら令和8年度まで継続実施する。	【R5年度成果目標設定の考え方】 ①概ね肯定的であるという数値として満足度を80%とした。 ②乳幼児健診の会場や地域の子育て支援センター等での保育観察、出前教室を早期把握の機会と捉えた。健診における保健相談で発達について要経過観察とつながる割合は50% 保育士の健診年間48回×5人(1回の健診であたりの気になる児)÷50%=120人
6	14	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R13	認可外保育施設の衛生環境の向上を図ることを目的とし、保育室や調理室等必要箇所衛生消毒及び害虫駆除等を実施するため専門業者へ委託を行う。	衛生消毒及び害虫駆除実施施設数約49施設	環境整備事業への申請施設数:49施設(100%)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に施設の衛生消毒及び害虫駆除を実施し、衛生環境の向上及び維持を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 認可外保育施設全施設(49施設)対象
6	15	夜間認可外保育施設安全対策事業	R5 ～ R13	夜間認可外保育施設における児童の安全対策及び保育の質の向上を目的に、児童の睡眠中の事故防止対策を実施するため夜間に保育士を配置した施設に対し、その雇用に要する費用の一部を補助する。	当該事業における保育士確保数:3人	夜間保育時間中の保育士配置施設:3園	【今後のスケジュール】 夜間保育時間中の保育士配置施設 令和5～8年度:3園 令和9～12年度:4園 令和13年度:5園	現状を上回る値として設定した。 夜間保育時間中の保育士配置施設 現状:5園中1園 R5年度:5園中3園
6	16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R9	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより、保育士を確保し、待機児童を解消することを目的に、待機児童の多い1歳児クラスについて、国の職員配置基準を超えて配置する保育士1人分の人件費を保育施設へ補助する。	1歳児クラスの職員配置について、国基準を超えて配置した保育施設に対する補助数:35施設	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率:12.6%	【今後のスケジュール】 1歳児クラスの職員を国基準を超えて配置した保育施設に対する補助を継続することにより、離職率を全国並みに近づける。	【R5成果目標設定の考え方】 那覇市内私立認可保育施設等のR3年度の離職率をR4年4月に調査した結果13.4%であった。 5年後に全園の平均離職率に近づくよう毎年0.4%の改善を目標としR5年度の目標値としたい。
6	17	学校ICT支援員配置事業	R4 ～ R8	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようにサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	・ICT支援員の配置数:9人	(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする (2)各種業務履行上の改善提案件数を月に1件以上とする	【今後のスケジュール】 今後も継続的にICT支援員の派遣を行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	【成果目標設定の考え方】 (1)75%の設定については対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。 (2)各学校における課題解決のため月1件以上の改善提案を受託者に求める。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	18	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R9	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対応できる社会を形成する。	・債務負担行為設定による事業契約(地域事業説明会・解体工事・基本設計・実施設計・建築工事を含む) ・地域事業説明会の実施	・事業契約の締結 ・地域事業説明会の完了	【成果目標】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%(対前年増加率を7.5%増)を目指す。 (R3年度市民意識調査:市民の地域コミュニティ参加率22%) 【今後のスケジュール】 R5年度:事業者公募 R5～6年度:現市民会館の解体 基本設計・実施設計 R7～9年度:工事	【成果目標設定の考え方】 供用開始後5年目における市民の地域コミュニティ参加率31.6%を目標として設定した。
6	19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	R5 ～ R7	市内小学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器を整備し、児童の情報端末との連携を強化することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	市内小学校 小学校5年生 普通教室 101教室	・ICT機器を活用した授業が学習意欲を高めるのに効果があったとする児童の回答割合:85%(小学校平均)以上 ・ICT機器を活用した授業が児童の学習の理解(知識・技能)を高めるのに効果があったとする教員の回答割合:85%(小学校平均)以上	【今後の方針】 今後、令和7年度までに小学校の全普通教室に電子黒板などのICT機器を整備することにより、こども達の学習意欲を高める。	・電子黒板などのICT機器の整備により、学習意欲を向上させ、学習への理解を深めることが期待でき、全国学習状況調査で正答率を向上させることにつながる。
7	1	なは青年祭補助事業	H29 ～ R13	地域における伝統芸能の保存継承や新たな文化活動の創出を図るため、青年団体等が日頃の活動の成果を披露する「なは青年祭」の開催を支援する。	「なは青年祭」の開催に係る事業費の補助	「なは青年祭」への参加数 ・演舞団体数:21団体 ・演舞者数:280人	今後も、青年達の交流の場の創出とともに、伝統芸能の保存継承に繋がるよう、「なは青年祭」の開催を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 R4年度の目標を据え置いた。
7	2	文化芸術拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館展示室環境整備)	R4 ～ R5	ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化するために、音声・映像等を活用した解説環境を整備する。R5年度は音声ガイドを製作する。	音声ガイドの製作	音声ガイドの製作完了	【R6年度成果目標】 音声ガイドの満足度(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業の成果について検証する。	【R6年度成果目標設定の考え方】 外国人観光客を含む多様な観覧者への発信が強化されたかを図るため、音声ガイドに満足した人の割合80%以上をアンケートにより検証する。
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体へ補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる、市内の民俗芸能団体12団体の保存継承	【今後のスケジュール】 今後も那覇市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図るため、当該芸能団体へ補助金を交付する	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」の開催に係る事業費の補助	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数:730人	【今後のスケジュール】 今後も、文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ※コロナ禍の影響を受けず実施した令和元年度の実績
7	5	文化芸術ふれあい事業	H24 ～ R13	那覇市の歴史や文化を再認識し、文化資産として普及・継承・発展させていくを図るため、本市の指定無形民俗文化財等の地域に根付いた民俗芸能を一堂に披露する「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演の開催	地域文化芸能公演への来場者 1,070名以上	【今後のスケジュール】 沖縄伝統芸能に触れる機会の創出し、普及・継承・発展へ繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
7	6	尚家文書公開・刊行事業	R5 ～ R13	国宝であり、沖縄・那覇において形成された独自の文化の記録として第一級の資料である尚家文書の内容を一般に公開することにより、沖縄の伝統文化の保全・継承を図る。	尚家文書のうち、中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。	中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。	R5年度は、尚家文書のうち、中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。令和8年度の首里城正殿再建および中城御殿の復元までに両所に関連する文書の翻刻を行い、その後も沖縄の歴史・文化の継承や研究の深化等に資するため、継続的に翻刻と公開に取り組む。	中城御殿について記された3点中2点の翻刻を行い、一般に公開する。
8	1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員配置:1名	①ボランティア登録者数(新規)150人 ②ボランティアのマッチング件数250件	【今後のスケジュール】 今後も市民のボランティア活動推進のため、ボランティア支援員を配置する、	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置:1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱える方からの相談に対応するため、総合相談窓口への専任相談員を配置する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が相談したことにより解決に役立ったと考えられる値として80%を設定した。 本事業のあり方については、アンケートにより実施する。
8	3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生の児童に対し、国語、算数、理科、社会及び英語を学ぶ教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。	市内の低所得世帯の小学校4～6年生の児童に対し、教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。(660人分)	支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	【今後の成果目標】 支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 令和2～3年度に行ったモデル事業において、支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、その結果から目標値を設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	1	沖縄戦体験者証言記録映像制作事業	R4 ～ R5	戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	・証言者の選定:2名 ・業者の選定 ・映像制作	体験者(2名)映像制作の完了	・映像を市内小中学校へ配布し、平和学習において活用してもらい、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していく。 ・市ホームページへ動画を掲載し、市民の平和意識の啓発につなげる。	【成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大半の学校で活用されたと判断できる数値として設定した。
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	・長崎市へ派遣する平和学習派遣生徒を選定:8名 ・沖縄戦を学ぶ事前研修を実施し、長崎市で開催する「青少年ピースフォーラム」へ派遣 ※台風により長崎派遣は中止	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	戦争の恐ろしさについて理解を深め、平和の尊さを学ぶことにより、平和に対する意識の高揚や次の世代へ継承する人材育成を図るため、継続的に実施していく。	【成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち、概ね肯定的であるという数値として設定した。
11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・講習会講師の配置 2名 ・定期救命講習会 28回(普通救命講習Ⅰ・Ⅲ・上級救命講習・応急手当普及員講習) ・出前救命講習会 120回(入門コース・普通救命講習Ⅰ・Ⅲ) ・広報活動の実施 10回(ポスター配布等) ・消防署見学における救命講習(入門コース):40回 ・オンライン講習会 12回	①応急手当講習受講者数:6000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定。 ②受講者の大半が緊急時に応急手当が実施できると考えられる値として設定した。 また、講習会実施後のアンケートにより検証する。
11	2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減するため、既存保安灯を消費電力の少ないLED照明へ切り替える設置者(自治会等)に対して補助金を交付する。	保安灯をLED照明へ切り替えを行う自治会等に対して補助金を交付し、保安灯300灯をLED照明へ切り替える。	二酸化炭素排出量の削減 28,428kg-CO2以上/年 削減	【今後のスケジュール】 自治会等が管理する保安灯をLED照明への切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。	【R5成果目標設定の考え方】 保安灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市							
事業番号 バ 細	事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11 3	災害備蓄品整備事業	R5 ～ R7	大規模災害時等に備え、観光客の避難者を対象とした「最低3日間」分の食糧品及び資機材等の災害備蓄品の充足及び拡充に向け、令和5年度においては、整備予定数の概ね3分の1を整備する。	【購入予定備蓄品】 保存水(500ml)・・・10,956本 アルファ米・・・788食 ヒートレスカレー・・・3,842食 紙おむつ(幼児用)・・・907枚 紙おむつ(大人用)・・・1,839枚 毛布・・・433枚 タオル・・・4,502枚 ウェットティッシュ・・・433パック	【目標到達率(備蓄率)】 〔「最低3日間」比〕 ・R4(現状) 食糧品:93% 資機材:87% ・R5(現状) 食糧品:93% 資機材:87% ・R5 食糧品:95% 資機材:92% ・R6 食糧品:97% 資機材:96% ・R7 食糧品:100% 資機材:100%	【観光客に係る備蓄率】 〔「最低3日間」比〕 ・R4(現状) 食糧品:93% 資機材:87% ・R5 食糧品:95% 資機材:92% ・R6 食糧品:97% 資機材:96% ・R7 食糧品:100% 資機材:100%	国の防災基本計画において、「最低3日間、推奨1週間」分の食料、飲料水、携帯トイレ等の備蓄が求められている。
11 4	なは市民協働プラザ省エネ化推進事業	R5 ～ R6	なは市民協働プラザ(市民活動支援施設)の照明器具を二酸化炭素排出削減に効果のある省エネ型LED照明に切り替える。	・アスベスト調査 ・設計業務の実施	・アスベスト調査の完了 ・設計業務の完了	【今後のスケジュール】 ・LED照明化代替工事 【R7年度成果目標】 ・二酸化炭素排出削減量: 約120,461kgCO2	工事見積業者より提出された経済比較表を根拠とした。
11 5	災害に強い塵芥収集運搬業務体制強化事業	R5	塵芥収集業務の確実な通信手段を確保することで、市民生活はもとより、観光業も含めた防災体制の強化を図り、安心・安全な観光まちづくりに寄与するため、天候や地形等に影響を受けやすいアナログ無線機をこれらに強いIP無線機に切り替える。	1.IP無線機入札・契約・検品 2.次年度当初からの運用に向けたマニュアル等の策定	試用期間中に不通となる件数:0件	【令和6年度成果目標】 災害時に不通となる件数:0件	確実な連絡手段を確保するという目的のため、「災害時に不通となる件数をゼロ」となることを目標とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	H24～R13	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業まつり」の開催を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球海炎祭・・・来場者数1.75万人 ・はごろも祭り・・・来場者数16.8万人 ・産業まつり・・・来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数⇒コロナ禍前の水準であるH30年度実績と同等数を目標値とする。 H30年度実績:279,874人 【目標値】:28万人 	<p>今後も観光産業の振興を図るため、「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」、「産業祭り」が継続して開催ができるように支援を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催ができた過去3年間の実績をベースに来場者の約5%増を成果目標とする。 ・宿泊施設の宿泊者数はコロナ禍以前の水準を目標として設定した。
1	②	企画展開催事業	H24～R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展の開催:年2本	企画展1本あたりの平均入館者数:1,390人以上	【今後のスケジュール】年間2本以上の企画展を開催する。	【R5成果目標設定の考え方】コロナ禍により入館者数の落ち込みがみられることから、目標指数はR2～4年の平均入館者数をもとに設定した。
1	③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25～R13	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	1万鉢の花の植樹	キャンプ会場の装飾(花)に対する来場者の満足度 80%以上	今後も美ら島沖縄、宜野湾を全国へPRし、観光産業の振興を推進するため、グリーンコミュニティ事業を継続して支援する。	【R5成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30～R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(駐車場・照明灯整備)の実施	再編整備工事(4期)(駐車場・照明灯整備)の完了	【R11成果目標】施設利用者数 655,000人 【今後のスケジュール】R5:再編整備工事(4期)	【R11成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	嘉数高台公園施設等施設整備事業	H30～R5	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性の向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事(4期)(落下防止手摺等、展望台機能拡張)の実施	再編整備工事(4期)(落下防止手摺等、展望台機能拡張)の完了	【R6成果目標】戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】R5:再編整備工事(4期)	【R6成果目標設定の考え方】対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ~ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う宜野湾まりん協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	ぎのわんマリン協会の支援	ダイビング・シュノーケリング客: 400人/年	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴの植樹、清掃活動等を継続して実施する。 ・本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。 ・体験ダイビングにおける観光客の誘客を図る。 ・マリン協会として自主財源を獲得できる取組みを実施する。 ・市内ダイビング事業者にダイビングスポットの共有を行い、本市の海を多くの事業者が活用できるように取組む。 	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ~ R13	スクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○SSW18名の配置 ○SSWIによる児童生徒の支援数489名(支援数は前年度実績) 	不登校や課題の改善に向けて変容が見られた割合、前年度実績(56%)以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な支援が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。
2	②	適応指導教室事業	H24~ R13	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。	入級児童生徒の集団活動や学校適応等に関する支援を実施する。 (適応指導教室入級児童生徒数:2名)	入級児童生徒が適応指導教室または原籍校へ登校できた日数:出席すべき日数の60%	【今後のスケジュール】 他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 令和4年度の実績(4月から10月)を参考に設定。 【出席日数/出席すべき日数】
2	③	児童生徒等相談事業	H24 ~ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床心理士等5名の配置 ○臨床心理士等による児童生徒の支援数189名(支援数は前年度実績) 	学校生活への適応や状況改善に向けて変容が見られた割合前年度実績(26%)以上	【今後のスケジュール】 支援対象者は、長期的な心のケア等が必要である場合が多いため、今後も継続した支援体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 不登校等課題を抱える児童生徒や保護者の支援として、効果があったと考えられる値として設定した。
2	④	非行防止等巡回活動事業	H24 ~ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ○街頭指導員16名の配置 ○週3回、21時~23時頃、市内の公園を中心とした夜間街頭指導の実施 ○年1回研修の実施 ○特別街頭指導(中学卒業式) 	・年間の街頭指導実績件数が、前年度実績の12%減	深夜はいかいは非行の入口と言われるほど、不良行為との関りが高いと言われている中、本県は気候や産業の形態から夜型社会と言われ、その影響は青少年にも及んでいると考えられる。そのため、今後も街頭指導員を配置し、青少年の非行の未然防止や早期発見・抑止効果を目的に、夜間街頭指導を実施し、関係機関と連携し青少年の健全育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 コロナ禍のため計画通りの活動に取組めない状況があるが、過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	県学力調査(6月、2月実施)の正答率30%未満の児童生徒の割合(県平均差)を県学力調査 正答率30%未満の子の割合について、小中学校ともに県平均との差を-1ポイント減少(6月と2月比較)	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒が部活動等で県外の大会へ派遣される際の航空運賃に対し、補助金を交付する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数:10団体 (スポーツ活動団体:9団体、文化活動団体:1団体)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「補助を受けたことにより、旅費の負担が軽減され県外大会に参加がしやすくなった」:80%以上	保護者へのアンケート結果を勘案しながら、補助の対象範囲や補助額等を検討しつつ、事業を継続的に進めていく。	【R5成果目標の考え方】 アンケート結果「県外の大会への参加が容易になった」80%は、大多数の児童生徒へ効果があったと考えられる値として設定した。
2	⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体等へ県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体等への支援を実施 支援人数(見込み):200人	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	【今後のスケジュール】 R3のアンケート結果は、「視野が広がったと思う」が90%を超え、県外へ派遣された大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる。 今後はこの数値を維持するため、継続して支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。
2	⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園:10人、小学校46人、中学校16人)	学校、保護者の満足度:88%以上	今後も宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑨	はごろも学習センター施設機能強化事業	R5	年々複雑多様化し、増加する教育相談・不登校対策業務に対応するため、プライバシー確保に配慮された間取りへの変更など、利用者が安心して通所できる施設整備を実施する。	施設整備工事の実施	工事の完了	【R6成果目標】 教育相談を実施する施設として「安心して利用できた」(80%以上)	【R6成果目標設定の考え方】 利用者(児童生徒、保護者)のうち大多数がプライバシー保護がされていて、安心できるとした値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～ R13	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	野嵩石畳道の基本設計を行う。	①野嵩石畳道基本設計:1件	【R8成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 220人以上 【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。 R5年度:基本設計 R6年度:実施設計 R7年度:保存整備工事 R8年度:公開	【R5成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市教育委員会主催の文化財教室)等を参考に設定した。
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～ R13	市立博物館が所蔵する写真資料の整理を行い、写真データおよび歴史的公文書の公開を行う。	・デジタル化済み写真データの情報入力。 ・情報入力が進んだ写真データの順次公開。 ・公開基準に基づいた歴史公文書の順次公開。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上。	【今後のスケジュール】 写真資料の整理を行い、システム上に写真データを公開する。また、歴史公文書についても並行して整理を行い、順次公開をすすめていく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	【平和大使育成事業】 県内研修に参加する人数 ・市内中学生:8名、青年層:1名 ・フォローアップ研修:1回 【平和祈念事業】 啓発イベント回数:5回実施	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	【今後のスケジュール】 市立中学生8名及び市内青年層1名に平和大使に認定証を交付し、県内研修に参加する。派遣後は、平和大使として市が実施する平和事業に関わっていただき、市民に戦争の悲惨さや平和の大切を啓発していく。翌年のフォローアップ研修を行うなど取り組みを継続していく。	【R5成果目標設定の考え方】 啓発事業のため、どのように感じたのかだけでなく、アウトプットについてもアンケート項目に入れ、本事業の効果的な在り方について検証を行う。
4	②	英語教育推進事業	R4～ R13	英語指導助手(ALT)を小学校に1名～2名ずつ派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。また、英語指導助手(ALT)を中学校に1名ずつ派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	・市内小学校9校へALT(各1～2名)を派遣 ・市内中学校4校へALT(各1名)を派遣	①ALT配置等による「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより) 生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90%以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85%以上 ④6月実施県学力定着度調査の県平均との正答率の差+1ポイント(中学校3年生)	【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号 バ細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
4	③	学校ICT活用指導支援事業	R4～R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校ICT業務担当員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	学校ICT業務担当員:2名配置 情報夏期講習会:13回	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が理解・習熟していると考えられる値として設定した。
4	④	中学生語学研修派遣	H31～R13	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。 また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	・市内中学生10人を国内語学研修施設へ派遣(5泊6日)	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を95%以上	【今後のスケジュール】 コロナ禍により短期海外留学については未だ不透明な部分が多いため令和5年度についても国内の語学研修を実施するが、今後は海外での留学の機会を与え、生活体験を通じた異文化理解と英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	図書館遠隔地サービス事業	R5	公立図書館へのアクセスが厳しい地域等を定期的に巡回し、図書館利用の難しい市民の学習環境の向上を図るため、移動図書館を導入する。	移動図書館購入	移動図書館配備完了	【令和6年度当初から令和14年度成果目標】 ・巡回回数1,872回 ・利用者数72,090人 ・貸出冊数262,881冊	【R6成果目標】 ・巡回回数208日 ・利用者数8,010人 ・貸出冊数29,209冊
5		市民防災事業	H27～R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄を行い災害に強いまちづくりを推進する。	①保存食及び保存水等の備蓄 ・R5年度備蓄食糧購入5,500食 ・R5年度保存水購入(500ml)1,104本 ・R5年度非常用おむつ(子供用)1,272枚 ・R5年度非常用おむつ(大人用)568枚 ・R5年度災害備蓄用生理用品2,150枚 ・R5年度液体ミルク360缶 ・R5年度アレルギー対応ミルク1缶 ・R5年度ほ乳ボトル50個	①保存食及び保存水等の備蓄 ・R5年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R5年度保存水 備蓄率12% ・R5年度非常用おむつ(子供用)33% ・R5年度非常用おむつ(大人用)33% ・R5年度災害備蓄用生理用品38% ・R5年度液体ミルク33% ・R5年度アレルギー対応ミルク33% ・R5年度ほ乳ボトル100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	引き続き、宜野湾市地域防災計画に基づき設定した必要な保存食・保存水を備蓄し災害に強いまちづくりを推進する。また、これまでに整備した資機材を活用した防災訓練を年2回以上は実施することを目標とする。	【R5成果目標設定の考え方】 宜野湾市防災計画に基づき設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、若手地権者等によって構成される「若手の会」等の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びねたてのまちベースミーティングの活動を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。	跡地利用の実現に向けた取組の具体化	「跡地利用の実現に向けた取組の具体化」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	(後年度の成果目標) 跡地利用計画策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【計画策定の進捗スケジュール】 R1 配置方針・配置方針図の更新 R2 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」(事務局案)作成へ向けた検討 R3 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」(委員会案)作成 R4 「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」作成 R5 「跡地利用の実現に向けた取組の具体化」作成	中間取りまとめの段階では、具体的な内容やスケジュールが決まっていないため、跡地利用計画策定後、跡地利用計画に対する、市民・県民・地権者等からの肯定的な評価が80%以上得られていることを成果目標とする。
7		地域キャリア教育支援事業	H30～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校でキャリア教育プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の年2回の開催 ・市内小中学校全校でのキャリア教育プログラムの実施 ・中学生の職場体験前のマナー講座等の実施 ・保護者向けキャリア教育講演会の拡大(2回以上)	児童生徒へのアンケートで就業意識が肯定的に変化したことが分かる割合:80%以上	【今後のスケジュール】 アンケートの結果をもとに、地域ぐるみでキャリア教育プログラムに取組めるよう努める。また、コロナの影響もあるが、学校担当者により対応にばらつきがあるため、全小中学校でのプログラム実施に向けて、取組みを強化する。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識の向上が図られれば、若年者の失業率が改善すると考えられる。
8		市民会館機能強化事業	H31 ～ R6	建設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①施設工事【機械設備】 ②施設工事【電気設備】 ③工事監理業務【機械・電気】	施設工事(機械設備)、施設工事(電気設備)、工事監理業務(機械・電気)の継続	【R7成果目標】 利用者実績 24,619人 年間公演数34回 【今後のスケジュール】 R6: 施設工事(機械設備)、施設工事(電気設備)、工事監理業務(機械・電気)	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し、設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		宜野湾市基地返還跡地 転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切 な利用を推進するため、基金を造 成し、土地の先行取得に取り組 む。	・基金の積立	<ul style="list-style-type: none"> ●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 25,000㎡ ※先行取得目標面積 195,400㎡ ●インダストリアルコリドー 特定事業の用に供する土地取得目標 5,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡ 	【今後のスケジュール】 返還後の跡地利用の推進を図るべく、 令和13年までの間で、普天間飛行場及 びインダストリアルコリドーにおける必 要な土地について100%の取得をめざ し、計画的かつ継続的に先行取得を 行っていく。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、ICTを活用した情報発信、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・石垣島天文台併設の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施 ・南の島の星まつりへの補助 ・とぅばらーま大会への補助 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベントへの補助 (観光客の利便性向上) ・空港にて観光案内サービスを実施	(観光誘客) ・コロナ禍で停滞していたクルーズ船受け入れ体制の再構築 ・南の島の星まつりへの来場者数: 4,500人 ・とぅばらーま大会観客数: 1,500人 ・音楽創造都市石垣推進市民協議会イベント: 500人 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 『第二次石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 観光需要のV字回復を目指し、コロナ禍以前の状況に順次戻していけることが理想だが、様々な感染症対策を考慮して、有観客で実施することを最大の目標として、令和元年度の約50%を設定した。
1	②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R13	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 6,000人以上	【今後のスケジュール】 運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R6	スポーツを通じた観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。	・屋内プール再整備基本設計の実施	・屋内プール再整備基本設計の完了	【R14成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用した団体等が主催するスポーツ大会等の開催数6回以上/年間 【今後のスケジュール】 公園全体の再整備に向けた基礎資料を整理(基本設計等)し、各施設の再整備を行っていく。	【R14成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R5	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	・クルーズターミナル整備工事(2工区)の実施	・クルーズターミナル整備工事(2工区)の完了	【R6成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 343回以上/年 【今後のスケジュール】 クルーズ船寄港回数の増加する施策を継続して行う。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童ゼロの維持に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・保育士養成校への支援 ・保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	・待機児童数: 0名	【今後のスケジュール】 待機児童ゼロの維持に必要な保育士を確保する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
3	②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。	・年間支援対象世帯数:4世帯	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内でのPR販促活動を行う。	・税関空港活性化運用業務 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築(保税蔵置場の設置、運営、利活用促進) ・販路開拓業務 地産地消、域外、海外販路における物産PR活動	・牛肉の輸出額:1,200千円/一頭当たり	【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	・優良母牛導入補助の実施 ・優良肥育素牛への補助実施 ・海外輸出適合施設整備の支援 ・殺虫剤購入費補助の実施 ・高齢繁殖母牛早期淘汰の補助実施 ・靴底消毒の実施(空港・離島ターミナル)	①素牛の年間出荷頭数:7,106頭以上 ②素牛の平均販売額:670千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:812頭以上 ④肥育牛の年間売上高:931百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖魚類種苗の輸送費支援 ・冷凍餌の輸送費支援	・養殖魚類種苗の輸送費支援完了 ・鯖漁等の水揚げ量:612トン	【R7成果目標】 ・養殖魚類水揚量:5,295尾以上 【今後のスケジュール】 養殖魚類生産量の増加に資する支援を継続して行う。	【R7成果目標設定の考え方】 種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。
5	①	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・県内外大会等派遣児童生徒支援	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が島内ではできない経験をする事ができたと考えられる値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	②	平和推進事業	H24 ～ R13	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 広島・長崎への平和大使派遣 慰霊祭、平和フォーラム等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> コンクールや催事に参加した児童生徒を対象にアンケート行い、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業の在り方について検証する。 慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740人以上 	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。
5	③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児から就労までライフステージに応じて、心理専門職による発達相談等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 心理専門職による発達に係る各種相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において、発達要フォロー児と判断された児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合が15%以上 心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証 	【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制を構築するとともに、支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ・1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合は、過去の実績を勘案して設定した。 ・育児・発達等に対する不安が軽減されたかについては、相談、支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	④	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自律サポーターの配置:24名 	<ul style="list-style-type: none"> 自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上 	【今後のスケジュール】 きめ細やかな自律を促進する支援により、自己肯定感の向上及び自律的学習習慣の定着を図る取組を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒の自己肯定感の高まりや自律的学習習慣の定着が進んでいると考えられる数値として設定した。
5	⑤	外国語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	<ul style="list-style-type: none"> 外国語学習支援員の配置:5名 	<ul style="list-style-type: none"> 英語への興味・関心が向上したと回答した児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。 	【今後のスケジュール】 英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。
5	⑥	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 学校ICT支援員の配置:2名 教職員研修会の実施(定期研修会8回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証 	【今後のスケジュール】 ICT利活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	⑦	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ R13	国際交流を通して児童生徒の視野を広げるため、姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣する。	・中学生のカウアイ郡派遣3名の実施	・国際交流を通して生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内の生徒が、本事業による派遣・交流の報告書を見て英語や外国に以前より興味を持ったか(80%以上)を含め、市内の生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための姉妹都市への派遣を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 派遣された生徒のうち大多数が視野が広がり、事業報告書を見た生徒のうち大多数が英語や外国語に以前より興味を持ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑧	スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R13	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	・トップアスリートによるスポーツ教室の実施 ・県外市町村とのスポーツ交流の実施	・スポーツ教室等を通じて幼児、児童がこれからもスポーツを継続したい(80%以上)を含め、参加した幼児、児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 市民のスポーツへの興味を促進する。また、児童生徒の視野を広げるため、県外の同世代の児童生徒との交流を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、これからもスポーツを継続したい、または視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑨	石垣市小学生・中学生教育交流事業	H28 ～ R8	異文化に触れることで児童生徒の視野を広げるため、台湾蘇澳鎮の小学生中学生と相互教育交流を実施する。	・台湾蘇澳鎮との教育交流(受入・派遣)	・異文化に触れることで交流した児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、派遣した児童生徒並びに保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 児童生徒の視野を広げるための教育交流を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 参加児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	⑩	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置:8名 ・学校生活支援、復学支援の実施	・不登校率の減少:0.3%以上	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	⑪	子ども若者総合相談支援事業	R1 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・ユースアドバイザーの配置:6名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施	・本事業で支援を受けた者の数:50名以上 ・支援を受けた者の内、本事業の支援によって支援を要しない状況となった者の割合:50%以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	⑫	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催	・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【R6成果目標】 ・小学校での教員採用試験合格者数:6人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:6人以上 【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	⑬	石垣市省エネ推進事業	R5 ～ R6	石垣市立図書館照明のLED化および、窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム導入による省エネ化の取組を行う。	・石垣市立図書館照明のLED化 43か所 ・石垣市立図書館内の窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工 144枚	・館内照明のLED化 43か所の完了 ・窓ガラスへの断熱・UVカットフィルム施工 144枚の完了	【R6成果目標】 ・LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率 13% ・クーラーフル稼働月の使用電力量削減率44% 【今後のスケジュール】 市内公共施設等の省エネ化を図る施策を継続して行う。	【R6成果目標設定の考え方】 既存設備および導入予定設備の使用電力量の差を勘案し、削減率の推計値を設定した。 照明のLED化により期待される削減率については、水銀灯(126.56kg-CO2/年)からLED照明(17.41kg-CO2/年)に切替えた場合のCO2排出量を参考に設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業概要	R5事業内容	R5活動目標(指標)	R5成果目標(指標)	備考	
事業番号 バ細	事業名					計画期間	今後の展開方針等
1	ひとり親家庭等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R13	放課後児童クラブがひとり親世帯の利用者に対し保育料を減免した場合に補助を行う。	利用者からおやつ代等の実費負担分を引いた金額(保育料)月上限5,000円を補助する。	ひとり親家庭等への放課後児童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減化と就労支援を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力向上及び、地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種の取り組みを行う。	①-1 景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による景観地区等の計画策定((仮)前田北地区) ①-2 浦添市景観向上行動計画改定業務 ②補助工事の完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観支援を修景するための支援 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援	①-1 風景づくり推進調査委託業務の計画策定 ①-2 景観向上行動計画改定の完了 ②補助工事14件(年間) 赤瓦葺き工事:5件 石積み・石張り工事:4件 生垣等の工事:5件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援。 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援。	
3	島桑産業拡大支援事業	R4 ～ R8	①沖縄県の在来品種であるシマグワを活用する事業者に対して産業拡大に係る支援を行うことで、シマグワに関する産業の振興を図る。 ②沖縄県の在来品種であるシマグワが持つ特性や機能性、技術課題を大学機関等と共同研究し科学的エビデンスの構築や新たな技術開発を行うことで地域産業の付加価値を向上させる。	①産業拡大に係る支援補助 ②研究機関との共同研究	①シマグワに係る新商品開発4件 シマグワ原料生産量5%増 ②研究成果及び学会発表等5課題	【今後のスケジュール】 産業拡大支援を中長期的に行うことで、シマグワ産業の売上額の増を目指し、産業としての定着を図る。また、研究機関等との共同研究で解明された研究成果については、学会発表やプレスリリース等を行うことで、シマグワに係る地域産業の付加価値を向上させる。	【R5成果目標設定の考え方】 ①補助予定件数を基に設定した。 ②研究予定課題数を基に設定した。
4	浦添観光振興事業	H29 ～ R7	本市へ観光客を誘客するため、観光情報発信を継続的に行うことに加え、プロ野球キャンプを活用した市内周遊企画を実施する。また、関係機関と連携し、これまでの通過型観光から滞在型観光の実現を図る。	【浦添観光振興業務】 ・浦添PR120件 ・プロ野球春季キャンプファン誘客イベント2回	①ポータルサイト訪問者数:631,550人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:34,000人	【今後のスケジュール】 既存の観光PR活動の強化に加え、通過型観光から滞在型観光へ促す体制整備を浦添市観光協会、市内事業者と連携し図っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号 バ細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R13	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	県外大会に参加することで新たな課題や気づきを得られたと思いますか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて技術向上や健全育成、並びに経済的負担の軽減を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の大多数に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	市立全11小学校5年生対象	自然体験を通し、児童の協調性・協働的な態度が向上したと評価する学校の割合90%以上。	自然体験後、アンケートを実施し、90%以上の児童の変容(協調性・協働的)を維持する。	90%以上の児童の(協調性・協働的)向上。
8	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	市内小中学校へ、①学校教育支援員、②日本語教育支援員を配置する。	①学校教育支援員22人(各校1～2人) ②日本語教育支援員3人(1人で複数校担当)	県学力到達度調査において、下位層(正答率30%未満)の児童生徒を中位層に上げる。	学校教育支援員、日本語教育支援員を配置することにより、児童生徒の学力向上を図る。	
9	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し、学校復帰や不登校未然防止を図る。 また、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習活動や体験活動等の支援活動を行う。	臨床心理相談員2名 教育相談員6名 適応指導員1名 自立支援員3名 教育相談支援員16名	不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:23.8%以下 中学校:19%以下	【今後のスケジュール】 ●教育相談数が増加しているため、教育相談室「くくむい」に臨床心理相談員2名を配置する。 ●学校配置の教育相談支援員による効果的な相談支援を行うため、各小中学校に1人ずつ配置し、引き続き学校との連携を強化する。 ●適応指導教室に関して、チャレンジ登校を積極的に計画・支援し、引き続き学校復帰へ向けた支援活動を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
10	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、青色回転車両にて青少年の問題行動が発生しやすい公園やたまり場等の巡回及び子ども達の安全な登下校を見守る。また学校からの依頼により不登校になっている児童生徒の登校支援等を行う。	・青少年巡回指導員5名 ・毎月第2木曜日は「朝のあいさつ運動」を実施。 ・基本、第3金曜日は「夜間街頭巡回」を実施。	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:21.5%以下 中学校目標:23.7%以下	あいさつ運動や巡回時に温かい声かけ、見守りを続けていくことで、安心できる環境や子ども達との関係性を築くことができ非行の抑止にも繋がることから、継続的に取り組んでいく。	【令和5年度成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覽

浦添市		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号 バ細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R9	学校教育の質の向上を図るため、市立小中学校にICT機器を整備する。	市立小中学校3校へICT機器の整備を行う。	①「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②授業での思考力・判断力・表現力の向上を図る活用の割合(80%以上) ③思考力・判断力・表現力の向上を実感した児童生徒の割合(50%以上)	【今後のスケジュール】 ICT機器の効果的な活用により、学校教育の質の向上が図られると考える。児童生徒を対象にしたアンケート調査を行い、本事業の効果を検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 年度末に市立小中学校の全児童生徒を対象にアンケートを実施して検証する。 ①本事業の効果として最も大きな指標と考え、達成率90%以上の継続を目指す。 ②③本事業を通して児童生徒につけたい資質能力の検証として、思考力・判断力・表現力の向上を目指した活用方法について調査する。
12	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	南米移住者子弟研修生受入:2人 各種研修・交流を実施 ・日本語研修 ・文化研修 ・地域交流 ・企業研修 ・報告書作成	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄りたいと答えた研修生の割合:90%以上 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合:80%	【R5～R8】研修生の受入 2人/各年度 【R9】研修生の受入 6人 ※第8回世界のウチナーンチュ大会に合わせて研修生を招聘 ※第8回世界のウチナーンチュ大会の開催年はまだ確定していないため、見込でR9年とする。	【R5成果目標設定の考え方】 研修の効果を得られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
13	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	・事前研修(ビデオ学習、戦跡巡り等) ・本研修(2泊3日) ・事後研修(研修報告、壁新聞作成) ・日向中学生との交流会(受入) ・浦添市戦没者追悼式 ・事業報告会(浦添市まなびフェスタ) ・ピースメッセンジャー認定:10名	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	浦添市の平和行政を推進し、市民の平和意識の高揚を図り、平和社会の構築につながる取り組みを引き続き実施する。	保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証
14	浦添市特定駐留軍用地等内土地取得事業	H27 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	先行取得未取得面積1.00haの土地取得を目指すとともに、引続き基金の積立てを行い、駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進する。 先行取得目標面積:300,000㎡	【R5成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約10,000㎡(達成率61.3%) H28～R4までの累計取得面積173,757㎡ ※達成率:先行取得目標累計面積(300,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。	【R5成果目標設定の考え方】 特定事業の用に供する土地の取得を目標とする。 (先行取得未取得面積10,000㎡) ※令和4年度までの先行取得の実績 目標面積 300,000㎡ 取得面積 173,757㎡ 達成率 57.9%

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号 バ 細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
15	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R13	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	てだこウォークを開催する。 ・開催予定日:2月上旬 ・地域特性を活かしたルートをウォーキングする。	市外からの参加者:3,600名 市内からの参加者:4,400名 合計8,000名	【今後のスケジュール】 引き続きてだこウォークを開催し、観光誘客及び住民の健康意識の向上を図る。	①市外からの参加者数を観光誘客活動の成果と捉え、過去の実績数値をもとに成果目標に設定。 ②市内からの参加者数を計測することで地域住民の健康意識向上の度合いが確認できると考え設定した。
17	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29 ～ R6	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。	多目的広場の擁壁工等の実施	多目的広場の擁壁工等の完了	【R8年成果目標】 多目的広場、観光交流拠点施設への来訪者数 年間60,000人 【今後のスケジュール】 R6:多目的広場 付帯施設工事 観光交流拠点施設 設計・工事 (民間事業者) R7:供用開始	【R8年成果目標設定の考え方】 浦添前田駅年度乗客数の実績値を参考に設定した。
18	浦添市都市計画マスタープラン改定業務事業	R5 ～ R6	現在策定中の牧港補給地区跡地利用基本計画と整合を図りながら、基地跡地の基盤整備等に早期着手できるよう、浦添市都市計画マスタープランを改定する。	全体構想(将来都市像)案の策定	全体構想(将来都市像)案の策定完了	【R5成果目標】 住民の意見を反映させながら、都市の目標、将来像、全体構想(将来都市像)案を定める。 【今後のスケジュール】 R5 全体構想(将来都市像)案の策定 R6 浦添市都市計画マスタープラン改定	【R5成果目標設定の考え方】 当該方針を基に、R6度中に浦添市都市計画マスタープランを改定することを成果目標として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号 バ 細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
19	認可外保育施設こどものみらい緊急応援プロジェクト	R5 ～ R9	<p>①認可外保育施設における業務で大きな割合を占めている給食業務を委託する。</p> <p>②厳しい運営状況が入所児童の処遇に影響しないよう、賃借料の補助(月上限5万円)を行い、運営の安定化を通じて保育の質の改善を図る。</p>	<p>①8施設で実施する</p> <p>②9施設で実施する。</p>	<p>「子どもを見る時間」や「保育従事者の質の向上を図る時間」について、常勤換算値で0.7人(約112時間)以上の増加(職員シフト表などで確認)</p>	<p>本事業を実施している5年間で、子どもの安全を確保しつつ、その間に県の「認可外保育施設保育士資格取得支援事業」を活用し、認可外保育施設の無資格の保育従事者について保育士資格を取得させ、有資格者の割合増加を目指し、保育の専門性や資質の向上を図る。</p> <p>また、給食業務の委託により、各施設ごとバラバラだった食材料費にかかる費用を統一し、衛生的な環境下で栄養管理された給食の提供により子どもの健やかな成長を支える。</p> <p>最終的には、運営費圧迫の大きな原因である保護者の利用料や給食費について、段階的に引上げについての理解を求め、運営の安定化を目指す。</p>	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	① 学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援員19人の配置 ※学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -4.0以内 ②中学校 -4.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	② 生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置:9人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 15%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個別の支援を効果的に行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③ 小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員11人を市立小・中学校にシフト配置	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校6年生:正答率83% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④ 中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	派遣生徒選考人数:12人 事前研修会の実施 短期留学の実施 帰国後の研修会及び報告会の実施	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	【今後のスケジュール】 今後も中学生海外短期留学派遣を継続し、生徒が異文化に触れる機会を作り、国際的な視野を持つ人材を育成する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤ 適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3人を配置する。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合20% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合74%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級する児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
1	⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	R4 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校が生徒が各種大会参加による県外児童生徒との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	県外及び離島で開催される各種大会へ派遣される児童生徒に対し、渡航運賃の補助を行う。 補助割合:1/2	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。	【R5成果目標】 保護者対象アンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。 【今後のスケジュール】 令和13年度まで継続して支援を行う。継続して支援を行うことで、多くの児童生徒が成長につながる機会を得られる。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の目的として「県外児童生徒等との競争や交流を通して児童生徒の成長につなげる」とあるので、その検証としてアンケートに「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」を含めた項目を設定した。
1	⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別な支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内各小・中学校へ特別支援教育支援者を配置:35人	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合85%以上	【今後のスケジュール】 小中学校における、特別な配慮を要する児童・生徒の支援を行い、円滑に学校生活を送れるように取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、エスコンフィールド北海道で名護デー開催 ・春季キャンプ見学者の誘致促進	・プロ野球キャンプ見学者等の誘導・安全確保 ・エスコンフィールド北海道で「名護デー」開催 ・春季キャンプ見学者の誘致促進	プロ野球キャンプ時における見学者数28,950人以上	今後も球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、見学者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 参考 R2年度 28,950人 R3年度 0人 無観客実施 R4年度 25,226人 入場制限有り
2	②	名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市の関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。関係機関等と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・プロモーション支援の実施 ・プロモーションイベントの開催 ・情報発信の拡大	・アンケートによる認知度向上80%以上	観光プロモーションの実施(年5回)	本事業は、本市の観光資源の認知度向上に向けた施策を展開する内容となっており、関係人口増加が図られたかを検証することは困難である。 代替として、策定された観光プロモーション戦略の施策の進捗等について第2次名護市観光振興基本計画で検証し、必要に応じて施策の見直しを行うこととした。 回数については年1回を想定している。
2	③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	H31 ～ R6	市内の中小規模の事業者の新商品の開発、既存商品の高付加価値化や新たな販売システムを構築することにより、販路拡大及び売上増加を図る。	・事業者選考を実施:100万円/社 ・ハンズオン支援:2回/月/社 ・テストマーケティング支援:1回	新商品開発・既存商品のブラッシュアップ:3品 ふるさと納税返礼品登録数:3品	令和4年度に引き続き、選考事業者の商品開発及び販路拡大について支援を行う。専門家によるハンズオン支援のみではなく、開発商品のテストマーケティングも実施する。市場ニーズも検証しながら、商品開発支援を行うことで、より良い商品開発を行い、市内事業者の売り上げ拡大を図る。	支援選考事業者数を3者とし、各事業者が新商品開発または既存商品のブラッシュアップを行う。商品開発で出来上がった商品はすべて名護市ふるさと納税返礼品として登録する目標としている。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業 番号 バ 細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等	
2	④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3 ~ R5	P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるP-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の実施	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるP-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の完了	【R7成果目標】 ・公園来訪者数:〇人 ・公園来訪者の満足度向上の割合:〇割 【今後のスケジュール】 R5: 公募・事業者の選定・協定締結 R6: 民間事業者による整備	【R7成果目標設定の考え方】 R4年度事業においてR7年度目標値を設定する。
2	⑤	名護市スポーツ推進計画策定事業	R5 ~ R6	本市のスポーツに係る戦略的な計画を策定し、スポーツによる地域経済の活性化に繋げることを目的とする。令和5年度においては、基本構想を策定する。	基本構想の策定	基本構想策定の完了	【R7成果目標】 ・年間大会開催件数 ・年間宿泊件数 【今後のスケジュール】 R5: 基本構想 R6: 基本計画	【R7成果目標設定の考え方】 令和6年度策定の基本計画において目標値を設定する。
2	⑥	観光客誘致プロモーション事業	R5 ~ R7	コロナ5類移行後の観光需要回復に向けて安定した市内入域客増加を図るため、観光商品等の企画・造成に向けたセミナー・ワークショップ、プレミアム商品券事業の運営支援など、市内事業者や観光関連団体と連携した観光客誘致プロモーションを実施する。	・セミナー・ワークショップの実施 ・広報活動の実施 ・プレミアム商品券事業の運営支援の実施 ・独自商品・モニター商品の評価・分析の実施	①本事業への参画事業者数:156社 ②本事業展開後の秋期における市内宿泊入込客数:127,785人	本事業で市内への観光需要喚起を図るとともに、観光商品の開発やノウハウ取得のセミナーを開催し、官民連携した観光コンテンツ開発の土台の再構築を行うことで、今後も引き続き観光関連事業者が主体的に観光施策に取り組めるよう支援する。観光協会、民間事業者が市内観光コンテンツ開発が推進されることにより、現在、他事業で実施している名護市観光プロモーション推進事業で市外向け情報発信の取り組みと連動した形で産官民一体となったプロモーション活動に取り組む。	【R6成果目標設定の考え方】 アフターコロナを見据え観光産業の回復に向けた観光施策を引き続き継続することにより、R4年度の秋期の市内宿泊入込客数を基準として、R6年度は10%増の133,870人を成果目標として設定する。
3		第3次名護市観光振興基本計画策定事業	R5 ~ R6	次期観光振興基本計画策定に向けた基礎調査及び内容検討を行ない、観光需要回復後の産業発展に対応しうる計画案を策定する。	第3次観光振興基本計画策定に向けた調査・検証、成果指標案策定完了。 観光需要回復途上期は教育旅行関連団体を重点ターゲットとして選定し、獲得に向けたモニターツアー・意見交換会を実施する。	第3次観光振興基本計画策定に向けた調査・検証、成果指標案策定完了及び需要回復途上期における教育旅行関連団体獲得に向けたモニターツアーの実施完了	観光関連有識者会議等において第3次観光振興基本計画の完遂に向けた各種取組み(アクションプラン)に関する協議を実施。市場環境・事業者課題をふまえ、アクションプラン・目標指標を確定し、達成にむけた施策を実施する。	コロナ対応等、外的要因が改善されれば、定量的指標としてはコロナ以前の入域数(国内旅行・インバウンド)に加え、個人及び団体の市内滞在者数・宿泊者数、観光消費額・観光従事者数が指標となる。 主要指標達成のための細分化した目標数として、国内・インバウンド個人旅行者数・国内・インバウンド団体受入数(団体については教育旅行等、目的別による細分化も実施)を設定。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号 /バ 細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			4	① 優良繁殖雌牛導入事業		H27 ～ R8	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。
4	② 地域循環型農畜産業推進事業	R5	地域循環型農畜産業推進に向けて、名護市堆肥センターにおける堆肥原料の受け入れ体制及び堆肥の生産力向上のため、ホイールローダー及び計量システムの導入を行う。	ホイールローダー導入(2台) 計量システム導入	年間堆肥原料受け入れ量 9,994t 年間堆肥販売量 3,436t	【R6成果目標】 年間原料受け入れ量 9,994t 年間堆肥販売量 3,436t 【今後のスケジュール】 指定管理者とも連携を図りながら、地域循環型農畜産業推進に向けて、名護市堆肥センターにおける原料の受け入れ体制及び良質堆肥の生産力向上に取組む。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	① 救命処置普及強化支援事業	H27 ～ R6	急病、事故及び災害等により観光客、市民が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習を実施する。また、市内コンビニエンスストアへAEDを設置する。	・救急救命士等の資格を持つ会計年度任用職員の採用 ・各種救命講習の開催(救命法 普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 上級救命講習 普及員講習) ・まちかど救急ステーション認定(更新) ・市内に開店したコンビニエンスストアへのAED設置	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員の採用・・・3名 ・各種救命講習においてアンケートを実施し、救命手当が「不安だができる」、「できる」と回答した割合が80%以上 ・まちかど救急ステーション認定(更新)・・・3件(3件) ・市内コンビニエンスストアへのAED設置・・・2店舗(前年度までに開店した店舗)設置した店舗への取り扱い、心肺蘇生法の講習の実施	・救急救命士等の資格を持つ会計年度任用職員の採用継続 ・各種救命講習の開催(小中学生向けの講習会の開催し、応急手当の重要性を学んでもらう) ・まちかど救急ステーションへの協力事業所認定(更新)継続 ・市内コンビニエンスストアへのAED設置継続	・普通救命講習受講者最大数を考慮して設定 ・受講者の大多数が理解できたと考えられる数値を設定 ・認定、更新最高値を勘案して設定 ・前年度までに市内に開店したコンビニエンスストア店舗数を考慮し設定
5	② ハブ等対策事業	H27 ～ R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	ハブ捕獲器の平均稼働数:780器以上 犬用捕獲器稼働数:6器以上	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	【今後のスケジュール】 捕獲器の設置を増やし、咬傷被害件数を減らす。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催:4回以上	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R6成果目標】 ③市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,368名 【今後のスケジュール】 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等を開催する。	【R5成果目標設定の考え方】 ①②対象者のうち大多数が意識が高まった又は指導力が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R6成果目標設定の考え方】 ③過去の実績を勘案して設定した。
7	名護さくらのまち推進事業	R5 ～ R7	本市のシンボルであるカンヒザクラの環境整備として、後継樹の植栽及び既存桜の剪定・防腐処理を行い、地域ブランドの強化及び観光客の誘客を図る。	・後継樹の植栽 ・既存の桜の剪定及び防腐処理	・後継樹の植栽の完了 ・既存の桜の剪定及び防腐処理の完了	【R6成果目標】 ①さくら祭り来場者数 131,076人以上 ②名護市観光統計入込客数 6,025,000人以上 【今後のスケジュール】 今後も本市のシンボルであるカンヒザクラによる地域ブランドの強化を図り、観光客の誘客に繋げる。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の延長による観光振興を図る。	・名護自然動植物公園 基本設計・実施設計	・名護自然動植物公園 実施設計 完了	【R8成果目標】 年間利用客数312,000名 【今後のスケジュール】 R6: 建築工事・土木工事 R7: 建築工事・土木工事	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
9	21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R6	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為の必要機能を精査し、具体的な整備計画を策定する。	実施設計書の作成	実施設計書の作成完了	【R7成果目標】 市内観光客入込客数 【今後のスケジュール】 R5: 実施設計 R6: 工事 R7: 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 基本計画・基本設計を踏まえて、当該エリアに必要な機能を洗い出し、目標値を設定する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号 バ 細	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
			10	名護市総合交通ターミナル実現化検討調査事業			
11	名護市周遊バス推進事業	R5	<p>持続可能で安定した公共交通の提供及び観光客の利便性向上を図るため、コミュニティバスを導入し、市内の周遊促進に向けた環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の購入(2台) ・充電設備の整備(1機) ・キャッシュレス決済システムの構築・導入(2台分) ・地域公共交通協議会の開催(4回) ・バス事業者との協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・EVバス車両の購入 ・充電設備の整備 ・キャッシュレス決済システムの導入 ・公共交通協議会の開催 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>(R6年度) 実証実験の実施 (R7年度) 新規路線運行開始</p> <p>【R7成果目標】</p> <p>①利用者へのアンケート調査:満足度80%以上</p> <p>②両地域への入域客数の増(対前年度比):屋我地地域15%増、二見以北地域36%増</p>	<p>観光地及び観光スポットへの移動手段としてコミュニティバスの運行ルート及びダイヤ等について満足度を指標に設定した。</p> <p>数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上と設定した。</p> <p>屋我地線輸送人員 (令和4年度:8,829人) (令和3年度:8,764人) (令和2年度:10,101人) 令和2年度輸送人員を目標値として、15%増</p> <p>名護東部線輸送人員 (令和4年度:2,862人) (令和3年度:2,109人) 増加率135.7%</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	沖縄らしい風景づくり事業	H24～R8	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区景観形成への支援(都市景観形成(屋根瓦などの工事)に係る助成金) ・重点地区整備計画の実施設計を行う。	・助成金による景観形成整備の完了(6件) ・実施設計の完了	【R7成果目標】 糸満独特の風景・まちなみ創生の整備としての景観形成が図られた(80%以上) 【今後のスケジュール】 R5: イービーンメンジョー実施設計 R6: イービーンメンジョー整備工事	【R7成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が糸満独特の風景・まちなみ創生としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	観光地危険生物駆除事業	H25～R13	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15カ所	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害0件	【今後のスケジュール】 既存捕獲器の設置箇所を再考し、観光客に対するハブ咬傷被害を0件を目標として安心安全な観光を推進する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	糸満イベント推進事業	H24～R13	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う	・糸満ふるさと祭りに係る運営費の補助	糸満ふるさと祭り ・来場者数:10,000人	【今後のスケジュール】 イベントの魅力向上や来場者の満足度を高めながら令和13年度まで継続して補助する。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	観光地公園環境美化強化事業	R4～R13	西崎運動公園、山嶺毛公園、みどりの遊歩道の花木の植栽管理、美化清掃等を行い、魅力ある観光地づくりに取り組む。	西崎運動公園、山嶺毛公園、みどりの遊歩道の美化強化。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地として魅力ある景観を維持するため、令和13年度まで継続して事業を実施する。	公園等に訪れた観光客を対象にアンケートを実施することで、美化環境等の状況について検証ができる。
2	④	プロスポーツキャンプ推進事業	R5～R13	プロスポーツキャンプを継続して受入れるために、選手及び見学者等が安全・快適に過ごせるよう受入体制を構築する。	会場設営(テント・椅子・テーブル、パレード等)、警備、宣伝広報、臨時駐車場及びシャトルバス運行等	プロスポーツキャンプ見学・来場者10,000人	【今後のスケジュール】 見学者等が安全・快適に過ごせるよう、本事業含め体制強化を行い、スポーツキャンプの見学・来場者数の増加を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	確かな学力を育むサポート事業	H24～R13	学習支援や登校支援等を実施することで、基礎学力の向上と登校復帰を図るため、小中学校へ学習指導等支援員を配置する。	・小学校10校→13人(児童数・ケースによって1校あたり1人～3人) ・中学校6校→10人(生徒数・ケースによって1校あたり1人～3人)	県学力到達度調査の県平均との差 小学校算数-0.4ポイント 中学校数学-0.9ポイント	【今後のスケジュール】 各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施し、基礎学力の向上を図る。	児童生徒への学習支援と自立支援を手厚く行う事で、基礎学力の向上と自己肯定感の高まりへと繋がると考え、基礎学力の向上を数値として測るため設定。 毎年児童生徒が入替るため、直近3年の平均値を設定。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	英語指導事業	H24 ～ R13	英語における実践的コミュニケーション能力と基礎学力の向上を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導をサポートする英語指導助手を配置する。	英語指導助手7人を小中学校17校(大度分校含む。)へ配置。 年3回、英語指導助手連絡会を開催。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を、本人へのアンケートにより調査 ・中学生 県学力到達度調査の県平均との差 中学校英語:0.9ポイント	【今後のスケジュール】 ・小学校の英語授業数の増加に伴い、現在の英語指導助手人数で対応することは困難の為、増員(7名→10名)により支援体制強化を図ることを検討する。 ・年3回、英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。	小学校 毎年上昇する数値という捉え方ではなく、全体としてどれほどの興味の高まりを達成したかを指標とした。 中学校 過去の実績を参考に設定した。
3	③	適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者2人、教育相談員2人)。教育相談に必要な巡回用自動車2台借用。	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率)	【今後のスケジュール】 ・適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。遠隔授業を取り入れを検討する。	過去の実績を参考に設定した。
3	④	障害児学習環境づくり事業(小学校)	H24 ～ R13	児童生徒の障害による学習上又は生活上の支援をするため、小中学校へ特別支援教育支援員を配置する。 また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図るため、教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	・市内小中学校へ特別支援教育支援員配置。小中学校16校:特別支援教育支援員29人(1校1人～4人) ・教育委員会へ特別支援教育指導コーディネーター1人を配置。	・支援員の対応について、児童生徒の保護者へアンケートを実施→満足度:85%以上	【今後のスケジュール】 ・特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。	特別な支援を必要とする児童生徒の障害の状況はさまざまであり、達成目標として他と比較する数値を設定することは馴染まないため、保護者のうち大多数が特別支援教育支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。
3	⑤	障害児学習環境づくり事業(こども園)	H30 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置し、身辺介助や安全面・生活面での支援を行う。	市内認定こども園への障害児特別支援ヘルパーの配置 ・特別支援ヘルパー:9人	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援ヘルパーの適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園の特別支援コーディネーターや特別支援ヘルパーへの研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図り、新たなICT教育の活用にも対応して効率的な学習が行えるよう教師支援及びICT教育環境整備を支援する。	情報教育支援員1名任用、小中学校へ派遣、ICTを活用した授業支援及び技術的支援実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(85%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(90%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、情報教育支援員を派遣する。 ・電子黒板、デジタル教科書・タブレット等の教材が十分に活用できるよう支援する。 ・遠隔授業及びメタバット等の実施を支援する。 ・アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。 	過去の実績を参考に設定した。
3	⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入)	R4～ R7	液晶型電子黒板を整備し、タブレットとの連携強化及び液晶画面により視認しやすさと手元明るさを確保し、より効率的、効果的にICT教育を推進する	液晶型電子黒板の購入100台購入	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にアンケート調査を実施し、液晶型電子黒板を活用した授業が従来機器より分かりやすかったと答えた割合(80%以上) 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶型電子黒板の新しい活用術を検討する。また職員へ技術的支援により授業の電子黒板の活用率を上げていく。アンケートの結果から改善すべき点を検証し、解決を図る。 	
3	⑧	糸満市スポーツ・文化活動派遣費支援事業	R5 ～ R13	県外等へ派遣される小・中学生等に対して補助金を交付して経済的負担を軽減することで、派遣参加を促進し、優れた人材を育成する。	・県外及び離島への派遣に係る費用のうち航空運賃の1/2を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣された児童生徒等に対してアンケートを実施し、派遣されたことで視野が広がったとする回答割合80%以上 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島外での競争及び交流の機会を得られるように、継続して派遣費の補助を行い、移動に係る経済的負担の軽減を図る。 ・国外での交流の機会を得られるように、継続して補助を行い、海外ホームステイに係る経済的負担の軽減を図る。 	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣対象者の大多数が、視野が広がったであると考えられる値として設定した。
4	①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R8	・スポーツ観光の一層の充実を図るため、プロ野球や社会人野球キャンプの誘致をめざし、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・西崎運動公園倉庫整備設計、工事監理業務 ・西崎球場ブルペン整備基本・実施設計業務 ・西崎運動公園走路整備実施設計業務 ・西崎運動公園多目的運動施設基本・実施設計業務 ・西崎運動公園倉庫整備工事 ・西崎陸上競技場芝整備工事 ・黒土購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西崎陸上競技場、球場の芝管理の継続 ・運動公園の機能を強化することにより、プロや社会人キャンプの誘致と更なる利用団体の増加を図る。 	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の実績を参考に設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	母子生活支援事業	H29 ~ R13	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・住宅支援5世帯 ・相談件数500件 ・各種講座(技術力・子育て等)の開催5回 ・子どもへの学習支援12か月	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	当該事業の実績に基づき設定した。
6	①	地場産品販路拡大事業	H24 ~ R8	コロナ禍によりリモートでの販売や誘客が増えている中、ブランディングやマーケティング強化し、SNSを活かした「稼ぐ力」を高め、自立型経済の構築を図る。また、姉妹都市等を中心とした物産展の開催により、糸満市ファンの獲得を目指す。事業者育成、糸満市ファン獲得の両輪で、県内に限らず、県外、広くは海外での販路拡大を目指し、チャレンジ精神を市内全体に広め、本市商工業の振興に資することを目的とする。	・姉妹都市や友好都市を中心とした「物産展」の実施。(地場産品の販売・観光商品のPR。) ・糸満の産業まつり「糸満フェア」の実施。 ・ブランディングやマーケティング講座 ・市場調査や実践等	・「糸満フェア」の売上が前回(令和元年度)比1倍以上 ・講座に参加する業者数が10者以上 ・事業アンケートで「稼ぐ力」に繋がったと答える事業者が80%以上 ・事業から得られたスキルを実際に活用した事業者が8者以上(海外を含めた販路拡大や誘客)	本市の自立型経済構築のため、軌道修正を図りながら進めていく。	
6	②	企業誘致推進事業	R5 ~ R13	・本市への企業誘致を推進し、物流団地等への産業集積を図るため、企業誘致ノウハウのある専門家等による調査分析に基づく企業誘致活動等を実施する。	①意向調査:5,000社以上に実施 ②企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問	①意向調査:5,000社以上に実施 ②企業訪問:本市へ立地可能性の高い企業を50社以上訪問	【R10成果目標】 糸満市への企業誘致件数 5件 【今後のスケジュール】 R6:企業ニーズ調査の継続、企業誘致戦略の検討 R7:企業ニーズ調査の継続、企業誘致戦略の作成	【R5成果目標設定の考え方】 真栄里地区。南部病院跡地の分譲開始を見据え企業誘致の件数を設定した。 令和10年度から令和13年度にかけて、毎年度、本市への企業誘致を5社ずつ目指す。
6	3	糸満市IT人材育成支援事業	R5 ~ R13	市内小中学生の情報技術に関する知識・技術向上を図り、本件の自立型経済の構築・発展を目指すため、市内小中学生向けプログラミング講座を実施する。	市内小学生・中学生向けプログラミング講座の実施。	アンケートを実施し、知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	【今後のスケジュール】 今後もIT人材育成を継続し、様々な業種において活躍できる人材を育成する。 また、アンケート結果を基に本事業の在り方について検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 今後の事業の方針や見直しのために、満足度や理解度の調査を実施する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	①	公共施設予防改修事業(塩害防止)	R5 ~ R6	市の公共施設の塩害を防止し、長寿命化を図るため公共施設の外壁塗装を行う。	外壁塗装実施設計(中央図書館)の実施	外壁塗装実施設計(中央図書館)の完了	<p>【R6成果目標】 施設管理者による点検を実施する。 ・外壁の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件 【今後のスケジュール】 令和5年度の実施設計を基に令和6年度に工事を実施する。</p>	<p>【R6成果目標の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認する為、施設管理者が点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂が生じない事(0件)を成果目標とした。</p>
8	①	糸満市ふれあい事業(市民ふれあいセンター兼福祉避難所整備事業)	R5 ~ R10	地域における多世代交流機会を推進するため、市民ふれあいセンターを整備し、災害発生時には隣接する地域福祉センター(仮)や地域活動センター(仮)と連動した福祉避難所として活用する。	市民ふれあいセンター兼福祉避難所基本計画策定	市民ふれあいセンター兼福祉避難所基本計画策定の策定完了	<p>【令和11年度成果目標の設定】 ○本施設を活用した避難訓練の実施(1回/年)の際に、安心安全な訓練が出来たかをアンケート調査により実施し、「出来た」との回答が80%以上となることを目標とする。また、市と関係団体との協議により、福祉避難所の適切な活用方法について検証する。 ○本施設を活用した市民等の交流を図るイベント(12回/年)を開催する。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和5年度 基本計画策定 令和6年度 基本設計作成 令和7年度 実施設計作成 令和8年度 本体建設工事(1期)等 令和9年度 本体建設工事(2期)等 令和10年度 広場工事等 令和11年度 供用開始</p>	<p>【令和11年度成果目標設定の考え方】 ○避難訓練の際に要配慮者が避難所として適切に活用できる体制が整っているか等を市と関係団体で協議し、本施設のあり方を検証することで、災害時に有効な活用ができると考え設定した。</p> <p>○平時に本施設を活用し、要配慮者と関係団体や地域住民との交流を図るイベントを開催することで、災害時における共助の機運を醸成できると考え設定した。 指標については、月1回のイベント開催を想定して設定した。</p>
9	①	省エネ設備化推進事業	H24 ~ R5	南浜公園及び運動公園屋内プールの照明を省エネ化するため、LED化工事を行う。	南浜公園及び運動公園屋内プールの省エネ化工事の完成	南浜公園及び運動公園屋内プールの省エネ化工事の完成	<p>【R6成果目標】 CO2排出量の削減 南浜公園LED化【160,000kg】 運動公園屋内プール【14,000kg】 合計【174,000kg】</p> <p>【今後のスケジュール】 R4:実施設計 R5:省エネ化工事</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 設計業務にて試算</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖繩市		事業番号 バ細	事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
					R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①		新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、バイヤーを招へいた商談会やWEB等を活用した情報発信等の事業者支援を行う。	・参加事業者数(30事業者) ・ワークショップ開催数(5回) ・ハンズオン支援事業者数(10事業者)	新商品開発数(10商品)	【今後のスケジュール】 商品開発は時間がかかるため、早期に事業に着手する必要がある。また上半期は座学や商品開発支援を中心に行い、下半期はテストマーケティングや商談会等、販路拡大支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 市内の物産製造事業者や飲食店、工芸作家の数を考慮すると、30事業者以上が参加することで、10商品程度の新商品開発は可能だと考える。
1	②		音楽資源活用事業	H24 ～ R13	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(1回)	観光客来館者数:2,700人 動画視聴数:5,300回	【今後のスケジュール】 R2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光客来館者数が大幅に減少した。R4年度も休館措置は現在のところはないが、感染拡大の状況により、来館者数はまだ安定していない。イベントは、入場制限を設けるなどの措置を講じ、イベントを動画配信をする取組を行っている。今後も、おながく村の情報発信を続け、観光客の誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。観光来館者数の目標設定だけでなく、R4年度より、動画視聴数を成果目標に追加した。
1	③		音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、音楽のまちをPRし、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(10月～12月) ・音楽イベント等の開催(3回)	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:55,100人	【今後のスケジュール】 音楽関連情報の発信や音楽イベントを開催し、観光客の誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 R7目標値までの伸び率を勘案して設定した。
1	④		音楽産業拠点施設機能強化事業	H30 ～ R5	音楽産業の振興を図るため、音楽ライブや伝統芸能に加え、県内外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される音楽産業拠点施設の設備機能を強化する。	・音響設備更新工事	・音響設備更新工事完了	【R6年度成果目標】 ・来場者数:50,370人 【今後のスケジュール】 施設の稼働率向上に向け、PR活動を行うとともに、音楽イベントを開催するなど、当該施設の魅力発信に取り組む。	【R6成果目標設定の考え方】 来場者数については、コロナ禍前の実績平均とした。
1	⑤		国際交流事業	H24 ～ R13	多国籍住民の相談窓口を開設し、生活上等の困難の改善を図る。市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談 ・多言語語学講座(英語・スペイン語等) ・多国籍住民等との交流会	来所者数3,800人	【今後のスケジュール】 今後も多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後も多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 来所者数については、R2-R4(見込み)年度来場者実績の平均値を設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖繩市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	①エイサーを活用したPR活動 ・エイサーグッズ製作・配布 ・エイサーのまちPRバナー等設置 ・市内エイサー団体の県外イベントへの派遣 ②沖縄全島エイサーまつりの充実 ・シャトルバス運行 ・まつり会場の空間演出	・エイサー会館来場者数:15,176人 ・沖縄全島エイサーまつり来場者数:309,000人	【今後のスケジュール】 今後も地域の伝統芸能であるエイサーの保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、エイサーのまち沖縄市及びエイサー会館等エイサーを活用したPR活動を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑦	観光宣伝事業	R5 ～ R13	国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・ガイド養成講座(15回)、モニターツアー(45回)の実施 ・各種メディアやWEB・SNSを活用した観光広報活動業務 ・観光情報誌「沖縄市GO」の印刷 ・まちなか回遊促進業務の実施 ・観光客受入環境整備委託(観光バリアフリー)の実施 ・観光統計調査業務の実施	・主要ホテル宿泊延べ人数:167,774人	【今後のスケジュール】 ・観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。
1	⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R13	文化芸術祭や本市の伝統芸能を中心とした公演を開催し、文化芸能に触れる機会の提供による、文化芸能への関心・理解を深めるきっかけをつくり、鑑賞者及び後継者の育成へとつなげる。	沖縄市文化芸術祭(1回)	イベント参加者数 3,300人	【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【R5成果目標設定の考え方】 現在利用可能な空き店舗や公共ホール等を勘案し、利用者が一日に観賞可能な公演数を設定。
2	①	スポーツコンベンション推進事業	H24 ～ R13	プロスポーツチームの応援機運醸成による市民のチームに対する愛着醸成や、アウェイリズムの推進によるアウェイ観戦者の市内宿泊割合の増加、これらの取り組みによるホームゲーム年間来場者数の増加を図る。 また、スポーツコンベンションシティの推進に向け、2023年FIBAバスケットボールワールドカップの機運醸成及びレガシー構築に関連するイベントを開催するとともに、アーバンスポーツパーク整備に係る調査等を実施する。	・プロスポーツ応援機運醸成の実施 ・J3及びB1の県外公式戦ブース出展、誘客促進キャンペーン、プロモーションの実施。 ・アーバンスポーツパーク整備基本設計の検討 ・FIBAバスケットボールワールドカップ2023のレガシー構築	①ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数:281,916人 ②スポーツツーリズムコンテンツの活用件数:8件 ③アウェイ観戦者の市内宿泊割合:30% ④アーバンスポーツパーク整備基本設計の策定:1件 ⑤W杯の開催記念イベント 来場者数:32,000人/2日間	【今後のスケジュール】 FIBAバスケットボールワールドカップ2023に関連した記念イベントを開催することで、スポーツコンベンションの推進や地域活性化につなげていく。 また、アーバンスポーツ整備基本設計を策定する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績や、イベント日数及び会場規模を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	・モータースポーツイベントへの実施 1件 ・先進地視察 1件	・イベント来場者数: 42,000人	【今後のスケジュール】 モータースポーツの振興を図るイベント等を実施することにより、モータースポーツに関する理解と機運を高める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	緑化景観推進事業	H30 ～ R13	沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(4回)	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、幅広い虫による枯死被害を防止する。	市内公園内のリュウキュウマツ約120本に薬剤注入	薬剤を注入した約120本のマツのうち、約116本(97%)の枯死被害を防止	【今後のスケジュール】 R4年度に薬剤を注入した約120本のマツの葉の赤色への変色による枯死状況を確認する。	【R5成果目標設定の考え方】 被害拡大を防止するために、薬剤注入マツの97%を枯死させない数値として設定した。
4	①	こども科学力育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学講座の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	①出前科学あそび(16回) ②出前科学講座(130コマ) ③科学クラブ支援(24コマ) ④OIST連携プログラム(12回)	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度96%以上)	【今後のスケジュール】 ・新型コロナウイルス感染対策をしながら、各学校を対象とした出前科学講座等を実施する。 ・OIST連携プログラム回数を増やし、科学への関心をより高める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	①標準学力調査 ②学力調査(中3) ③学習支援教室業務 ④学習支援員(18名) ⑤中学校ALTコーディネーター(1名) ⑥日本語指導員(4名) ⑦小学校ALT(12名) ⑧中学校ALT(7名)	①全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校: 国との差±1ポイント以内を目指す。 中学校: 国との差-5ポイント以内を目指す。 ②全国学習状況調査における設問、小学6年生「5年生までに受けた授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」、「中学3年生「1、2年生までに受けた授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」 目標: 小中学生ともに全国平均以上	【今後のスケジュール】 引き続き各種支援員等を配置して個別最適な学びを推進することにより、全国学力調査の正答率向上と学習意欲の向上に取り組んでいく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	①就学支援員(40名) ②心理士(3名) ③保健師(1名) ④就学支援事務(1名) ⑤特別支援教育コーディネーター(1名) ⑥補助リーダー【モデル】(6名) ⑦特別支援教育補助者(35名) ⑧スクールソーシャルワーカー(1名) ⑨学校支援教育補助者(13名) ⑩適応指導教室教育相談員(1名) ⑪適応指導教室指導員(3名) ⑫適応指導教室巡回支援指導員(3名) ⑬幼稚園特別支援担当(33人:補助者含む) ⑭幼稚園特別支援教育補助者(7人)	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 85%以上 ・教員及び児童デイサービス関係者にモデル事業への満足度を調査し有効性を確認する(目標値:満足度75%以上) ・不登校児童生徒登校復帰率 30%以上	【今後のスケジュール】 特別な支援が必要な園児・児童・生徒や不登校・学力不振の児童・生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。
4	④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①青少年教育相談指導員:7人配置 ②青少年指導員の夜間街頭指導 延べ1,760人 ③若者相談窓口担当相談員:2人配置 ④心理士:1人配置	①午前・午後巡回指導件数 前年度比10.3%増 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比28.7%減 ③若者の主訴改善件数 23%増	【今後のスケジュール】 今後も、青少年の健全育成を図るため、相談業務、体験活動、午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を引き続き行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。	市内中学生12名を語学学習や海外ホームステイを14日間程度体験するプログラムを実施する。	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合90%以上	【今後のスケジュール】 国際的な視野を持つ人材育成するため、ホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。	ICT支援員 14人(内勤2名含む) ICT推進コーディネーター 2人 巡回支援校数 24校	授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想の推進や児童生徒の情報活用能力の育成のため、学校のICT化を引き続き支援していく。	【R5成果目標設定の考え方】 文部科学省の「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」を参考にした。
4	⑦	生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	被保護世帯の中学1・2年生(定員:20名)に対する学習支援等の受験指導を行う。	①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上	【今後のスケジュール】 基礎学力の向上から高校受験対策等まで盛り込んだ学習支援を実施し、最終目標である高校進学の実現に繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県学校基本調査及び文部科学省による不登校の定義を参考に設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覽

沖繩市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	就労等支援事業	H24 ～ R13	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種セミナー等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、実践的・専門的なITスキル習得の研修を実施し、デジタル技術に対応した人材の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・就労相談 約4,000人/年 ・職場体験 45件 ・デジタル人材育成の研修 30人/年 	<ul style="list-style-type: none"> ①就職決定者数:250名 ②職場体験/デジタル人材育成研修参加者へのアンケートで、職業理解/デジタル技術に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談や職場体験等の支援を実施する。また、多様な働き方に対応でき且つDX人材育成を育成するため、ITスキル習得の研修を実施する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。 ②職場体験及びデジタル人材育成研修参加者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	②	産業集積推進事業	R2 ～ R7	創業ワンストップ相談窓口や投資家・金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ型創業スクール実施回数:2回 ・スタートアップ型創業相談件数(個別相談):200件 ・スタートアップ型創業機運醸成イベント回数:10回 ・支援先スタートアップの県内外ピッチイベント出場支援 10社 ・投資家や金融機関と起業家の面談実施回数 20回 	<ul style="list-style-type: none"> ①創業スクール卒業生:15名以上 ②創業者数:20名 ③スタートアップ企業誘致:5社 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>・R4年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図る。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>スタートアップ起業家支援、育成に集中的に取り組むことを踏まえたうえで、過去の実績や、他自治体の実績を基に勘案して設定した。</p>
6	①	地域防災対策事業	H24 ～ R13	自主防災組織の結成及び体制を強化し、地域防災力の向上を図るため、資機材、倉庫の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災組織の結成(2組織) ・防災組織資機材整備(3組織) ・倉庫整備(2組織) ・防災公園導入施設基本計画委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>自主防災組織の結成及び資機材や倉庫整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。また、それぞれの組織の性質に応じた支援を行う。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資する考え、成果目標と設定した。各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した。</p>
7	①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画(案)の作成をする。	跡地利用整備計画(案)作成業務委託の実施	跡地利用整備計画(案)の作成	<p>【R6成果目標】</p> <p>跡地利用整備計画(案)策定後、当該跡地利用計画に対する地権者や市民等の「肯定的な評価」を得られているかアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>跡地利用計画(案)を基に、事業化に向けてより具体性のある計画に適宜更新を行い、最終的には事業計画に反映させる。</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>地権者や市民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	① 東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的に、市民や県民等に対して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに、広報資料等の作成、スーパーヨット誘致効果等の検証、事業アドバイザー業務を行う。また、効果的に東部海浜地区等への企業誘致を図るため、県外企業にヒアリングを行う。	①県外企業誘致等ヒアリング ②PRイベント実施 ③広報資料等作成業務実施 ④スーパーヨット誘致効果等検証業務実施 ⑤事業アドバイザー業務実施	①公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施6回(22件) ②来場者等へのアンケートによる認知度(60%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③広報資料等作成業務実施 ④スーパーヨット誘致効果等検証業務実施 ⑤事業アドバイザー業務実施	【今後のスケジュール】 県内外企業等に公募条件整理に向けたサウンディング等を実施する。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度が向上し、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。国・県の埋立事業の進捗に応じて、東部海浜開発地区の魅力向上に向けての調査・検討業務などを実施。	【R6以降成果目標設定の考え方】 ・本事業の企業誘致ヒアリングの成果目標は、企業誘致件数等を設定すべきだが、人工島の埋立が未完了であり検証が困難なため、本年度以降の成果目標として設定した。 【R5成果目標設定の考え方】 ・PR事業の効果が図られたと考えられる値として、3年間の事業認知度向上率を考慮し設定した。 ・広報資料作成業務実施件数で設定した。 ・スーパーヨット誘致効果等検証業務実施件数で設定した。 ・事業アドバイザー業務実施件数で設定した。	
9	① 平和推進事業	H30 ～ R13	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	①沖縄市民平和の日記念行事開催 ②第2次沖縄市平和事業推進アクションプラン策定	①参加者数 1,200人 ②第2次沖縄市平和事業推進アクションプラン策定	【今後のスケジュール】 ①今後も沖縄市民平和の日記念行事等、平和における啓発事業を開催し、平和について考える機会の創出を図る。 ②策定した計画に基づき、平和に関する施策の総合的な推進を図る。 【R6成果目標】 策定する計画の中で、平和学習コンテンツサイトビューの閲覧者数、平和月間プログラム賛同団体数等を、平和の取組に係る目標値と設定し、当該数値を目標とした平和推進事業を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 【R6成果目標設定の考え方】 ②当該計画で設定した目標値に向けた平和推進事業を実施していくことを成果目標として設定した。	
10	① 商店街活性化支援事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	イベント実施件数(2件)	①交流拠点の来客・問い合わせ対応件数(400件) ②イベントのべ集客数(500名)	【今後のスケジュール】 誘客効果の高いイベントの企画実施によるにぎわい創出や、講習化等の実施による人材育成により、商店街の魅力を高める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の取り組みによって出た課題や実績を勘案して設定した。	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11	① 沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R8	<p>沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄こどもの国周辺エリア地域連携計画 ・誘客促進備品購入 ・園内周遊車購入 ・園内Wi-Fi整備工事 ・カンガルー舎周辺環境整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄こどもの国周辺エリア地域連携計画の策定 ・備品購入 ・園内Wi-Fi整備工事の完了 ・カンガルー舎周辺環境整備工事の完了 	<p>【R6以降成果目標】 令和 6年度:約75万人 令和 7年度:約80万人 令和 8年度:約80万人</p> <p>【今後のスケジュール】 施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこなう。</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 新型コロナウイルスの収束を見据え、国内外からの観光誘客も想定し、施設整備マスタープランに基づく来園者数を目指す。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。
 R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	H25 ～ R13	県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催に負担金を交付する。	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	・とみぐすく祭りの来場者数：60,000人	【今後のスケジュール】 県内外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするためとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタを同時開催し、経済的かつ効果的な運営と集客を図る。 【R5成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
1	②	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R13	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽木の管理(除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹木の除草清掃、花木の植栽管理を継続して行っていく。 【R5成果目標設定の考え方】 事業の目的である魅力的な観光地としての景観形成を図られたかどうかを含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%以上を設定した。
1	④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎海浜公園の来園者数の増加に向けた遊泳エリア等の環境改善・施設整備を行い、観光振興及び地域活性化を図る。	航路浚渫、施設備品整備の実施	航路浚渫、施設備品整備の完了	【今後のスケジュール】 遊泳エリアの環境改善・施設整備を行うことで、観光客等の利便性向上を図る。 【R6成果目標】 ビーチ利用者数：20,000人 【実績】 R6成果目標については、過去のビーチ利用者数に基づき設定した。 平成28年度：20,433人 平成29年度：21,215人 平成30年度：13,198人 令和元年度：15,501人
1	⑤	文化観光創出事業	H24 ～ R7	平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・グスクゾーン周辺整備の実施設計、野戦病院壕周辺整備に伴う基礎調査業務、工事に伴う磁気探査業務の実施。 ・遊歩道階段整備工事の実施。	・実施設計、基礎調査業務、磁気探査業務の完了。 ・整備工事の完了。	【今後のスケジュール】 ・施設整備(～R7) 【R8成果目標】 年間来場者数：2万人 【R8成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	⑥	第2次豊見城市観光振興計画策定事業	R5	第1次観光振興計画における各施策の取組成果を検証し、その結果と社会情勢や環境の変化を踏まえた観光政策の指針となる第2次観光振興計画を策定する。	・現行計画の検証、観光振興に係る実態調査 ・観光振興に係る方向性・方針の検討、ロードマップ及び事業体系図の作成 ・委員会等の開催(6回予定) ・第2次観光振興計画の作成	第2次豊見城市観光振興計画の策定完了	【R6成果目標】 策定した第2次豊見城市観光振興計画に基づき、各観光振興施策に取り組み令和6年度入域観光客数740万人以上。 【今後のスケジュール】 R5 第2次豊見城市観光振興計画の策定 R6以降 各観光施策の展開 【R6成果目標設定の考え方】 本事業において、新たに目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な経済施策を展開する。観光地点等入込客数については、現行計画における指標から目標値を設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑦ 豊見城市観光PR事業	R4 ～ R5	首都圏において本市の物産展と、本市の観光・文化等についてのPR展を併せて開催し、ノベルティの配布やアンケート調査等を実施する。	首都圏にて物産展及びPR展を行う。	実施場所における来場者数 首都圏 5,500名以上(3日間)	【今後のスケジュール】 全国的に知名度が高い「瀬長島」や「豊崎地区」を筆頭に、豊見城市の観光地や特産品に興味を持ってもらい、豊見城市に行きたい、住みたいと思ってもらえるように県外へのPRを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
2	① 特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:1名 (就学前)	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 保護者や保育士等の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	② 発達支援保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	加配保育士配置数 69名	・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・市内障害児(対象児)に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	【今後のスケジュール】 加配保育士にかかる人件費補助を実施し、対象児を預かる施設への支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 ・加配保育士の対応への満足度 特別な支援を要する子を抱える保護者の負担感の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・加配保育士の配置割合 過去の実績を参考に設定した。
3	① 特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:33人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別な支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にある事から、支援員の資質向上を図り支援体制の強化を図る。	複数支援に対する対応満足度が80%を超えられるよう、特別支援教育支援員の資質向上を図ることできめ細やかな支援を行い、誰一人取り残さない教育環境の実現を目指す。
3	② 学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人 全国標準学力調査の実施 小1～中2:年1回 学力調査の実施 中3:年1回	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.6ポイント以上 ②中学校:+0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査の正答率30%未満の児童生徒数の把握とフィードバックを行い、正答率30%未満の児童生徒数の減少を目指す。	記述式問題への課題が続いている状況から県平均の学力を維持しながらも記述式問題への課題解決へつなげる。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	R5事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	支援対象ケース改善率:51.8%以上(改善ケース件数/支援対象ケース件数)	スクールソーシャルワーカーの継続配置により長期支援を要する児童生徒に対し、切れ目のない支援を継続する。	問題解決が容易でない児童生徒に対する支援の手を途切れさせることなく継続して支援を行い改善へと繋げる。
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	学習支援補助員を3人配置する。 適応指導教室:2人 中学校:1人 登校支援員を小学校8校に1人ずつ配置する。	不登校児童生徒復帰率:20%以上(学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校対策としての学習支援員、登校支援員の継続配置により登校復帰ができていない児童生徒の支援を行う。	不登校要因によっては長期的な支援が必要な事案もあることから、切れ目なく継続した不登校対策が必要。
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を配置する。	外国人英語講師(ALT)を市内3中学校に1人ずつ配置する。 日本人英語講師(JTE)を市内8小学校に配置する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	小学校における英語への興味・関心度アンケート調査において「そうは思わない」という回答をゼロへ近づける。 中学校の英語学力については、県平均を上回るとともに県学力到達度調査における正答率30%未満の減少を目指す。	興味・関心度アンケートにおいてJTE派遣に対しマイナス評価をゼロへ近づける。 学力到達度調査においては、記述式問題への課題解決を目指す。
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の向上に向けたICT機器等の整備及び情報教育指導補助員を派遣し、グローバル社会、情報社会に対応できる人材の育成を図る。	情報教育指導補助員派遣:4人 アクセスポイント整備:2台 電子黒板整備:63台 教師用タブレットPC端末整備:23台 デジタル教科書整備(小学校):8校 デジタル教科書整備(新設中学校):1校	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R5年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたという回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	⑦	児童生徒等派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市児童生徒等がスポーツ及び文化活動において、県外又は離島大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒等派遣費の一部を補助	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果の「視野が広がった」と答える児童生徒の割合が90%以上の効果が得られるよう継続して支援を行う。	アンケート結果割合が今後も90%以上となるよう継続支援を行う。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		計画 期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑧ 児童生徒等派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒及びその指導者がスポーツ及び文化活動において、代表選手として県内離島又は県外等で開催される大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒等派遣費補助費の一部(航空運賃の80%)を補助 348名 × 36,000円 1/2 = 6,264,000円 × 80% ≒ 5,011,000円	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、県外又は離島への派遣をとおし、児童生徒との競争及び交流を増やす機会を支援する。	アンケートを実施し、視野が広がったか(80%を目安に)調査する。
3	⑨ 青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	・市内中学生14名をハワイ州へ派遣 ・報告会の開催(1回)	派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き児童生徒の派遣を実施し、団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラム実践していく。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒が、グローバルな視点で、国際化時代に対応した人材になりたいという意欲を持たかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
3	⑩ お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	年1回の事業実施	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 事業の実施をとおし、より効果の良い小中学生の職業観育成方法を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	① デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	電子情報連携発信 1,025件 地域資料収集作業 2地域 歴史資料の電子化 3,201点 電子地図系コンテンツ作成 4件	webサイトアクセス数 66,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 2種類	【今後のスケジュール】 電子化資料の新規追加、利活用促進の広報活動を継続し、デジタル博物館webサイトの年間アクセス数66,000回/年を目標とし、更なる向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 成果目標値は類似機関と市公式ホームページ(文化課担当)等の年平均アクセス数より平均値を積算設定したR4目標の10%増を目標に設定した。
5	① サッカーキャンプ誘致推進事業	R元 ～ R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	・プロチームへの誘致活動、環境整備のための要望調査 ・県内の先進自治体視察及び情報収集 ・芝生の維持管理	サッカーキャンプ誘致件数: 2件/年	【今後のスケジュール】 令和6年度以降指定管理制度導入による維持管理費の削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R5成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業 番号	細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	②	スポーツコンベンション 拠点機能向上事業	R2 ～ R5	バレーボール等のナショナルチームレベルの合宿が可能になるよう備品購入を行うことで、継続的な合宿誘致を実現する。	ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿に必要な備品購入の整備 ・市民体育館バレーボール用サーブマシン:1台	ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿に必要な備品購入の整備	【今後のスケジュール】 2024年デフバレー世界選手権の開催に向けて活動する。 【R6以降成果目標】 ・スポーツコンベンション誘致件数:4件/年	【R6以降目標設定の考え方】 令和6年度以降、合宿誘致を実施し、ナショナルチーム、プロスポーツチームの合宿による誘客により観光振興の成果目標とする。
6	①	豊見城市総合交通戦略 推進等支援事業	R5 ～ R9	公共交通不便地域における移動手段の確保及び路線バス等の公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者で組織する協議会の開催支援を行う。	委託事業者の選定・契約締結 アンケートを市内全世帯に配布 タクシーの利用を通して調査実施 アンケート結果を取りまとめ協議会にて協議を行い、課題等を整理する 需要調査報告書作成 市内小学校での公共交通利用促進に向けた学習の開催	市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増	【今後のスケジュール】 既存公共交通を補う施策を導入し、移動の選択肢を増やすことでバス利用者の増に繋げ、公共交通利用者数全体の底上げを目指す。 公共交通利用者を増加させることで基幹軸となる交通の必要性を高め、将来的には新しい公共交通システムの導入に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 本市総合計画の目標値を勘案して設定した。
6	②	低炭素社会構築事業	R5	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、市立中央公民館の空調設備の機能強化を行う。	空調設備の機能強化工事の実施	空調設備の機能強化工事の完了	【R6成果目標】 ・中央公民館中ホールにおける電気使用量を基準年度(R1)より11%以上削減。 ・中央公民館会議室等における電気使用量を基準年度(R1)より11%以上削減。 【今後のスケジュール】 R5:省エネ設備導入工事	【R6成果目標設定の考え方】 本市の地球温暖化防止実行計画に基づいて設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光誘客促進PR事業	R1 ～ R6	うるま市の魅力をPRするため、県外でのプロモーション・市内イベントの実施・メディアを活用した情報発信を実施し、「観光のうるま」のイメージを定着させ、市外からの誘客促進を図る。	①県外でのプロモーション 1回以上 ②市内イベントの実施 1回以上 ③メディアを活用した情報発信の実施 ④アンケート調査の実施	・市内イベント参加者 5,000人以上 ・主要観光施設の入場者数 目標値 355,051人	【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指し、より効果的なプロモーション方法を検証し、展開していく。	
1	②	共創型ワーケーション推進事業	R4～R6	都圏企業と地元企業及び行政との事業共創・地域課題解決のビジネスモデル化を促し産業振興を図るため、共創型ワーケーションプログラムを開発し実施する。	共創ワークショップの開催 県外ワーケーション参加者と地域事業者の共創実証	事業共創案件 3件	本事業で生まれた共創案件の継続的支援と、民間主導での自走化を目指した後継事業の立案	
1	③	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R7	・スポーツ合宿誘致活動 ・国内プロスポーツチームを活用したプロモーション ・受入環境整備(具志川多種目球技場) ・受入環境整備(与那城陸上競技場)	・うるま市スポーツコンベンション推進協議会の開催・運営(2回) ・新規誘致件数1件 ・受入環境整備(具志川多種目球技場)の完了 ・受入環境整備(与那城陸上競技場)の完了	キャンプ・合宿件数 10件以上	キャンプ期間のみの効果ではなく、通年を通じた地域経済の活性化を図る。	R5の成果目標の設定については、過去の実績を基に設定した。
1	④	モータースポーツ振興推進事業	R4 ～ R6	R4年度に実施した可能性調査の結果を基に、本市において実現可能性のあるモータースポーツ競技の実証イベントを実施することにより、市民ニーズの把握や意識の醸成を図り、具体的な実施計画の策定について検討を行う。	実証イベントの開催 1件	実証イベントの来場者数 5,000人	【R6成果目標】 ・R5に実施する実証イベントの結果を踏まえ、今後の具体的な実施計画を策定する。また、引き続き、実証イベントを開催し、モータースポーツ振興への市民及びモータースポーツ関係者の意識醸成を図る。 ・実施計画の策定 ・実証イベントの来場者数 【今後のスケジュール(予定)】 R6 実証イベント及び検証結果を踏まえた実施計画の策定	【R6成果目標設定の考え方】 実証イベント来場者数の設定については、イベント内容や規模、開催場所等を勘案し、適切な目標値を設定。また、イベントについては、近隣市町村と連携する等、効果的な実施方法の検討を行う。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	「闘牛のまち・うるま」PR事業	R4 ～ R6	闘牛文化の保存・継承・活用と観光・商工業の活性化を図るため、うるま市の闘牛文化をPRする。SNS等を活用した闘牛情報の発信、闘牛文化PRイベント及び入場料無料の闘牛大会の開催、闘牛関連グッズ、飲食メニューの開発継続等を行う。	闘牛大会観客数の増加や、観光闘牛（観光客向けに、平日に2時間程度開催され、エキシビジョンマッチや闘牛の解説、闘牛文化の紹介を行う）の申込者数・開催回数の増加を目標として、観光闘牛SNS等を活用した闘牛情報の発信、闘牛文化PRイベント及び入場料無料の闘牛大会の開催、闘牛関連グッズ、飲食メニューの開発継続等を行う。	①観光闘牛開催回数年12回以上 ②闘牛関連グッズ・飲食メニュー販売店舗年間3社以上増加	【今後のスケジュール】 闘牛大会観客数増加が闘牛文化の継承と地域経済への貢献につながるよう、事業内容見直し、成果目標更新しつつ、継続して闘牛文化の魅力発信と、「闘牛のまち・うるま」のPR行う。	【R5成果目標設定の考え方】 ①観光闘牛において、申込数の増加と開催回数が増えることを目標とし、闘牛の認知度向上に務める。 ②闘牛関連飲食メニューやグッズの提供店は現在1～2店舗しかなく、闘牛の地元経済への貢献度が低いため、メニューやグッズの開発と提供店舗を開拓することを継続目標とした。
1	⑥	観光防災危機管理対策事業	R3 ～ R6	平常時からの減災対策として、観光危機管理対策に関する知識等の普及啓発を図る。	・勉強会の実施 ・訓練の実施 ・情報収集システムの周知	・勉強会新規参加事業者数:8団体 ・訓練新規参加団体:3団体	【今後のスケジュール】 継続的に勉強会や訓練を実施し、R5年度に事業者から情報収集するシステムを構築し、R6に防災イベントなどを実施し、市民・観光客・事業者への観光危機対策に関する知識等の普及啓発を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 勉強会及び訓練の新規参加者数については、昨年度の実施状況を参考に設定。
1	⑦	勝連城跡を中心としたうるまの総合的魅力的プロモーション事業	R4 ～ R5	勝連城跡を中心としたうるまの文化・観光・物産等の総合的魅力的プロモーションを実施し、市内周遊滞在型の観光誘客を図ることを目的とし、実行委員会へ補助金交付を行う。	・実行委員会の開催 ・シティプロモーション事業（現代版組踊公演、観光・物産PR等）の実施	・首都圏におけるシティプロモーション事業の実施 ・首都圏における事前PRプロモーションの実施	・シティプロモーションの実施による市内来訪動機付けによる観光誘客を図り、令和6年度に市内主要観光施設（あやはし館と勝連城跡）の目標入場者数を43万人とする。	
1	⑧	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R8	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流及び観光客の誘客を図るため複合的な文化観光拠点施設を整備する。今年度は魅力向上誘客強化、駐車場整備工事（その2）を行う	歴史文化施設魅力向上誘客強化委託業務の実施 駐車場整備工事（その2）の実施	歴史文化施設魅力向上誘客強化委託業務の完了 駐車場整備工事（その2）の完了	（後年度の成果目標） 当事業の施設全面共用開始において、勝連城跡及び施設への年間入場者数を下記のとおり成果目標とする。 令和9年度 全面共用開始 年間入場者数30万人 （今後のスケジュール） 令和5年度 文化観光拠点（入口広場）共用開始 ※年間来訪者数30万人を目指す。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	①	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R7	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る	津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施 ・堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部補助。	津堅島農業支援業務の完了	【R5成果目標】 津堅ニンジン反収2.0t/10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R7	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	R4強化型パイプハウス4000㎡設置、農業用機械の導入、生産農家4戸	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定する。
2	③	病害虫防除資材補助金事業	R4 ～ R8	事業実施主体による市内農家の病害虫防除に係る資材の購入経費補助事業に対して補助金を交付する。	病害虫防除資材の適正な利用を促すための補助事業を実施する。	病害虫の適期防除により蔓延予防を目的とする。	病害虫のまん延防止・被害軽減のため、適正防除により、病害虫蔓延を防止する。	【R5成果目標設定の考え方】 本県は、亜熱帯気候の特性から農作物における病害虫が周年発生し、その発生模様は、多様なものであり、近年新たな病害虫発生が確認されるなど、新たな問題も生じており、これら病害虫のまん延防止・被害軽減のためにも適正防除の確立が課題となっている。そのため、適性防除により病害虫まん延を防止して、安定出荷ができることで沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「安定的・持続的な農林水産業の推進」が出来るようになる。
2	④	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	R4 ～ R5	うるま市農水産業振興の一層の充実を図るため、拠点施設であるうるま市農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシェ)の機能強化を図る。	防風設備の設置	防風設備設置の完了	【R6成果目標】 売上前年比25%以上の増加	【R6成果目標設定の考え方】 機能強化の整備が完了し、施設の来客及び売上が増加を見込む。
3	①	商品プロモーション事業	H25 ～ R13	市内事業者の販路拡大や売上の向上を図るため、物産展への出展、商談会の開催、PR活動、商品開発等の支援を行う。	・物産展への出展支援 ・商談会の開催 ・PR活動 ・商品開発及び既存商品のブラッシュアップ ・商品開発スキルアップ支援(商品開発等セミナー等)	R4実績を踏まえ設定。 ・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・参加事業者へのアンケートで商品開発等への参考となったか(80%以上)	【今後のスケジュール】 売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していき、事業者の自助努力で商談成立に結び付ける商品を開発出来るよう助言等を行い事業者のスキルアップに繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定した。商品開発スキルアップ支援については、参加事業者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定した。また、支援内容のあり方についてアンケートで検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	国際物流トライアル推進事業	H30 ～ R13	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	新規航路実証実験 1件 中城湾港における潜在貨物量調査の実施 1件	○新規航路実証試験 1件以上 ○東ふ頭を利用する新たな荷主企業の実証 3件以上	中城湾港近郊の地区(沖縄県中北部地区)における潜在的な貨物量を調査し、那覇港との住み分け、取り扱い貨物の整理などを行い、効果的な航路・貨物の増加を図る。	
3	③	研究開発支援事業	H30 ～ R8	市内に立地する企業に対し、研究開発費を補助することで新商品の開発及び高付加価値商品の開発促進を図ることを目的とする。さらに、企業が行うデジタル技術を活用した産業波及の大きな事業開発、技術革新を伴うサービス開発に対して社会実装に向けた費用を補助することで市内企業のDX化を支援し産業振興を図る。	研究及び実証に係る経費補助及びハンズオン支援 9件	商品・技術開発件数:9件	本事業で支援した案件については、市場投入や社会実装に向けて後年度も継続的に支援していく	
3	④	うるま市石川地域まちづくり推進事業	R4 ～ R6	R4度に策定した石川地域まちづくり推進計画に基づき、石川庁舎周辺の公共施設の活用推進並びに石川IC周辺の活用推進となる「石川ゲートウェイ拠点形成基本計画」を策定する。	・石川ゲートウェイ拠点形成基本計画策定に向けた庁内調整等	・石川ゲートウェイ拠点形成基本計画の策定 ・公民連携導入調査の実施	【令和6年度】 ・石川ゲートウェイ拠点推進計画の事業者公募の実施(アドバイザー業務)	
3	⑤	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ～ R12	海中道路入口周辺や県道37号線沿線整備にむけた調査・検討を行い、観光資源等のソフトパワーを基軸とした新たな観光産業の創出及び観光施策の展開を行うための構想を策定する。	海中道路入口周辺活用拠点構想計画の実施	海中道路入口周辺活用拠点構想計画の完了	R6年度 海中道路入口周辺活用拠点基本計画 R7年度 海中道路入口周辺活用拠点アドバイザー業務	
3	⑥	企業誘致推進事業	H24 ～ R7	沖縄が東アジアの中心に位置する地理的優位性や当市における投資環境を企業誘致推進役を介して企業へPRすることにより誘致へ繋げ、新たな産業の振興と雇用の創出を図る。	①企業訪問による情報収集 ②開発事業者に関する情報収集 ③企業誘致関連セミナーへの参加 ④環境投資ツアーの実施	①投資環境ツアーへの参加企業:10社以上 ②開発事業者へのアプローチ:10社以上	【今後の取組】 進出検討企業へ投資環境ツアー等を実施し、パートナー企業へ情報共有する。	過去の実績を勘定して設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	就労支援事業	H24 ～ R13	街角コンタクトセンターを設置し、市内求職者及び就業者に対しキャリアカウンセリングを行うと共に、以下の各対象者それぞれのニーズ合わせたリカレント講座(高卒認定、ビジネスマナー等)やリスクリテラシー講座(PCスキルアップ講座、介護初任者研修等)等の各種セミナーを行う。また、合同企業説明会の開催やインターンシップ等を実施し求職者と企業のマッチングを図る。	①求職者への総合的な就業支援の実施 ・就職相談、合同企業説明会スキルアップ講座等 ②企業への支援 ・雇用促進、人材育成、人材定着を目的としたセミナー実施 ③就業中及び求職中の市民へのキャリアカウンセリング、リカレント教育及びリスクリテラシー教育の実施。	就労支援を行った新規雇用者数:350人以上	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに、就業者に対しスキルアップ支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定。
4	②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R13	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・新規雇用者を対象にした人材育成の実施 ・テレワークを対象にした人材育成の実施	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワークを対象にした人材育成の完了	【R5成果目標】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 90%以上(1年後) ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 135名 【今後のスケジュール】 今後も人材育成支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率については、学歴別就職後1年以内離職率を勘案して設定した。 大学卒10.6%(R2) ・テレワーク人材育成については、育成計画を基に設定した。
5	①	うるま型産業人材育成事業	R4 ～ R7	業界団体等や関連企業体が主体となつて必要な知識・技能を体系化し、人材育成カリキュラムの開発及び研修を行うことで、市内の人材の抜本的な能力向上を図る。	事業参加各業界人材育成 20人	研修受講生の満足度 平均 80%以上	年度内でカリキュラム構築から検証見直しまでを行い、毎年度発展的な事業展開を行う。	
5	②	島人ベンチャースクール事業	R4 ～ R6	所得や失業率が高い一方で、起業意欲が高い沖縄県及びうるま市において、起業支援を通して市民所得の向上を目指すことを目的とする。	起業支援10組 創業セミナー参加者数 5組	起業者数 5組	これまで、市が実施した起業支援において支援した事業者や市内のベンチャー企業について調査を行い、また、適宜ヒアリング等を行い市内の起業に関する課題を把握することにより、効果的な支援に向けたブラッシュアップを図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	③	スポーツ力向上促進事業	H5	<p>スポーツを通じた人材育成を目指して部活動加入率を向上させるため、トップアスリート等を招聘したスポーツ教室や講演会の開催及び専門的な知識を有する外部指導者(元アスリートや地域内における全国大会出場経験者等)と事業全体を円滑に推進するために必要なコーディネーターを配置し、学校・地域・専門家(外部指導員)が一体となった体制構築を図る。</p>	<p>・外部指導員の配置 25名</p>	<p>・生徒等へのアンケート回答率 80%</p> <p>・部活動加入率 60%</p> <p>・教員へのアンケート回答率 80%</p>	<p>指導者の更なる充実を図りながら、市内9校への取り組み内容の周知を行い、未実施部活動への参加を促す。また、技術力向上を図りながら、ケガ防止対策の事業内容に取り組んでいく。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>過去の実績を勘案して設定した。</p>
6	①	ICTを活用した特色ある学校づくり事業	R5 ～ R13	<p>児童生徒が減少傾向にある彩橋小中学校、津堅小中学校、与勝第二中学校の3校において、本市に拠点を置く企業と連携し、そのリソースを活用することにより、インターネットを利用した学校間・生徒間で協働で取り組む部活動やプロジェクト学習などを実施し、地域内外と連携して課題解決や価値創造に取り組める人材育成を図ることにより特色ある学校づくりを行い、生徒数の増加及び学力向上を図る。</p>	<p>・参加児童生徒数 50名</p> <p>・学習プログラムの開発 2件</p>	<p>参加した生徒のライフスキル自己評価10項目平均10%増</p>	<p>課外授業であるネット同好会(仮称)の会員を、島しょ地域の学校を中心に市内の学校も対象とし、市の児童生徒全体で活動を通して島しょ地域の魅力を全国に発信する。</p>	
6	②	学力向上対策推進事業	R5 ～ R13	<p>児童・生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。</p>	<p>・学習支援員配置人数28人</p> <p>・デジタル教材の活用:2件</p>	<p>・学習意欲の向上</p> <p>・自学時間の増加</p> <p>・学びの定着</p>	<p>学習支援員とAI学習ドリルを併用し、授業だけでなく、放課後学習指導等での運用も行う。</p>	
6	③	教育ICT支援員派遣事業	R3 ～ R7	<p>ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上を図るため、ICT支援員を各学校に派遣し、授業等でのICT機器の活用支援を行う。</p>	<p>ICT支援員の配置 学校支援回数</p>	<p>児童生徒へのアンケート調査「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:80%以上</p>	<p>ICT機器を活用した授業等を継続することで、児童生徒の学習意欲を高め、学習習慣の定着を図る。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>ICT機器を活用した学習活動により多くの児童生徒が学習意欲の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7		伝統文化・民俗芸能伝承活動事業	R5 ～ R9	伝統行事や民俗芸能を継承する団体や自治会が、行事等を開催する際に必要な用具の購入や修繕、出演経費等を補助する。	自治会・民俗芸能保存団体等へ対する伝統継承等に要する費用の補助	伝統芸能やイベントへの出演回数: 5回	毎年度5団体への補助支援により伝統文化等の継承を図る。	
8	①	ひとり親家庭生活支援事業	R4 ～ R13	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の生活学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	①居室借上数(10部屋) ②技術力向上支援(12日間) ③家計簿管理支援(120回) ④支援世帯に合った個別支援(50回) ⑤児童生徒の生活・学習支援(小学生週6日 15名)(中学生 週3日×2クラス10名 合計20名) そのうち 中学3年生5名については1月～2月 補講有 ⑥高等学校卒業程度認定試験受験者支援 週3日開所 定員5名	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(100%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(20名) ③学習習慣の定着度(90%) ④高等学校卒業程度認定試験合格(2名)	・支援が必要な家庭への周知活動を工夫し、強化する。 ・支援世帯の年齢層、世帯構成に合わせた支援計画を作成する。 ・県母子会やハローワーク等と連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向けた支援を行う。 ・児童生徒の生活・学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 ・高等学校卒業程度認定試験を受験するひとり親の学習支援を行う	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を踏まえ、ひとり親の自立を促すための指標を設定した。
8	②	中学校教育指導推進事業	R4 ～ R13	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、児童生徒の置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用するなど多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・SSW配置人数 9名	・相談及び支援の件数 1000件 ・問題等を解決した件数 40件	各関係機関や家庭支援員、民生委員等と更なる連携を図り、問題解決と自立の糸口を見つけ出す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	③	教育相談事業	H24 ～ R13	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	教育相談員配置数(8人)	相談件数実績に対するケース終結の割合を36%以上を目標にする。	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 過去のケース終結割合を勘案して設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8	④	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	適応指導教室指導員配置数(3人)	体験活動に参加することができた割合 91%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合82%以上	【今後のスケジュール】 入級後も安定して通級できるよう、継続して支援体制を整える。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	⑤	作業療法士巡回相談	R4 ～ R13	発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。	・支援方法や指導方法について困り感のある教職員への相談・支援・具体的方策の提示 50件 ・児童生徒の生活・教育面で困り感のある保護者への相談・支援・具体的方策の提示 50件	・困り感が解消した割合 80%	巡回指導相談をしながら、そのノウハウを教員にも共有を図る	
9	①	うるま市島しょ地域振興事業	R4 ～ R6	新たな離島振興計画に掲げられている「島々がそれぞれの個性と潜在力を発揮し、活力と希望に溢れる地域社会を実現」するため、過疎化や高齢化が進み、活動できる人材が不足する離島において、離島を支える産業振興体制の構築とコミュニティ経済の振興に向け、多様な人材の関りにより産業振興・地域経済の活性化を図る。	・問合せ件数 30件 ・プロジェクト連携地元事業者数 3社 ・自治会との会議 3回 ・民間人流データによる分析回数 3回	・地域への滞在者(世帯)数 15世帯 ・プロジェクト創出数 5件 ・移住定住世帯数 5世帯	自治会の課題や実施したい企画を確認すること等、地域の課題と地域外人材の能力をマッチングしプロジェクトをきっかけとした地域への継続的な関係を構築する。 プロジェクト実施中に、移住・定住PRリーフレットや動画を作成し、島しょ地域への移住促進を行う。	「活動人口」は「関係人口」に近い考えであるが、地域活動を行う良い人材を指す。離島においては、活動できる人材が不足していることが大きな課題の一つであることから、本事業で構築した方法を横展開することで沖縄県内離島の活性化に繋がる。 民間人流データシステムを活用し、現在とプロモーション後の人流を測定し、事業効果を図る。
9	③	津堅島フェリー車両運搬費支援事業	R5 ～ R9	津堅島住民の利便性向上と交通コストの低減を図るため、高額となっている津堅島フェリー車両運搬費の半額相当額を支援する。	車両運搬費の半額助成	車両運搬台数:前年度比 5%増(参考) R3年度(R2年10月～R3年9月) 車両運搬台数:2,420台	【R5年度成果目標】 車両運搬台数:前年度比5%増	【R5成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
10	①	自主防災組織活動強化事業	R4 ～ R8	各種補助金(防災士育成・防災マップ・防災資機材)交付要綱に基づき、自主防災組織から補助金申請書を受理し、実績に応じて補助金を交付。 また、R4年度に実施した防災士資格認定者を中心に、うるま市防災士連絡協議会(仮称)を立上げ、防災士の資質向上や防災教育、防災訓練など実働的な活動を通し、防災力向上を目指す。	・防災士資格取得支援(養成講座) ・防災資機材購入支援(資機材の充実) ・防災マップ作成支援(作成支援) ・前年度で資格取得した防災士のうちから過去の災害被災地視察等による防災力向上アップのための旅費支給及び防災講座開催のための講師招聘費	防災士資格取得者数:50人(計96人) 防災資機材支援補助:10団体(計20団体) 防災減災マップ作成補助:30団体(61団体) 防災教育講座開催数:2回(受講200人以上)	【今後のスケジュール】 防災士養成講座の日程調整 養成講座の早期案内 防災資機材の確認と購入計画調整 住民による防災マップ作成への早期着手を念頭に早期に全自主防災組織に浸透させる。 R5年度以降に当事業で創出した防災士を中心に「防災士連絡協議会(仮称)」を設置し、地域相互協力のもと、災害に強い人づくりとまちづくりを目指す。	
10	②	省エネ設備推進事業	R4 ～ R9	本市の有する公共施設の照明設備等を省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。	LED照明機器への切り替え(1施設)	照明機器への切り替え完了(1施設)	【R6年度成果目標】 ・温室効果ガス(消費電力)を65%抑制。(東照間商業等施設)	既存の照明や空調を省エネ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。
11	①	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R7	公共施設間連絡バスの実証実験を行いながら、ルートの検証を行い有償化に向けた市民懇談会を開催し、問題点を整理する。また、路線バスを活用した実証実験や津堅島において実証実験を行い、地域毎の交通ニーズを整理する。	新たな交通システムの検討及び調査	公共施設間連絡バス 年間利用者数:19,000人 津堅島実証実験 実証期間利用者:2,200人	【R5成果目標】 年間利用客数:22,500人 【今後のスケジュール】 R4:実証実験(継続)、有償計画と運行体制の計画 R5:実証実験(継続)、市民対話 R6:有償での実証実験	【R5成果目標設定の考え方】 過年度実績を元に30%の増加を図るものとして設定した。 【津堅島実証】 過年度実証実験結果:201人/月から、実証期間(2ヶ月)×10%増を設定
11	②	うるま市総合食育センター整備事業	R5 ～ R8	食育交流拠点としての機能を有した食育センターを、給食センターと一体的に整備し、食育の推進を通じた健全な食生活の確立に向けた取組を実施する。 ・R5:用地購入・物件補償 ・R6～R7:敷地造成 ・R6～R8:実施設計及び建築工事	用地購入・物件補償の実施。	用地購入・物件補償の完了。	【R9成果目標】 ・バランスの良い食生活の認識が深まった割合80%以上(受講者アンケートより)	【R9成果目標設定の考え方】 食育センター整備事業完了後における、本施設を利用した者のうち大多数の認識が深まったかを図る値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細				R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			八重干瀬及び周辺地域 自然環境保全活用促進 事業	R4 ～ R9	R4年度では自然環境の概況調査を行っているが、特筆すべき生物群集の候補が多数確認されているので、その詳細調査を実施する。サンゴについてはR4年度に大規模白化による斃死が生じたと思われるため、その程度についても調査を行う。またR4年度では対象地域の地形図データを購入したことから、これを調査に利用すると共に、順次、関係者や市民等に公表していく。 加えてR5年度では国定公園指定を見据えて、保全体制構築の検討として関係者ヒアリング等を進める。	自然環境調査の実施 R4年度成果の公表 保全体制構築検討	①約3.9万haの対象地域のうち、約10m以浅の海域及び隣接沿岸域について、サンゴ及び植生等を主とした生物群集特性を明らかにする。 ②R4年度業務の成果について、市民等を対象とした報告会を2回開催する。	【今後のスケジュール】 国立公園等指定にふさわしい自然環境特性を明らかにするため、R4年度調査をベースにR5年度において詳細調査に発展させる。 また、R4年度成果を公表しつつ、保全体制構築検討に着手する。	八重干瀬及び周辺地域が国定公園等に指定されるよう、その自然環境特性を明らかにするとともに、保全体制を構築する。
2			地産地消による地域内 経済循環システム構築 事業	R4 ～ R8	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ブランドづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	学校給食 ・地産地消コーディネータ実証 地産地消ブランド制度検討 ・ルールづくりと運営体制づくり 地域経済波及効果検証 ・ワークショップや効果検証	学校給食における地産食材利用率の向上(20%以上)	【今後のスケジュール】 学校給食及びその他の飲食、小売、ホテル等への地産食材の利用率向上を図り、地域内経済循環を高めていく。併せて、地域内経済循環分析の仕組みを構築することで、事業や民間の取り組み効果を見える化する。	【R5成果目標設定の考え方】 学校給食における地産食材利用率がR2:11%からR3:17%に向上しており、R5は、20%以上を目指す。
3			地下水保全調査事業	H29 ～ R5	東添道・平良地下水流域の流域境界位置精度向上調査を行う。	1)東添道・平良地下水流域は市の規制対象となっている水道水源保全地域に指定されているが、その流域境界位置精度は高くない。そのため境界位置が不明瞭な東添道南西部、平良南西から北西境界面での調査を行い、その流域保全範囲の精度を高め今後の地下水保全につなげていく。	1)東添道・平良地下水流域の流域境界位置精度向上調査の完了	【今後の展開】 定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。 また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	1)調査結果を基に有識者の意見を踏まえながら検討していく。
4			宮古島市ひとり親家庭 生活支援事業	R5 ～ R9	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アルバイトを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等を原則1年間行う	3世帯へ支援を行う	ひとり親世帯の自立率 65%	今後も同支援を継続し、ひとり親世帯の自立を図る。	最大3世帯への支援を予定しており、うち2世帯の自立を目指す。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・社会福祉士配置:1人 ・スクールソーシャルワーカー配置:5人 ・問題行動学習支援員配置:9人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	①救命講習会受講者数 1300名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	・応急手当普及員3名の配置 ・定例救命講習会の実施:21回(普通救命講習Ⅰ/15回、普通救命講習Ⅲ/3回、上級救命講習/3回) ・出前救命講習会の実施:随時受付開催 ・救命講習に関する普及啓発活動	①救命講習会受講者数 1300名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	今後も新型コロナウイルス感染予防対策を行い講習会を継続的に開催し救助者が判断に迷うことが無いようガイドイン2022を活用し理解度を上げ、市民の救命能力の向上を図る。	平成28年度から令和3年度の受講者の平均で受講者数を1300名とした。	
8	“宮古島産の牛”生産推進事業	R4 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う	・優良母牛更新80頭/年	・素牛の年間出荷頭数:3,972頭 ・素牛の平均販売額550千円	【今後のスケジュール】 宮古島産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 ・直近6ヶ月(R4.4月～9月)の出荷頭数及び平均販売価格により算出しました。月平均331頭×12ヶ月=3,972頭、素牛の平均販売額は550千円	
9	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光地アクセス道路の環境美化の実施:32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10		観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園12箇所の環境美化実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11		持続可能な観光地域づくり推進事業	H24 ～ R8	宮古島市観光推進協会による観光マネジメント及びプロモーション活動、国内外の新規航空路線就航に向けたPR活動を行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。	①観光PRイベント等への参加 ②観光マネジメント体制構築業務	・観光客の満足度75%	【今後のスケジュール】 プロモーション活動や官民連携した持続可能な観光地域づくりを継続的に実施し、令和10年度の観光客の満足度75%を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 第2次宮古島市観光振興基本計画で策定している目標値を達成する。
12		クルーズ船受入体制強化事業	H29 ～ R8	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	①クルーズ船寄港時の受入業務 ②オーバーツーリズムにならない受入体制構築、受入コンテンツ開発	クルーズ船観光客観光消費単価13,400円	【今後のスケジュール】 受入体制の強化、コンテンツ開発・実施を継続的にを行い、令和10年度のクルーズ船客観光消費単価17,000円を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 第2次宮古島市観光振興基本計画で策定している目標値を達成する。
13		スポーツ施設整備促進事業	R5 ～ R5	照明LED化により、夜間でも利用しやすい環境を整え、市民の健康促進とスポーツ合宿誘致による地域振興を目的とする。	市陸上競技場、多目的前福運動場の照明LED化。	スポーツ合宿誘致件数 26件	市民利用、合宿誘致など利用者数の増加を促す。	【成果設定の考え方】 R1年(コロナ前)実績(25件)より5%増の26件。
14		観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R6	観光循環バスの将来的な自走化運行実現へ向けて、R4の実証結果を基にした採算性のあるルート・ダイヤの検討を行う。	R4の実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行。また、関連事業者との意見交換の場として、自走化検討委員会を年6回開催する。	事業採算性の改善を図るため、R4実証結果を基にしたルート・ダイヤの運行した上で、再度ルート・ダイヤの選定を行う。	事業採算性を踏まえたルート・ダイヤの選定を行い、完全自走化を目指した取り組みを行う。 事業の最終目標として、1時間半間隔で、16本/日(往復)の路線バス運行を行う。	【R5成果目標設定理由】 ルート・ダイヤの選定について、利用者及び関連事業者(各観光関連施設等)へのアンケートやヒヤリングを行い、本事業の課題を把握。また、バス路線の採算性を検証し、今後の事業展開へ繋げる。
15		下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R5 ～ R5	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港からの航空貨物輸送	【R5成果目標】 下地島空港における航空貨物取扱量：630t/年	【今後のスケジュール】 下地島空港において航空貨物輸送体制を構築することで、農水産業の振興・生活物資の供給安定・観光客受入体制の強化に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 事業者へのヒヤリングを基に設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
16	宮古島市歴史文化活用推進事業	R5 ～ R9	宮古島市歴史文化資料館を拠点とした文化財(芋麻績み技術・文化及び埋蔵文化財を中心とする)の魅力発信し、宮古島市の独自の地域文化の利活用の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資料館の芋麻績み展示室の整備 ・歴史文化資料館の芋麻畑屋外展示の整備 ・歴史文化資料館の利用促進及び文化講座の開催 ・『綾道-自然(植物)-』の制作・発刊 	宮古島市歴史文化資料館の入館者数5,000人	歴史文化資料館の利用の促進を図るため、資料館の案内及び文化講座の開催を継続して行い、『綾道-自然編-』の動物、地形、自然災害編などの制作・発刊を行っていく。	R3年度の宮古島市歴史文化資料館の入館者数は250人	
17	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業	R5	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業実施	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業完了	<p>【R6 成果目標】</p> 城辺地区の火災に対し、初期消火活動を行う。また、火災が発生しやすい時季には、広報パトロールを行い、地域住民への防災知識の向上を図ると共に、防災訓練を行い、防災体制の向上を図る。	<p>【R5 成果目標設定の考え方】</p> 過去の実績を勘案し設定した。	
18	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R5	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	ケーブル等機材購入・ケーブル入線工事。民地引込管路および連系管路工事。NTT既設ケーブルの地下化工事を行う。	ケーブル等機材購入・ケーブル入線工事。民地引込管路および連系管路工事。NTT既設ケーブルの地下化工事の完了。	<p>【R6 成果目標】</p> 近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	<p>【R6 成果目標設定の考え方】</p> 対象者のうち大多数が観光地としての魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
19	宮古馬利活用スタートアップ	R5	宮古馬の利活用に向けて、宮古馬放牧場での駐車場の整備や、宮古馬利活用者の育成及び堆肥場の整備を行い、市民及び観光客の利用方法について計画を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古馬放牧場施設整備(駐車場) ・宮古馬利活用者の育成 ・堆肥場の整備と堆肥の利活用法の計画 	放牧場への観光客利用者数1,000人	宮古馬の利活用に向け、アンケートの調査結果などをもとに、利活用の方法などについて検討を行っていく。		

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
20	宮古島市総合博物館デジタル・ミュージアム推進整備事業	R5 ～ R7	①デジタルアーカイブシステム導入へ向けた事例収集 ②総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画の策定 ③デジタルデータ作成用機材購入 ④計画に基づく令和6年度以降の事業費精査、算定	・基本計画策定 ・データ作成に必要な機材購入 ・館内資料のデジタルデータ整備(資料台帳、写真、スキャンデータ等)	①総合博物館デジタル・ミュージアム基本計画書作成・報告 ②デジタルデータ作成用機材の購入	R6年度 ・公開のための業者選定、公開形式の精査、決定 ・デジタルデータ整備 ・前年度の評価・改善 R7年度 ・公開用機材の導入 ・デジタルデータ整備 ・デジタル・ミュージアム公開	R8年度以降もデジタル・ミュージアムを拡充していく基盤を作る	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、キャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理(利用による損傷に強くする)	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【R5成果目標】 プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【R5成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定
1	②	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	地域学習の機会の創出及び観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・歴史資料のデジタル化、資料情報の充実化および新規資料の公開 5,000点 ・文化財活用コンテンツの取り組み:10か所	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 ・デジタルアーカイブ閲覧数70,000pv以上	【R5成果目標】 ・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 ・デジタルアーカイブ閲覧数70,000pv以上	【R5成果目標の設定の考え方】 R4の実績(見込み)を勘案した。 ・R4年度 1,200件(見込み) ・R4年度 70,000pv(見込み) 【今後のスケジュール】 継続してアーカイブの充実化および利用普及の取り組みを行い、地域学習の機会の創出及び観光振興を図る。
1	③	南城市歴史文化発信事業	R4 ～ R9	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化発信拠点を整備する。今年度は基本計画の策定及び用地購入等を行う。	・南城市歴史文化発信拠点基本計画策定の実施 ・ 地籍測量の実施 ・ 収蔵庫施設測量調査造成設計の実施 ・収蔵庫用地購入の実施	・南城市歴史文化発信拠点基本計画策定の完了 ・ 地籍測量の完了 ・ 収蔵庫施設測量調査造成設計の完了 ・収蔵庫用地購入の完了	【R10成果目標】 年間来館者数 18万人	【R10成果目標設定の考え方】 斎場御嶽過去3年の平均来場者数を参照
1	④	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	R4 ～ R6	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。	実施設計の実施	実施設計の完了	【R7成果目標】 ・施設利用者にアンケート調査を実施し、飲食スペースの整備により利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・繁忙期(7～10月)の奥武島への来島者数〇〇人増	【R7成果目標設定の考え方】 ・事業の成果目標として、施設利用者へのアンケートを実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。 ・ R5年度 に人流ビッグデータを活用し、現在とコロナ禍前の繁忙期(7～10月)の奥武島への来島者数を調べR7成果目標を設定する。
1	⑤	観光地美化等環境整備事業	H28 ～ R8	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、東海岸を望む道路沿線や景勝地の環境美化作業を行う。	環境美化作業の実施	環境美化作業による草木処分量:70t/年	【今後のスケジュール】 定期的に環境美化作業を実施し、魅力的な景観形成の維持に務める。	【R5成果目標設定の考え方】 伐採可能量を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	尚巴志ハーフマラソン大会を核とした地域振興事業	R5 ～ R7	県内屈指の人気スポーツイベントとして定着している尚巴志ハーフマラソンの観光連携、DX推進を図ることで、関係人口増加や地域経済の発展につなげる。	・アンケート調査の実施 ・交流イベントの開催 ・尚巴志ハーフマラソン20回記念大会の開催 ・アクションプランの策定	・アンケート調査の完了 サンプル数1000名 ・交流イベントの集客 1000名 ・尚巴志ハーフマラソン20回記念大会参加者数5,000名 ・アクションプランの策定完了	【今後のスケジュール】 R5策定のアクションプランに基づき参加者の利便性向上や大会の魅力アップにつながる取組みを実施するとともに関係人口創出策としてのCRMに係るシステム構築及び観光産業との連携施策を始動させる。最終年度はCRMデータを収集し、関係人口創出施策を展開する。	【R8成果目標設定の考え方】 R5に策定するアクションプランで根拠の設定や考え方などを整理する。
2	①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員9名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	・小学校：児童生徒理解度調査の算数の満足度80パーセント以上 ・中学校：沖縄県学力到達度調査における中学1年生の数学の県の平均正答率の平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の個々の学力に応じた学習指導を行い、学力向上に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の公立認定こども園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・公立認定こども園：特別支援教育支援員9名配置 ・市内8小学校：特別支援教育支援員26名配置 ・市内4中学校：特別支援教育支援員4名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
2	③	ICT支援員派遣事業	R4 ～ R8	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員3人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。	【R5成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。
2	④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	R4 ～ R7	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携やICT慣用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保証することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	電子黒板整備：76台	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器の活用による個別最適な学びの実現に向けた授業の改善に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑤	不登校児童生徒支援体制強化事業	R4 ～ R10	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	・適応指導教室の設置 ・校内自立支援教室の設置 ・不登校支援員の配置	・適応指導教室の設置完了 ・校内自立支援教室の設置完了 ・不登校支援員の配置完了	【R10成果目標設定の考え方】 児童生徒の不登校率：小学校1.0%、中学校2.0%以下	【R10成果目標設定の考え方】 事業採択時の不登校率から改善が図られたと考えられる値を設定した。(R3年度不登校率：小学校2.1%、中学校4.0%)
3	①	優良繁殖牛導入支援事業	R4 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数：50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合：117.1%以上	【今後のスケジュール】 今後も発育能力の高い優良繁殖牛を継続して導入し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
3	②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数：50頭	南城市酪農・肉用牛生産近代化計画の目標値を基に設定した。 乳用牛1頭あたりの生産乳量：8,500kg(年間) 乳質(脂肪率)：3.87%以上	【今後のスケジュール】 優良な乳用牛へ更新していき、酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 南城市酪農・肉用牛生産近代化計画の目標値を勘案して設定した。
3	③	南城市耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ R6	気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備することで、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成を図る。	耐候性ハウス約3,200㎡(6棟)	耐候性ハウスの整備完了	【R5年度成果目標】 農産物の生産量については、要望調査後に決定した対象品目に応じて決定する。	【R5年度成果目標設定の考え方】 対象品目に応じて、「沖縄県農業経営技術指標」、「沖縄県野菜栽培要領」などの10aあたりの収量から勘案し設定する。
4	①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R6	二酸化炭素排出量の削減を図るため、公共施設の照明機器や空調機器を省エネ型の機器に切り替える。	照明機器取替工事の実施	照明機器取替工事の工事完了	【R6成果目標】 南城市文化センター 49.7t/年 削減	【R6成果目標設定の考え方】 既存の照明を省エネ化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。
4	②	南城市エコリサイクル推進事業	R5	刈草や伐採樹木等の資源化(チップ化)に係る資機材を整備し、ゴミ減量化、3R推進に繋げ、自然環境の保全を図る。	資機材購入実施	資機材購入完了	【R6成果目標設定の考え方】 ・草木の処分量 2,990t以上/年 ・堆肥生産量 10,152袋/年	【R6成果目標設定の考え方】 過去3年間の平均を10%上回る量を設定した。 ・草木の処分量 R1：2,955t、R2：2,612t、R3：2,590t 3年平均2,719t × 1.1 ≒ 2,990t ・堆肥生産量 R1：8,888袋、R2：8,978袋、R3：9,820袋 3年平均：9,229袋 × 1.1 ≒ 10,152袋 ※1袋あたり15kg

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R13	南城市の歴史・文化について調査研究を行い、冊子や学習会等で普及し、その継承を図る。	・『年報』刊行 ・学習会等の開催(2回)	学習会等への参加延人数 60人以上	【今後のスケジュール】 市の歴史・文化の調査研究及び成果の普及を継続し、その継承を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
6	①	南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業	R5 ～ R6	地元農畜水産物の高付加価値化に向けた加工品の製造・販売を行う利用促進拠点機能を有する観光交流施設を民間資金も活用して整備するため、用地購入及びマスタープランの作成を行う。	用地購入	用地購入実施	【R5年度】 ・用地購入 【R6年度】 ・用地購入、マスタープラン策定	【R9年度成果目標設定の考え方】 後年度成果目標の設定については、R6年度にマスタープランを策定する際に決定する。 想定目標 観光交流施設来訪者数〇〇万人 産業人材として育成した人数〇〇万円

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1	①	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R5	<p>くいなエコ・スポレク公園施設で合宿を実施する県内外の団体及び村民の健康づくりに寄与するため、利用者が安全安心かつ快適に施設を利用できるよう必要な備品を整備することにより、施設の機能強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技大会実施対応備品の整備 ・ラグビー用Hゴール設置実施設計及び工事の実施 ・合宿及び備品運搬用車両(2トラック)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技大会実施対応備品の購入 ・ラグビー用Hゴール設置実施設計及び工事の完成・供用開始 ・合宿及び備品運搬用車両(2トラック)の購入 	<p>【R6年度成果目標】 合宿誘致件数 50件以上 (うち、ラグビー合宿誘致件数 2件)</p> <p>【今後のスケジュール】 R6年度 ・各種陸上競技大会において利用 7月 国頭村児童オリンピック大会 9月 国頭村陸上競技大会 10月 国頭郡陸上競技大会 11月～3月 合宿受入 ・ラグビー合宿の受入 ・備品運搬用車両の使用開始</p>	<p>【R6成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>	
2	①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R6	<p>村内の観光施設における外来種及び重要な種の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種の対策を講じる。また、村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種や希少種等の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種対策を講じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村内観光施設における外来種防除対策の実施 N=4ヶ所 ・村営林道における林道/パトロール及び外来植物等の分布調査の実施 N=12本 	<ul style="list-style-type: none"> ・村内観光施設の外来植物減少率 A=60%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件 	<p>【R6成果目標】 ・村内観光施設の外来植物減少率 A=70%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件</p> <p>【今後のスケジュール】 R6観光施設及び村営林道防除等の業務</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>	
3	①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R5	<p>観光誘客や環境教育の活用を図るため、本村における観光施設の機能強化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばる学びの森遊歩道改修工事の実施 ・やんばる学びの森照明改修実施設計の実施 ・やんばる学びの森照明改修工事の実施 ・奥ヤンバルの里照明改修実施設計の実施 ・奥ヤンバルの里照明改修工事の実施 ・国頭村森林公園照明改修実施設計の実施 ・国頭村森林公園照明改修工事の実施 ・安田くいなふれあい公園照明改修工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・やんばる学びの森遊歩道改修工事の完了 ・やんばる学びの森照明改修実施設計の完了 ・やんばる学びの森照明改修工事の完了 ・奥ヤンバルの里照明改修実施設計の完了 ・奥ヤンバルの里照明改修工事の完了 ・国頭村森林公園照明改修実施設計の完了 ・国頭村森林公園照明改修工事の完了 ・安田くいなふれあい公園照明改修工事の完了 	<p>【R6成果目標】 ・やんばる学びの森遊歩道年間利用者数:1,800人以上 ・やんばる学びの森宿泊者数:20,000人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数:4,600人以上 ・国頭村森林公園年間利用者数:13,300人以上 ・安田くいなふれあい公園年間利用者数:4,700人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 R6年度 星空保護区申請</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 過去(H30年度～R2年度)の実績を勘案して設定した。</p>	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	国頭村農林水産物販売強化事業	R5～R6	国頭村産農林水産物の新たな市場を獲得するため、国頭村産農林水産物の魅力を発信し、都心部での販売促進など販売力強化を図る。	・農林水産物の県外での販売強化の補助	本事業での取引の価格の上昇 県の拠点産地の認定を受けている作物 ・マンゴー 単価 1,590円/kg ・タンカン 単価 455円/kg	【今後のスケジュール】 本事業での農林水産物の販売価格と今までの取引価格を農林水産業者に確認し、販売価格の上昇を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去2カ年の平均単価を参考にした。
5	①	国頭村畜産糞尿利活用調査事業	R5	畜産糞尿の賦存量を把握し、再生可能エネルギーとしての利活用の検討や事業実施の可能性について調査を行う。	畜産糞尿利活用調査の実施	畜産糞尿利活用調査の完了	【今後のスケジュール】 畜産糞尿利活用調査結果を踏まえ、適正な糞尿処理及び利活用を推進する。	【成果目標設定の考え方】 利活用調査を勘案して設定した。
6	①	国頭村交通不便地域における公共交通実証実験事業	R5～R6	持続可能で安定した公共2次交通の導入に向けて、コミュニティバスの実証実験を行う。	・乗客へのアンケート調査(11～2月) ・実証実験の実施(12～2月)※無償で運行 ・実証実験の評価(3月) ・地域公共交通会議の開催1回(3月)	実証実験の実施、評価及び地域公共交通会議の開催	【今後のスケジュール】 R5年度・アンケート調査・実証実験の実施 ・実証実験に係る広報等の実施 ・実証実験の評価 ・地域公共交通会議の開催 R6年度 ・乗客を対象としたアンケートの実施 ・運行路線の検討 ・実証実験(通年)の実施・効果検証 ・実証実験から自走化へ計画 ・地域交通会議の開催	【R5成果目標設定の考え方】 実証実験の結果等を踏まえて、目標利用者数を設定し、国頭村地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取り組みの確実な実施につなげる。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	①	星空観光推進事業	R5 ~ R6	国頭村が有する自然資源の中でも、新たな観光資源として注目を浴びている“星空観光”の魅力を発信し、さらなる事業推進を図る。	・星空観光を推進するホームページの作成 ・星空観光の普及を図る備品の整備	・星空観光を推進するホームページの公開 ・星空観光の普及を図る備品の購入	【R7成果目標】 ・やんばる学びの森宿泊者数：20,400人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数：4,800人以上 ・国頭村森林公園年間利用者数：13,600人以上 ・安田くいなふれあい公園年間利用者数：4,800人以上 【今後のスケジュール】 R6年度 星空保護区申請	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
8	①	国頭村農産物加工施設整備計画策定事業	R5	市場における商品価値が低い農産物の高付加価値化を図るため、多様なニーズに応じた農産物の加工・貯蔵に対応できる農産物加工施設の実現に向けた計画策定を行う。	・計画の策定業務の実施	・計画の策定完了	【今後のスケジュール】 計画を踏まえ、農産物加工施設の整備に向け、事業着手する。	【成果目標設定の考え方】 今後のスケジュールを勘案し設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ R5	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。 また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく	・産業まつり誘客イベント開催支援 ・PRイベント開催支援	産業まつり参加者数 約5,000名 (参考 H29年度 役4,400名 H30年度 役4,700名 PRイベントの参加者数 約11,000名以上	【産業まつり】 同時開催している国頭村までのシャトルバスを配置し、まつり参加者数の増加に繋げる。 雨降りなどの天候の悪い日はグラウンドなので足下が悪くなるため、別会場での開催も検討する。 【PRイベント】 新規開拓地も視野にイベント交流人口11,000人以上を目標に村内外にてPRイベントを実施する。	
1	②	環境保全・美化推進事業	R4 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:40台、犬:3台、猫:10台) ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 ・保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 ③保護した猫の譲渡:100件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	R5 ～ R9	観光誘客や観光教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=41m	・累計河川工事整備率 81% (2,109m/全体延長2,600m)	【今後のスケジュール】 R3 R3年度事業繰越整備 R4 事業中止 R5 護岸等整備工事 R6 護岸等整備工事 R7 護岸等整備工事 R8 護岸等整備工事 R9 護岸等整備工事・台帳整備 R10 全体供用開始	R4事業中止し、R5年度以降引き続き整備していく
1	④	塩屋湾周辺利活用推進事業	R4 ～ R7	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の持続的な利活用に向けた調査及び計画策定を行う。	・塩屋湾水環境再生調査	・塩屋湾水環境再生調査完了	塩屋湾来訪者満足度80%以上 【令和8年度】	塩屋湾を活用する事業者と連携し来訪者へ塩屋湾における満足度を把握するためアンケートを行い、満足度の向上を目標とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	大宜味村観光地安全対策整備事業	R5	大宜味村内の観光拠点を整備し、観光周遊ルートを形成することにより、観光客の受入体制を強化するとともに、災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む	災害時、安心安全に避難できるよう観光地整備を行い観光地形成に取り組む	雨天の増水に伴う消防の出動件数0件 雨天の増水に伴う死亡・事故件数0件	【今後のスケジュール】 本村を訪れた観光客が災害時、安心・安全に非難することが出来るよう調査、整備を行い観光地形成に取り組んでいく。	
2	①	学習支援員配置事業	R4 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	・小学校3名(低・中・高学年 各1名) ・中学校2名(1年～3年 2名)	・令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 県平均値をさらに超える2.3ポイント以上 中学校 県平均値に近づく-0.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き学習支援員による児童生徒への学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査における目標達成へ向け取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	地域支援員配置事業	R4 ～ R13	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	・地域支援員配置数 教育委員会1人 (対象:小学校及び中学校)	不登校出現率10%以下	【今後のスケジュール】 今後も継続して地域支援員を配置し、不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らないよう支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	R4 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座 12回以上開催	講座受講者数:240名以上	【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	児童生徒等県外派遣支援事業	R5 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童・生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たせたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が、円滑な学校生活が送れるよう、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	特別支援教育支援員配置数(全4名) 1小学校に3名、1中学校に1名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 学校教職員とスクールソーシャルワーカー等と特別支援教育支援員が情報を共有し、連携を取ることで円滑な学習環境を提供することにより学力向上に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象児童の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	東村自然環境保全事業	R3 ～ R8	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、R4年度基本設計を基に赤土等流出が著しい古島川流域における土木的対策の実施設計を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	R4年度に実施した調査測量基本設計を基に実施設計の完了。	R4年度に実施した調査測量基本設計を基に実施設計の完了。	【R7年度以降成果目標】 赤土等流出削減量 1,100m ³ 【今後のスケジュール】 R6: 工事(工区①)の実施 R7: 実施設計(工区②)の実施 R8: 工事(工区②)の実施	【R7年度以降成果目標設定の考え方】 R3年度の発生源調査・対策内容等を踏まえて、工区①工事完了後の赤土等流出削減量を設定した。
3	①	東村健康づくり事業	R3 ～ R6	村民の健康増進を図るため、(宮城区・川田区)の2地区に健康器具を設置する。	健康器具の設置	健康器具の設置工事の完了	【R10成果目標】 ・メタボ該当者を27.6%(R2)から0.6%減の27%に下げる。	R10年度成果目標については、27.6%(R2)から26.4%(県平均)を引いた1.2%の半分0.6%減を目指す数値とした。 設置後、効果の検証を数年かけて実施していき、R15には、メタボ該当者が県平均26.4%を下回る。
4	①	東村博物館機能高度化事業	R4 ～ R7	生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設機能高度化を実施する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了	【R8成果目標】 年間利用客数7,000人 【今後のスケジュール】 R5: 実施設計 R6: 建築・設備工事 R7: 建築・設備工事 R8: 供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 東村観光振興計画の数値目標を参考に設定した。
5	①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業	R4 ～ R9	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施したネコの実態調査を基に、本村における飼いネコの適正飼養推進及び飼い主不明ネコ・地域ネコの譲渡強化を図る。	①飼いネコ適正飼養の普及啓発 ②飼いネコ適正飼養の為の処置 ③飼い主不明ネコ及び地域ネコの適正管理及び譲渡強化 ④ネコ適正飼養推進協議会の運営	ネコの捕獲数60頭	【R5以降の成果目標】 R5ネコの捕獲数60頭 R6ネコの捕獲数45頭 R7ネコの捕獲数30頭 R8ネコの捕獲数20頭 R9ネコの捕獲数10頭	【R5成果目標設定の考え方】 過去5年の実績及び地域ネコを勘案して設定した。 R6以降についても、過去の実績及び事業の本事業の実施を勘案し設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	小中学校電子黒板設置事業	H26 ～ R5	将来の本村や沖縄振興に資する人材育成や沖縄が抱える学力向上における課題克服の為に村内小中学校の特別教室に電子黒板を整備し、児童生徒に解りやすく効果的な授業を実施し、学習意欲を高め学力向上を図る。	村内各小中学校特別教室に一体型電子黒板を設置	・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)		【R5成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、対象者のうち概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
7	①	東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業	R5 ～ R6	現在、定時運行している東村コミュニティバスの利便性向上を図り、利用者の拡大を目指すためデマンド化実証実験を行う。	デマンド管理システムの導入 デマンドバスの利用説明会 6回 デマンドバス実証実験 6か月	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を60%以上とする。	【R6成果目標】 東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を70%以上とする。	【R6成果目標設定の考え方】 R5と比較し、段階を踏んだ目標を設定したいと考えているためR5を超える目標を設定した。
9	①	避難経路整備事業	R5 ～ R6	地震・津波災害の対策における住民や観光客等の安心安全を確保するため、避難経路を整備する。今年度は実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の完了	【R7成果目標】 防災避難訓練 1回/年 【今後のスケジュール】 R5: 実施設計 R6: 整備工事 R7: 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 災害時の避難者数等を設定することは困難なため、村民及び観光客が避難経路として活用できる体制が整った状態を目標とする。具体的には、避難訓練を毎年1回以上実施することにより本事業のあり方について検証する。回数については、東村地域防災計画を参考に設定した。
10	①	産業支援住宅整備事業	H29 ～ R6	本村地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図る為、産業支援住宅を整備する。	産業支援住宅の建設場所の調査、実施設計を行う。 R5年度 実施設計 R6年度 建築工事	実施設計の完了	実施設計完了後、設計に基づき建築工事を行う。 R5年度 実施設計 R6年度 建築工事	整備後、産業支援住宅の入居募集及び入居者選考を行う。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1	①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ特別支援員(有資格者)と特別支援員(無資格者)を配置する。 ・小学校 特(有)3人 特(無)9人 ・中学校 特(有)1人 特(無)3人	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒、個々の特性に応じたサポートを行うため、各小中学校に必要な数の支援員を計画的に配置する。		
1	②	今帰仁村児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流により、児童生徒の主体的なスポーツ競技への参画を後押しするため、村内児童生徒が各種スポーツ大会等に参加するための県外派遣の費用を支援する。	①各種媒体での広報活動:(3つ以上) ②保護者へのアンケートによる効果検証:(全数実施)	①事業申請(相談)件数:(10件以上) ②アンケートで「児童生徒の競技参画への主体性が増した」割合:(80%以上)	○今後のスケジュール 通年で継続的に事業を実施し、県外での経験を積むことにより、児童生徒の主体的な競技への参画を目指す。	・広報活動を丁寧に行ない、事業利用件数増加を目指す。 ・事業利用者(児童生徒)の主体的な競技への参画につながったか、アンケートにより検証する。	
1	③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。キャリア教育を通して基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さや長所を違う場所から見たり、新しい環境に適応できる人材を育成する為、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけるため、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	・各校の授業カリキュラムと地域の人材を把握、活用、連携し子ども達の職業観を育む活動を行う。 ・職業観、経営意識を育むため、子ども達が自分たちで考えたイベントやテナント運営を行う。 ・県外事業所を活用したインターンシップを行う。 ・講演会を開催する。	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか(向上度80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 キャリア教育を通して児童生徒の基礎的・汎用的能力を身につけ職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。		
1	④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	・臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。	・対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した場合(67%以上)を含め、特別支援コーディネーターへのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後のスケジュール) ・障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	児童生徒の不登校や問題行動等カウンセリングを充実させる。	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員 2人	児童生徒の不登校や問題行動、不安や悩みを改善する。 ・対象となる児童生徒が集団生活や日常生活に対応できるようになったか(80%以上)アンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後の展開方針) ・不登校や問題行動、不安や悩みを持つ児童生徒や保護者の相談を受け集団生活での困難さや日常生活に対応できるよう気軽に相談できる話し相手として対応する。		

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑥	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	本村今帰仁中学校に在学する中学生2人をハワイ州に、北山高等学校に在学する本村出身高校生6人をジョージア州に2週間ホームステイさせる。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な視野が広がった生徒が成長し、今帰仁村の次世代を担う人材となる。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の保護者がより、国際的な視野が広がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートによる検証をする。
1	⑦	人材育成事業	H24 ～ R13	小学生を対象に、矢野健酒田市と将来のリーダー育成の為、交流事業を行う。南国沖縄にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代と交流を行うことにより、子どもたちの視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	小学生を対象に、山形県酒田市の児童と文化学習等の交流や、東北地方の気候、暮らし、文化等を学ぶ。 派遣児童数：36人	交流を通じて児童の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に交流事業を行うことで、児童の視野を広げ、人材育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。また、併せて観光客の安全確保のため危険生物等の除去を行う。	・今帰仁城跡及び村内観光地並びに観光ルートの美化作業の実施。 ・観光地として魅力的な景観形成を図る。 ・危険生物等を除去する事で安全の確保を図る。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。併せて観光客が訪れる機会が多い海辺やその周辺地域において確認される危険生物等の除去を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてはアンケートにより検証する。
2	②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施およびガイド内容の質の向上を図る。	今帰仁村歴史文化センターが主催する講座や研修会への参加などを通してスキルアップを支援する。ガイド内容の質を高めることで、観光客の満足度も向上し今帰仁村の観光産業に寄与できる。	ガイドによる来訪者の案内10,000名	【今後のスケジュール】 来城する観光客等に今帰仁城跡の歴史文化等について正しく理解してもらい、魅力を発信するために、ガイドの知識の上書き、ガイド内容の充実などスキルアップにつながる講座や研修会などに参加しガイド内容の充実に継続して取り組む。	【R5年度成果目標の考え方】 案内者数は過去の実績より算出 H25:実績11,419名 H26:実績12,603名 H27:実績12,782名 H28:実績12,095名 H29:実績12,040名 H30:実績13,614名 R1:実績11,130名 R2:実績5,070名 R3:実績5,407名 R4:目標12,000名 R5:目標10,000名

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	R5事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R13	教育旅行民泊事業者の受入体制強化及び誘致活動を行い、継続した着地型観光を促進する	<ul style="list-style-type: none"> ・専属職員の配置3名 ・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した受入民家数の回復を図る ・県内外での誘致活動 ・コロナの影響により減少した民泊を補うため、日帰り体験など宿泊を伴わない受け入れも実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の予約人数13,500人(70校) ・2泊5食プランの増加(2校) ・リピート校の増加(2校) 	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に教育民泊事業者の受入体制の強化及び誘致活動を行い、また日帰り体験などの受け入れも行い、今帰仁村を好きになってくれる人々の増加を図る。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 民泊宿泊人数11,500人 日帰り体験人数 500人 計 12,000人</p>
2	④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R13	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊及び体験プログラムの創出 ・効果的な情報発信 ・ガイド(人財)育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド(人財)育成 ・提携企業3社 	<p>【今後のスケジュール】 継続的な事業者との連携及び地域資源の再発見によるプログラムブラッシュアップと新規構築、また商品化を図る</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 現状宿泊＝1泊と捕らえ、連泊客数の増加を目標化する</p>
2	⑤	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントの支援を行う。 ・現代版組踊「北山の風」 ・古宇利ハーフマラソン ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり ・今帰仁まつり ・今帰仁ハーリー大会 ・三村交流事業(運天港いいなまつり)	<p>村内で実施する以下のイベントの運営費等に対して補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・古宇利ハーフマラソン(4月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(2月) ・今帰仁まつり(10月) ・今帰仁ハーリー大会(8月) ・三村交流事業(11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代版組踊「北山の風」来場数:1,150人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,500人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:3,000人/日 ・今帰仁まつり来場者:10,300人 ・今帰仁ハーリー大会参加者数:770人 ・三村交流事業来場者:1,100人 	<p>【今後のスケジュール】 新型コロナウイルス感染症で落ち込み気味の村経済の活性化を図るため、村内で開催するイベント等の支援を継続して行う。</p>	<p>【成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
2	⑥	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	1月～2月に、今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	<p>【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるよう、交通整理員を配置して安全確保に努める。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 環境客が安全でスムーズに入場することを目的に、交通整理員が配置された箇所において事故が無いことを目標として設定した。</p>
2	⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川の整備を行う。	河川改修工事の実施。	全体計画における3.8%整備(累積整備率74.3%)	<p>R13 供用開始 供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(70%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として70%以上を設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑧	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	観光ルート且つ、昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備とそれに伴う設計・測量・用地補償等を行う。 ・簡易舗装及び排水路設置工事	景観に沿った道路整備を行う。また、次年度に工事予定箇所の測量設計委託業務を実施する。	魅力的な景観が形成されているかを検証するため、観光客等を対象にアンケート調査を実施し本事業を検証する。	事業の目的である魅力的な景観が形成されたを検証するため当該事業に関するアンケート調査を、観光客等を対象に実施し効果を測定するものとした。
3	①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R13	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。	R5年度 21頭導入	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上	(今後の展開方針) ・今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 また未導入農家に対しても導入に向け働きかけ村内全域の母牛品質向上を図る。 ・導入全体計画 189頭以上(R5)	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内850カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 ハブの生息域拡大が懸念されるため、今後も引き続き捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目標として設定した。
1	②	伝統興行観光化事業	H25 ～ R8	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興業の実施 2回	・伝統興業来場者数:742人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催することで観光客の誘致を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4～ R6	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町観光協会へ補助金の支出 1件/年	町認定ガイドの養成(観光ガイド養成講座実施):15人/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町認定ガイドを養成し、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の環境美化作業を行う。	国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に除草作業を行い、魅力的な観光地としての景観形成を推進する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	⑥	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行い、花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付=1,185基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスへの植付	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	⑦	本部町観光誘客周遊バス実証事業	R5 ～ R7	二次交通の整備による観光客の移動手段を確保するため、町内の観光施設等を巡る周遊バス運行に向けた実証実験を行う。	周遊バスの運行	周遊バス利用者数 13,400人	【今後のスケジュール】 利用状況の結果をもとに、周遊バス導入の可否について検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R6	肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入及び人工授精等を行うための機械器具購入を行う。	・人工受精卵移植の実施	・人工受精卵移植の完了	【R7成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格:その他の子牛のセリ平均価格以上 【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良子牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R7成果目標設定の考え方】 従来の子牛のセリ価格を上回るよう設定した。
2	②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	R4 ～ R8	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施(メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。
3	①	テレワーカー人材育成事業	R4 ～ R6	町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。	・テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名) ・テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ実施)	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	【今後のスケジュール】 今後も継続して講座等を開催し、テレワーカーの人材育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 他の自治体の類似事業による就労者数を勘案して設定した。
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和5年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.7ポイント以上 中学校 -4.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 9名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	③	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣または県内での宿泊英語学習を行う。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間) または県内での宿泊英語学習	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣または県内での宿泊英語学習を行い、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
5	①	低炭素なまちづくり推進事業	R5 ～ R13	二酸化炭素の排出量の削減を図るため、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。	調査設計業務委託発注 2件 LED照明切替工事発注 1件	R5年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減●●kg-CO ₂ /年	【今後のスケジュール】 順次、公共施設等のLED照明への切り替えを行い、二酸化炭素の排出量を削減する。	【R5成果目標設定の考え方】 R5年度中に切り替えるLED照明の基数から二酸化炭素の削減量を算定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ R13	観光客や地域住民のハブ咬症被害防止を図るため、村内各地に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 450箇所	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数: 0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲器設置エリアの見直し ・マウスの長期生存率向上のための検証 ・捕獲器の改良	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
1	②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光誘客人の配置 ・観光案内人の配置 ・イベントの開催 ・プロモーションの実施 ・情報媒体の整備	①イベント入場者数: 8,000人以上 ②村内主要ホテルへの年間宿泊客数: 延べ230万人以上 ③観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R5成果目標設定の考え方】 ・イベント入場者数、宿泊客数、過去の実績及び新型コロナウイルスによる観光への影響を勘案して設定した。 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	赤間総合運動公園機能強化整備事業	R4 ~ R13	R4年度に策定した機能強化整備計画を基にR6年度からの工事開始に向け実施設計を行う。	設計業務2件の完了	設計業務2件の完了	【今後のスケジュール】 機能強化整備計画を基に、計画的な改修及び追加整備工事を行いスポーツ合宿環境及び、利用者の利便性向上に向け整備を行っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 機能強化整備計画を基に設定した。
1	④	観光地景観形成促進事業	R5 ~ R13	観光地恩納村の景観形成を図るため、枯木の伐倒や剪定を行い、安心・安全で快適な観光地として魅力的な景観の保護を図る。	伐採・剪定作業の実施	観光客、住民からの観光地エリア(公有地)の繁茂した樹木や枯れ木等に対する苦情: 0件 伐採・剪定作業の完了	【今後のスケジュール】 今後も作業地域を拡大し魅力的な景観の保護を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 現況を勘案して設定した。
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園4園: 4人 小学校4校: 10人 中学校1校: 3人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、園児児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	学校ICT支援員配置事業	R5 ~ R13	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようにサポートを行い、児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。	・ICT支援員充足率 100% ・ICT支援員配置数 小学校4校: 2人 中学校1校: 1人	ICT支援員の対応で教員のICT活用指導力の向上等が図られたか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員を継続的に配置し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに児童生徒のGIGA端末を活用し、学力の向上や人材育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ICT支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、教員の大多数がICT機器活用の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	④	日本語通級指導教室補助員配置事業	R5 ~ R13	外国籍児童の学習や学校生活の対応のため、英語の堪能な日本語通級指導教室補助員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・日本語通級指導教室補助員充足率100% ・日本語通級指導教室補助員配置数 小学校1校: 1人	日本語通級指導教室補助員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 日本語通級指導教室補助員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 日本語通級指導教室補助員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	恩納村景観むらづくり計画改定事業	R4 ~ R5	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るために、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。本年度は景観計画(案)をもとに住民説明会およびパブリックコメントを実施し、計画の策定を行う。また、準景観地区(山田地区等)の指定検討を行う。	・住民説明会及びパブリックコメントの実施 ・庁内会議及び恩納村景観むらづくり審議会の開催 ・山田地区景観むらづくり協議会の開催	・恩納村むらづくり計画(改訂版)作成 ・山田地区・準景観地区(案)報告書作成	【R6成果目標】 策定する景観計画において、景観保全に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 計画に基づき施策を展開 R7 事業効果検証、実施事業の改善	【R6成果目標設定の考え方】 景観計画で設定した目標値に向けた景観保全施策を実施していくことを成果目標として設定した。
3	②	恩納村防災事業	R5 ~ R13	大規模自然災害が発生したと想定し各自治会、観光事業所等と連携し、避難訓練及び避難所運営訓練を実施する。又、防災倉庫や備蓄品を整備し、災害に強いまちづくりを推進する。	防災訓練の実施 ・各自治会、観光事業所等 防災倉庫の設置(1基) 備蓄食料及び資機材の整備 ・備蓄食糧2,700食分(300人×3食×3日分) ・仮設トイレ、発電機等	防災訓練の実施 防災倉庫の設置(1基) 備蓄食料及び資機材の整備	【今後のスケジュール】 防災倉庫等の未整備地域について早急に設置を行い、備蓄食糧等についても災害に備え計画的に整備する。また、防災訓練を実施することで災害に強いまちづくりの推進する。	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施していくことを成果目標として設定した。
4	①	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査事業	R5	観光連携型農業事業の可能性及びスマート農業整備の可能性について調査し、「稼ぐ力」を目指した観光連携型農業の構築を図ることを目的とする。	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の実施	スマート農業と観光連携型農業推進による村内農産業の活性化に関する調査の完了	【今後のスケジュール】 調査結果を踏まえ、観光連携型農業及びスマート農業の導入を促し、農業活性化を促す事業構築を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた整備計画を実施していくことを成果目標として設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものである。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものである。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	恩納村農業拠点産地品目等担い手育成研修施設整備事業	R5	農業分野で拠点産地認定を受けている品目の担い手不足を解消するため、農業担い手研修施設を整備し、担い手不足及び生産量の拡大を図る。	担い手育成研修施設の整備	担い手育成研修施設の整備 3棟	<p>【R8年度成果目標】 年間パッションフルーツ生産量5.2tの増</p> <p>【今後のスケジュール】 施設整備後に農業担い手希望者を公募し、施設を貸与し拠点産地品目の栽培を実施しながら、各種講習会及び農業経営アドバイザー等の現地検討会を行い農業経営に必要な技術・知識の習得を図る。 主に拠点産地品目であるパッションフルーツの栽培を基本とし、パッションフルーツの生産拡大及び生産量の拡大を図る。</p>	<p>生産量5t増の理由:恩納村内優良農家の年間反収が2tを参考に選+16J6定。300坪あたり2tであり今回導入施設が261坪のため施設1棟当たりの収量が1.74tとるため。</p> <p>パッションフルーツ選定の理由:恩納村が認定を受けている拠点産地品目の内、所得率が高く定植後1年以内に収入を得れるため選定した。</p>
5	①	地域特産品等開発支援事業	R5 ～ R13	地域資源を活用した商品やレシピの開発、販売促進を支援することで地域経済等の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○開発事業者支援 5社 ○開発された商品の販売促進やレシピ開発に関する企画実施1回、来場者に対するアンケート ○販売促進に関するツールの製作及び関連施設への配布 	○開発された商品 5品	<p>【今後のスケジュール】 ○開発された商品の高付加価値化によるふるさと納税返礼品、ギフト商品への展開による消費拡大。 ○企画イベント等の来場者に対するアンケートによる消費者ニーズを事業者へフィードバックすることで新たな商品開発に結び付けることができる。</p>	<p>【R6以降成果目標設定の考え方】 R5開発商品の事業者における経営上の効果は当該年度で発生しないため、R6年度以降の成果目標として開発支援を受けた事業者に対するアンケート回答(売上げ向上につながった80%以上)やふるさと納税返礼品エントリー数、ギフト商品化された件数などの設定を検証する。</p>
5	②	恩納村産業まつり実施事業	R5 ～ R13	本村で生産される農畜産物・水産物・加工品・お土産品・観光土産等を一堂に展示、販売、村内外へPRし、生産者及び事業者の売上向上に資することを目的に「恩納村産業まつり」の開催に係る運営費を実行委員会に補助する。	○恩納村産業まつりの開催	<ul style="list-style-type: none"> ○出店者に対してアンケートを行い、恩納村産業まつりに出店し、農産物又は特産品等のPRに繋がったと感じる割合:8割 	<p>【今後のスケジュール】 ○前年度の地域特産品開発支援事業で開発された商品のPRを行う。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 産業まつりが宣伝に繋がったと感じるかどうかを出店者に対し、アンケートを実施する。</p>
6	①	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活分)	R5 ～ R13	本村の生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	スポーツ及び文化活動に係る、県外派遣費の補助	派遣された生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	<p>【今後のスケジュール】 派遣された生徒の自立や意欲、競争能力の向上心を図るため、スポーツ及び文化活動に係る県外派遣費を支援する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 他市町村の類似事業参照</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	②	恩納村各種競技等の県外派遣に関する支援事業(部活外)	R5 ~ R13	本村に在住の方へで県代表として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	派遣された方へ競技力の向上や視野が広がったかアンケート調査を行う。	派遣された児童生徒の自立や意欲、競争能力が向上したか(保護者アンケート):80%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知を行い、機会の創出にもれないようにする。	【R5成果目標設定の考え方】 他市町村の類似事業参照
6	③	恩納村アメリカホームステイプログラム派遣費支援事業	R5 ~ R13	次代を担う中・高生をアメリカ合衆国へ派遣することで、国際性豊かな視野を身につけ、国際交流推進の担い手となる人材育成を図るとともに、国際共通言語といわれる英語を直接現地で体験することで、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する次世代の人材育成を図る。	民間提案プログラムを活用して、中・高生6名をアメリカ合衆国へ派遣する派遣費を支援する。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 派遣費の支援を今後も継続的に実施し、生徒等の国際性豊かな人材育成に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 派遣プログラムへの満足度について、アンケートを実施し、生徒等の国際性豊かな感性が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	④	恩納村アジア圏内(文化・交流)体験プログラム派遣費支援事業	R5 ~ R13	アジア圏内に小・中学生を派遣し、現地小・中学校の授業や学校行事への参加、現地家族との交流の中で外国語や文化に触れることで、国際性豊かな視野を身につけ、観光立県を目指す沖縄県全体の振興に資する人材育成を図る。	アジア圏内へ小中学生10名、引率者5名、計15名の派遣費補助の支援	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 派遣費の支援を今後も継続的に実施し、児童生徒の国際性豊かな人材育成に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 派遣プログラムへの満足度について、アンケートを実施し、児童生徒の国際性豊かな感性が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6	⑤	学力向上支援員配置事業	R5 ~ R13	授業における学習指導を補助し、学習内容の定着と思考力、判断力、表現力等の育成のために、個に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに不登校状態の児童生徒や教室に入ることが難しい支援が必要な児童生徒に対し、一人ひとりの特性や興味関心に応じて、個別最適で効率的な知識やスキルの習得、自立に向けた支援を行う。 また、デジタル学習ドリルを活用し、基礎基本の定着に向けた補習指導、個別学習など放課後学習支援を行う。	・学力向上支援員充足率 100% ・学力向上支援員配置数 小学校4校:4人 中学校1校:1人	学力向上支援員の対応で学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 学力向上支援員を今後も継続的に配置し、学習支援を必要とする児童生徒の基礎・基本の確実な定着を図り、社会の変化に柔軟に対応できる資質や能力を身につけ、生きる力を育み、必要な思考力・判断力・表現力を養うことのできる人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 学力向上支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、児童生徒の大多数が学習上の困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、パワーテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る	【R5成果目標の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して設定した。
1	②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸術文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を10回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等で文化事業を行い、文化芸術を通して交流できる芸術普及活動を4回以上行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の記録動画の公開と新規映像配信(文化講座、ライブ収録配信など)を3項目行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,916人以上) ・お出かけ公演対象者数(3,037人以上)	【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1	③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動やイベントの開催、観光人材の意図を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・観光人材の育成 ・村内イベントの開催(3回) ・外部専門家(アドバイザー)の招請	宜野座村の観光入客数(20万人)	【今後のスケジュール】 インバウンド対応、観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・会場設営 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(14,500人/2日間)	【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規リピーター獲得に向けて観光誘客を図る。	【R5成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	⑥	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R13	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	美化作業員配置 3名	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も観光地として魅力的な景観形成を図るため、事業継続に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 松田小学校 2名 宜野座小学校 4名 漢那小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校 5年・6年(算数)	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技術の確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R5成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 宜野座中学校 5名 (国語・社会1名、数学2名、理科1名、英語1名、)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 中学校2年(国語・数学・英語)	【今後のスケジュール】 学習の基礎的・基本的な知識・技術お確実な定着を図り、学級全体のレベルアップを目指す。	【R5成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、公立幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育担当職員配置数 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 8名 漢那幼稚園 2名	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も幼稚園と連携した預かり保育に取り組み、保護者が安心・安全に子どもを預けることができるよう、育児における負担軽減を図る。	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	④	宜野座村ジュニア海外語学研修派遣事業	H28 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休み期間中に中・高校生6名を英語圏へ派遣する。	中・高校生6名を英語圏へ派遣	帰国後、保護者へアンケートを実施し、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を中心に、本事業のあり方を検証する。また、研修生OBへ追跡調査としてネットアンケートを実施し、本事業の在り方の検証を行う。	【今後のスケジュール】 今後も中高生を派遣し、広い視野をもった人材を育成していく。	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野がより広まったと考えられる数値として設定した。また、研修生OBが事業に参加した経験が、現在どのように活かされているかも併せて、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	①	有機の里宜野座村確立事業	R4 ～ R13	<p>①有機の里推進協議会を開催し、エコ農産物の生産販売拡大に向けた取り組みについて協議を行う。</p> <p>②農業栽培指導技術員により、農家に対し栽培指導(土づくり、害虫防除方法、台風対策等)を実施し安定した農産物の生産につなげる。</p> <p>農業栽培技術員や農家と連携して有望な栽培品目について生産体制を構築する。さらに、特産品加工直場センターと連携して有望作物の情報やエコファーマーにつながる可能性の高い農家の情報、新たな販路の情報収集を強化しエコ農産物の生産拡大につなげていく。</p>	<p>①栽培指導回数(480回)</p> <p>②生産販売目標(116t)</p>	<p>①エコファーマー認定数 3名</p> <p>②エコ農産物販売目標 116t</p>	<p>エコ農産物の生産拡大を図るため、令和13年度まで継続して栽培指導及び販路拡大を行っていく。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
3	②	さとうきび営農指導委託事業	R4 ～ R13	<p>本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。</p>	<p>さとうきびの営農指導・巡回指導を実施</p>	<p>令和5年さとうきび生産量 5,959t</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も営農指導によって、農業者一人一人のほ場管理の向上や、担い手の確保を行いながら、村内のさとうきび生産量の向上を図る。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】沖縄県令和5年さとうきび生産振興計画値(案)を元に設定した。</p>
4	①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	<p>観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。</p>	<p>作業員配置1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置 	<p>・観光地における不法投棄件数:0件/年</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
4	②	危険生物駆除捕獲事業	H27～R	<p>観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光各所のパトロール:12回/月 ・ハブ捕獲器設置:村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除 	<p>観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。</p>
5	①	宜野座村企業誘致促進事業	H28 ～ R13	<p>定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するための企業誘致活動、広報普及活動等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致ブース出展・招聘セミナーの実施 	<p>①企業誘致ブース来場者250名</p> <p>②招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社</p>	<p>【今後のスケジュール】今後も村への新規進出企業誘致のため、事業推進に必要な活動を委託する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】過去の実績に加えて、コロナウイルス感染症の社会情勢を勘案して設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	世界のギノザンチュ子弟研修生受入事業	H29 ～ R13	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、宜野座村出身の海外移住者子弟を受け入れ、研修及び村民との交流を行う。	宜野座村出身者海外移住者子弟4名を招聘し、3カ月間の研修を実施する。	受入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証するとともに村人会へのアンケート調査も追加して本事業の成果をはかる。	【今後のスケジュール】 今後も子弟研修生4名の受入を行い、海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図る。また、事業実施中には、子弟研修生が村立小学校等で出前授業を行い、村民の国際理解教育に繋げる。	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史により興味を持ったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。また村人会へアンケート調査をすることにより、受入研修生の帰国後の活動状況を把握する。
7	①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グッジョブ連携協議会の開催(2回) ・周知広報等の取組み(SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施)	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
8	①	宜野座村新しい地域公共交通導入検討事業	R5 ～ R8	本村は住宅が広く分布し、公共交通空白地域があるため、新しい地域公共交通を導入し実証実験を行い、交通空白地域に交通弱者の移動利便性の向上を目指す	実証実験実施による調査等	分析、評価及び課題を整理し、定量的な目標値を設定する	【令和6年度以降方針】 実証実験で得られた結果を基に本村特有の課題を拾い出し、定量的な目標値を基に、自家用有償旅客運送導入の検討、適正な運行方法の検証を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 実証運行を初めて実施することで、本村特有の課題が現れることも考えられるため、初年度は定性的な目標値を成果目標とし、2年目以降に定量的な成果目標値を設定することとした。
9	①	防犯灯脱炭素化推進事業	R5 ～ R10	本村は、村民憲章で「自然環境の保護育成」が謳われ、第5次宜野座村総合計画において、地球温暖化対策として公共施設等の整備・更新において、環境負荷を低減したLED化等の機器類を使用し、脱炭素化を推進することを掲げている。 村内全域に設置されている既設防犯灯は約1,160基あるが、年間消費電力量が高く、CO2を多く排出する照明器具が用いられているため、環境負荷の低い器具に切り替え、脱炭素化を推進する。	宜野座村管理の既設防犯灯約45基をLED器具に切り替える	LED化工事の完了	宜野座村内の防犯灯の脱炭素化を推進する。 R5年度 宜野座村内 約45基 R6年度 松田区 約250基 R7年度 城原区・福山区 約130基 R8年度 惣慶区 約230基 R9年度 漢那区 約190基 R10年度 宜野座区 約230基	R4年度に行った「宜野座村防犯灯省電力化実施設計」を基に算出した。 R5年度に宜野座村が管理する防犯灯の工事が完了する見込みのため、効果が発言するのはR6年度以降。LED化した場合の成果目標は (村管理防犯灯LED化前) 年間CO2排出量 24,796t-CO2 (村管理内防犯灯LED化後) 年間CO2排出量 9,917t-CO2

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	プロ野球チームやプロサッカーチームの春季練習場として使用されている金武町陸上競技場、金武町フットボールセンター及び金武町ベースボールスタジアムの芝管理やグラウンド整備により競技環境整備を強化することで、今後も継続してスポーツキャンプの受入れを図る。また、受入れ時の感染対策の強化や衛生環境を向上することで、受入れ体制の強化を図り、当該箇所への誘客を円滑にすることを目的とする。	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置) 競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備) プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備(清掃、感染対策) スポーツ教室の開催	R5年度プロチーム4チームの受入	受け入れたプロチームの継続受入を図り、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	
1	②	金武町観光振興等推進事業	R1 ～ R8	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指す。	本町の観光振興に向けて、観光関連団体と他産業との連携を強化し、戦略的な観光振興を推進する。	①媒体等による情報発信 企画・実施数:9件 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 ①②過去の実績を勘案して設定した。
1	③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3～ R6	ベースボールスタジアムグラウンド内外と周辺環境の一体的な整備を行うことで、プロキャンプの継続的な誘致、利用者及び観戦者の増加に繋げ、地域の活性化や観光振興に寄与することを目的とする。	○内野スタンドベンチ設置工事の完了	○内野スタンドベンチ設置工事の完了	誘致団体目標数 R8年度:6団体 引き続き、プロキャンプの継続した誘致、利用者及び観戦者の増かに取り組む。	誘致団体の指数については、過去の実績を参考に設定した。
2	①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R8	本町の雇用状況の改善を図るため、求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、及び求職者や町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座開催、町内の小・中学生へキャリア教育等を実施するため、金武町就活支援センターに補助金を交付する。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 ①各種講座10回 ②キャリア教育8回(小学校3回、中学校5回) ③合同企業説明会1回	①就業率10%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き職業相談や講座・合同企業説明会を実施し、雇用拡大を図るとともに、町内事業所の従業員のスキルアップに努める。	【R5成果目標設定の考え方】 ・就業率・資格取得率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	②	観光地周辺環境美化事業	R5～R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化の実施	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	小中学校学習等支援事業	H24～R13	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数:7人(内訳) ○日本人英語指導員:小学校1名 ○外国人英語指導助手:小学校3名、中学校2名 ○英語コーディネーター:教育委員会1名	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上 ②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の学力(英語)向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	特別支援教育支援事業	H24～R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別教育支援員配置数 19名 (内訳) ○幼稚園1人 ○小学校14名 ○中学校4名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員を配置し、個々に応じたサポートを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	金武町ハワイ短期留学派遣事業	R2～R13	中学生・高校生12人及び引率職員(2人)をハワイへ派遣する。	○町内在住の中学生・高校生(12人)及び引率職員(2人)をハワイへ派遣 ○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発刊(帰国後)	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き海外において異文化等を体験できる機会を確保し、人材の育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な広い視野が持てたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
4	①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業	H29～R13	海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、海外移住者子弟等研修生を受け入れる。	・受入人数:3人 ・研修期間:8月～12月の間の約4ヶ月間 ・研修報告(閉講式):1回	研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き伝統芸能等の文化教養の継承及び人的な交流を通して、移住地と本町の交流の懸け橋となる人材を育成する。	【R5成果目標設定の考え方】 各国金武町人会の会長及び役員等へアンケートを実施し、当該事業のあり方を検証できるものとしている。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	②	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R13	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当山久三顕彰式の実施 ○ 当山久三等の移民関連資料を活用した学習会の実施 ○ 公演会等のイベント実施 ○ 移民関連展示会の実施 	① 移民の日関連事業参加者数: 延約500人以上 ② 参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)	【今後のスケジュール】 移民発祥の地として、当山久三の偉業・功績を顕彰し、移民の歴史を学ぶ(触れる)機会を提供する事により、国際感覚豊かな人材育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定。
5	①	改製原戸籍の附票電子化事業	R5	本町は、沖縄戦後より現在に至るまで町面積の約55%を米軍基地が占めており、それによる土地使用料を得ている。 その使用料の一部は、各区財産管理会の会員に支給されており、会員資格の確認には、改製原戸籍の附票の確認が必要となっている。過去の附票は、紙媒体による保存のため劣化が激しく、これ以上の長期保存が難しいため、今後も住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供するために電子化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除附票の電子化 2,100枚 ・ 改製原附票の電子化 5,500枚 ・ 平成改製原附票の電子化 5,300枚 	過去の改製原戸籍の附票を100%電子化し、今後も永続的に住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供する	【今後のスケジュール】 電子化することにより現戸籍システムの中に入るため、今後はシステムが円滑に機能するように適切に維持管理し、住民からの請求に対して滞りなくサービスを提供していく。	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている目撃場所や観光地の清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 ・捕獲器20基設置 (週1回の巡回)	・ハブ咬傷による健康被害0件	【今後のスケジュール】 危険生物であるハブを駆除することにより、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を動案して設定した。
2	①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
3	①	村花・世界のゆり植栽推進事業	R4 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	令和4年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	【R5成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R5目標 33,000人)	※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 ・H29: 30,000人 ・H30: 26,000人 ・H31: 36,000人 ・R2 : 中止 ・R3 : 中止 ・R4 : 4,500人(コロナにより規模縮小開催)
3	②	観光地クリーン事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受入体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースィ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村	魅力的な観光地として景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加に繋げるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	③	観光誘客整備事業	R4 ～ R13	村の観光振興を図るため、観光地整備や、県内外のイベントで観光誘客を行う。	1.誘客推進に係る取組 ・伊江島ゆり祭り誘客向上業務 ・観光誘客推進事業 ・観光インフォメーション委託業務	①令和5年度伊江村入域観光客数:96,000人 ②ゆり祭り等の来場客に対して、アンケート調査を実施、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	②誘客推進に係る取組 ・来島者へのアンケート調査を実施し効果を検証する。 ・県内外において、継続したPR活動を実施し、伊江村への観光誘客に繋げていくための取り組みを実施する。	①※前年度を上回ることを目標として数値を設定。 【実績】 R3実績: 40,816人 R2実績: 39,464人 R1実績:121,820人 ②ゆり祭り来場客のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
4	①	確かな学力を育む学習支援員配置	H25 ～ R13	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。	・学習支援員の配置 小学校(2校8人配置) 中学校(1校4人配置)	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取組を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	各種大会派遣費の助成:1,550人	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	(今後の展開) 派遣費助成人数(累計) R13年度末時点:約15,500人	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
5	①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。	・小学生50名 中学生119名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話3回 ・リーダー層育成1回	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 大多数の児童生徒(80%以上)に就業意識の向上が図られるよう展開していく。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。
6	①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R5	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施	整備工事の実施完了	【R6成果目標】 ・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	① ICT支援員配置事業	R3 ～ R5	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	村内3学校にICT支援員1名を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	【今後のスケジュール】 ICT支援員を効果的に活用するため、次年度以降も継続してICT支援員を配置する。	【R5成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、対象者のうち概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	
8	① ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R5	ひとり親世帯等の育児の負担軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き利用者への支援を行うことで、保護者の負担軽減を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
9	① 離島定住環境基盤整備事業	R4 ～ R5	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。	・荷さばき施設新築工事の実施	・荷さばき施設新築工事の完了	【今後のスケジュール】 R5工事実施 R6施設供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	① 優良繁殖雌牛預託増頭支援事業	R5 ～ R7	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。	優良繁殖雌牛(子牛・初妊牛)の計画導入補助:30頭(年間)	活動目標指数(年間:30頭導入)の達成(優良繁殖雌牛を30頭導入し、繁殖雌牛飼養頭数拡大及び優良遺伝素牛の増加が期待され、子牛市場上場頭数の拡大及び伊江村畜産総合施設の利用促進を図る。)	R5年度～R7年度にかけて300頭(100頭×3年)の優良繁殖牛(子牛・初妊牛)を導入予定 (期待される事業効果) ・家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加 ・優良血統交配牛の地場増産 ・村内和牛ブランドの確立(伊江島牛) ・繁殖雌牛群の飼養頭数増加 ・「伊江村畜産総合施設」の利用促進	「伊江村畜産総合施設」とは、令和5年4月1日から開設予定の生産者から母牛及び子牛を受託し、預託管理を実施することによって、生産者が施設預託することにより、自らの牛舎施設に空きスペースが生じ、新たな繁殖雌牛を導入又は保留し、自牛舎の面積はそのままに、総合施設を利用しながら多くの繁殖雌牛を飼養することが可能となる。 繁殖雌牛預託頭数:336頭規模 子牛預託頭数:324頭規模	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10	② ET受精卵造成機器購入事業	R5	本村における体内受精卵移植事業において、現在優良受精卵造成時に様々な機器を用いて、受精卵の採卵からストロー封詰めまでを実施している。しかし、受精卵凍結作業に係る従来製品の「凍結機」では一度に凍結できるストロー本数や凍結作業段階において、ストロー破損及び移植受胎率の停滞が課題となっており、本事業において従来より性能が向上した新たな凍結機を購入し、凍結受精卵の受胎率向上及び受精卵移植事業の普及促進を図る	受精卵造成凍結機購入：1台	活動目標指数(凍結機購入：1台)の達成 (凍結機導入後、本村における受精卵造成移植事業において、年間の採卵頭数目標を50頭並びに、採取した受胎可能凍結卵数を平均8個と掲げ、年間400個以上の受精卵造成を達成する。)	R6年度年間採卵頭数：50頭 R6年度年間凍結卵数：400個 (期待される事業効果) ・家畜市場開設時の子牛上場頭数の増加 ・優良血統交配牛(繁殖雌牛)の地場増産 ・「伊江村畜産総合施設」の利用促進	前段補足欄中の「伊江村畜産総合施設」敷地内に、受精卵生産供給施設を設置しており、本施設において受精卵造成を図る。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器200器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育(繁殖)管理 ・危険周知看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 村内におけるハブによる観光客や村民咬傷被害数を設定した。
1	②	ヨミタンJOHO県外発信事業	R4 ～ R13	本村の認知度向上と観光誘客を図るため、県外のラジオ番組にて観光情報の発信及びイベント等にて読谷村PR活動を行う。	・県外ラジオ番組での情報発信(2回) ・県外イベントでのPR活動(2回)	・県外での情報発信聴取人数120万人以上 ・県外PR活動イベント来場者数4,000人以上	【今後のスケジュール】 県外ラジオ番組での旅マエ情報発信に取り組む。 首都圏などのイベントへ参加しPR活動を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 令和4年度の実績を勘案して設定した。
1	③	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ～ R6	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。	・各種スポーツキャンプ等誘致活動(3回) ・キーパーソン招へい(2団体以上) ・実証キャンプ支援(2団体以上) ・キャンプチーム本拠地等での観光誘客活動(3回) ・キャンプ期間中の集客イベントの実施(1回以上) ・受入体制強化・協議会運営 ・スポーツコンベンション経済波及効果調査の実施	・スポーツコンベンション受入件数・・・18件以上 ・県外誘客イベントPR観客数・・・48,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数・・・20,000人以上 ・スポーツコンベンション経済波及効果調査の完了	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ等について、新規及び継続的なチームについて誘致を行い、地域への波及効果の最大化を図るために受入体制の強化も行う。また、県外においてファン層等に向けた観光・物産のPRイベントや一年を通じた情報発信を行うことで、村内への誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績の勘案及び新型コロナウイルス感染症の影響を加味して設定した。
2	①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。	・村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 ・村立5幼稚園:各1人 ・村立5小学校:各2人 ・村立2中学校:各2人 ※必要に応じて支援員の配置に変更あり ・教育委員会に特別支援教育専門員を1名配置	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。
2	②	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、村内在住の中学生を英語圏へ派遣する。	村内在住の中学生を英語圏へ派遣	【保護者を対象としたアンケート】帰国後に国際的な視野が広まったと回答した割合80%以上	【今後のスケジュール】 継続的に派遣を実施し、国際的な視野を持つ人材の育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の生徒の国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	ICT機能強化事業(小学校デジタル教科書)	H27 ~ R5	ICT教材を活用した「わかる授業」を展開する事により、児童生徒の興味・関心を高め学習意欲及び学力の向上を図り、「確かな学力」を育成するため、村立小学校にデジタル教科書を整備する。	デジタル教科書の整備(村立5小学校)	デジタル教科書の整備の完了(村立5小学校)	【R6成果目標】 デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合80%以上	【R6成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証する。対象者のうち大多数において授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。
3	①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ R13	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベース及び辞典などを作成・公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ①HPへ単語・民話・音声の追加・追記と公開 ②辞典作成のため語彙データベースの内容推敲(語彙数1万4千件以上) ③講座実施回数20回 	<ul style="list-style-type: none"> ①HPアクセス数:2万件 ②辞典作成のための必要情報確定(品詞、表記方法など) ③総受講者人数550人及び講座満足度80%以上 	【今後のスケジュール】 これまで本事業内で取り組んできた集大成の一つとして辞典作成を位置づけ、沖縄語の保存継承は勿論のこと、研究にも寄与できる成果物の作成に取り組む。令和7年度(仮称)「読谷村のしまくとぅば辞典」発刊予定。しまくとぅば講座は質量ともに向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 ①今年度総アクセス数の推定値より設定した。 ②数量設定が困難であるので、語彙の掲載について五十音で、「あ〜ん」まで推敲し辞典作成に必要な枠組み策定までと設定した。 ③講座実施回数、受講者数は令和4年度実績の1.5倍に設定した。
3	②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ~ R5	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備するため、整備工事を行う。	整備工事の実施	整備工事の完了	【R6成果目標】 来訪者及び来館者数 座喜味城跡:205,500人 ユンタンザミュージアム:40,500人 【今後のスケジュール】 R5年度:整備工事(土木・建築) R6年度:供用開始	【R6成果目標設定の考え方】 座喜味城跡の来訪者数は、コロナ禍以前の令和元年度世界遺産座喜味城跡の訪者数を基準に目標を設定し、ミュージアム来館者数は、建設当初の目標値を踏襲して設定した。
3	③	歴史資料の整理活用事業	R4 ~ R13	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存する。また、貴重資料から順次デジタル化、データベース化をすすめ公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ①元読谷村長寄贈資料の整理及びデジタル化、データベース化 ②終戦直後村復興に関わる貴重資料のHP公開(1952年講和条約時まで) ③収集資料の整理、ID化、目録化 ④1950年代からの村広報誌データベース(検索システム)HP公開 	<ul style="list-style-type: none"> ①デジタル化資料数500件(簿冊数) ②公開資料点数100点 ③村史編集室収蔵図書・資料約1万点 ④1950~2000年代まで広報誌枚数約1万7千点(ページ)の公開 	【今後のスケジュール】 所蔵資料の整理を進める過程で貴重資料あるいは資料の閲覧需要が見込まれると位置づけられた資料のデジタル化や公開を順次行う。	【R5成果目標設定の考え方】 ①令和4年11月現在で概算できたデジタル化可能資料件数から設定した。 ②令和4年11月現在で概算できた公開可能資料点数から設定した。 ③文化振興課村史編集室に収蔵される図書・資料数点数2万点余の半数を設定した。 ④令和4年11月現在で概算できた公開可能資料点数から設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	④	フィールドミュージアム整備活用事業	R5 ~ R13	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡と周辺環境を保全し、世界遺産座喜味城跡へと続く沖縄・読谷村の歴史と魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用することで、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。	用地購入	用地購入の完了	<p>【R9成果目標】 「大湾アガリヌウガン遺跡を訪れた人数:10,000人」</p> <p>【今後のスケジュール】 【大湾アガリヌウガン遺跡】 令和5年度:用地購入 令和6年度:基本設計 令和7年度:実施設計 令和8年度:整備工事 令和9年度:供用開始 【村全域】 令和9~13年度:フィールドミュージアム整備・活用</p>	【R9成果目標設定の考え方】 「関連施設への周遊起点として、新たな文化観光施設としての活用を図ること」を検証するため設定した。
4	①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ R8	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県外プロモーション出展・調整及びテストマーケティング(2回) ・観光客向け県内プロモーション(4回) ・周知用媒体ツール(琉球ガラス・ヤチムン冊子、パンフレット)の作成 ・オンラインイベントの実施(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ①見本市での商談件数 10件 ②オンラインイベントの売上 4,403,127円 	<p>継続的に県外プロモーションを実施しながら、コロナ禍収束に伴う旅行需要の拡大に伴う現地消費を目的とした観光誘客も検討する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 ①は東京インターナショナルギフトショー春2022の来場者アンケートを参考に概ね同数で設定した。 ②は過去3年の実績を勘案して設定した。</p>
5	①	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計策定事業	R3 ~ R5	瀬名波通信施設跡地の土地利用を促進するため、非農用地部分の実施設計を行う。	非農用地部分の実施設計委託業務の実施	令和5年度実施設計の完了	<p>【R5成果目標】 県営土地改良事業及び関係機関との整備や換地計画に向けた調整</p> <p>【今後のスケジュール】 R5~ 土地改良事業(農用地)及び関係機関との整備に向けた調整。</p>	【R5成果目標設定の考え方】 本事業において実施計画を行った結果、整備するための検討及び県営土地改良事業での換地計画に向けた調整が可能となる。
5	②	第3次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定事業	R5	「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画」を踏まえ、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。	基本計画の策定	基本計画策定の完了	<p>【R6成果目標】 策定する計画の中で、主要施設の入込客数等返還軍用跡地活用に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした跡地利用促進施策を実施する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R6~ 各施設の整備</p>	【R6成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた跡地利用促進施策を実施していくことを成果目標として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6	①	かんしょ生産振興事業	R5 ～ R7	特産品である紅いもの安定した生産体制を確保するため、かんしょ生産に係る機械を整備する。	いも類収穫機の整備 2台	いも類収穫機の整備完了	<p>【R8成果目標】 R5年度比 ①生産農家数 5%増 ②作付面積 1ha増</p> <p>【今後のスケジュール】 R5年度:いも類収穫機の整備 R6年度:いも類収穫機の整備 R7年度:農業用機械及び運搬車の整備 (運用スケジュール) 導入次第順次運用を開始する。</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 整備した農業用機械を活用したことによる生産体制の確保に対する客観的な評価を図るため、生産農家数及び作付面積を指標に設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光誘客を図るため、観光イベント等においてプロモーション活動を行う。また、観光客の利便性の確保のため、町の観光主要施設等への誘導案内板等を整備する。	・観光イベントへの出展(6回) ・誘客イベントの実施(2回) ・実施設計の完了	町入域観光客数 540千人 誘客イベント来場者数 2.8千人	【今後のスケジュール】 今後も魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標達成に繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	②	観光振興推進事業	R5 ～ R6	本町の観光振興を推進するため、嘉手納町観光振興基本計画策定に向けた基礎調査を実施する。	基礎調査の実施	基礎調査の完了	【R7成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R6 観光振興基本計画策定	【R7成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。
1	③	スポーツツーリズム推進計画策定事業	R5	プロスポーツチームの合宿誘致やスポーツ大会の誘致などスポーツを通じた新たなまちづくりの戦略を構築する。	スポーツツーリズム推進計画策定	スポーツツーリズム推進計画策定	【R5成果目標】 策定するスポーツツーリズム推進計画において、誘致する競技団体やハード整備など課題を整理する。また受入団体の構築を図る。 【今後のスケジュール】 R6 受入競技団体の誘致活動 ハード整備基本計画の策定 R7 受入競技団体の誘致活動 R8～R14 受入競技団体の誘致活動 ハード整備工事	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズム推進策定を実施していくことを成果目標として設定した。
2	①	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	学習支援員の配置数 小学校:6人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差、及び正答率30%未満の児童生徒減少 小学校:県平均並み、それ以上 正答率30%未満の児童の割合県平均より減少 中学校:県平均-3ポイント以内、正答率30%未満の生徒の割合県平均より減少	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、「県の正答数に満たない児童生徒」へ重点的に支援するとともに、対象者に合わせた補習の内容の工夫や対象者を明確にして関わる職員で共有することで、支援の効果を高める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	②	英語力強化事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数 小学校:2人 中学校:1人	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、英語に関する意識調査により本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 〈小学校〉 学級担任が授業のなかで英会話指導員(ALT)をモデルとして会話等を例示したり、児童のアウトプットを中心とした授業への転換を強化する。 〈中学校〉 授業の中で英会話指導員(ALT)と教科担当教師との会話等を適切に例示したり、生徒のアウトプットの機会を多くする実用的な英語学習の充実の強化を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	・学校での居場所づくりを中心として、対象生徒への支援の充実を図る。 ・問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築する。	生徒指導支援員 配置数:2人 スクールソーシャルワーカー(SSW) 配置数:1人	不登校出現率 2.7%以下	【今後のスケジュール】 不登校の要因が「遊び非行型」から「心因的な要因」へと移行してきていることをうけ、要因の「心理的な要因」をさらに細かく分析し、要因に合わせた対応をおこなう。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	秋田県交流学習体験事業	H26 ～ R7	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、授業改善等についての研修を行う。	<秋田県への派遣> 児童生徒:20人、教員:9人 <秋田県からの招聘> 教員:3人	①(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答 ②(授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組んでると回答	【今後のスケジュール】 コロナ禍において前年度においては、事業を実施できなかった。感染症対策を万全に行い実施するとともに、招聘教員による公開授業や事業の報告会を行い、おおだて型探究授業のよさを理解させ、各学校の授業改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ①派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ②大館では、「子ども達の学び合いを核としたおおだて型探究授業」が展開されている。本町では、このおおだて型探究授業をモデルとした「嘉手納の探究授業」を推進しておその授業改善への取組について、アンケートを実施し、本事業の効果を検証することとした。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	⑤	特別支援教育強化事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 小学校:14人 中学校:6人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	⑥	ICT機器活用推進事業	R5	校内ネットワーク接続や指導者用端末及び学習者用端末と連携可能な電子黒板を整備することで、情報活用能力の向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校に電子黒板等を整備する。	ICT機器の整備 ・電子黒板、電子黒板用PCの整備	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業実施により、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。
2	⑦	プログラミング力育成事業	R5	情報通信関連産業と連携し、プログラミング出前講座を放課後時間を実施し、プログラミングの仕組みや思考を体験することによりプログラミング力を養い、プログラミングへの興味関心を高めることで、論理的思考力の習得やICTに親しむ機会の創出。	町立学校にて、情報通信関連産業によるプログラミングの出前講座を80回以上の開催。	参加者へ体験後にアンケートを実施し、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)を成果目標とする。	プログラム思考の習得度、プログラミングへの興味関心が高まったか(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証し、講座の難易度などを習熟度をとおして充実を図る。	今後の事業の方針やさらなる充実のために、ニーズ調査を実施する。
3	①	雇用促進事業	H25 ～ R13	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 89日	①相談者のうち就職が決まった人数:8人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:2.6%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R13	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	排出された草木ごみの再資源化率100%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業によってごみ処理施設及び最終処分場がどの程度長寿命化されたかを計測することは困難であるが、本町から排出される草木が再資源化されることで確実に施設の長寿命化に資することから、排出された草木ごみ全てを再資源化(チップ化)することを指標として設定した。
5	①	避難施設防災機能強化整備事業	R5 ～ R13	沖縄県は島嶼県であり、自然災害による被害も多いことから、町民や観光客等の災害時の安全確保を図るため、防災非常食等の計画的な導入を図る。	町内の避難所等における備蓄品等の整備を行う。 【備蓄食料等の整備内容】 ・備蓄食料 4,050食 ・粉ミルク 29缶 ・保存水(2L) 225本 ・保存水(500ml) 8,100本	年1回以上防災訓練等を実施し、アンケートにより、備蓄の重要性を感じたとの回答割合:「80%以上」	【今後のスケジュール】 ・町内の避難所等へ町内避難者及び観光客避難者等の非常食料等を整備 ・備蓄食料等の整備を年次的(R5～R12)に行い、大規模災害等に備える。	備蓄食料等整備計画に基づき設定。 【年度別購入予定数】 R5 4,050食 R6 4,050食 R7 4,050食 R8 3,555食 R9 1,350食 R10 1,350食 R11 1,350食 R12 1,350食 R13 1,350食 合計 22,455食
6	①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R6	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	・嘉手納小中学校グラウンド照明設備のLED化	R5年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果を設計後に、算出し、設定する。	【今後のスケジュール】 ・今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,538,159kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進する。	【R5成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO2削減量を推計して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。	・公式特産品ちやたんブランドの認知向上 ・現地旅行系WEBメディアへの働きかけ ・北谷町滞在モデルコースの企画実施及び販売 ・WEB、SNS等を活用したプロモーション ・インフルエンサーによる情報発信	・プロモーションの実施 ・報告書の作成	今後のスケジュール ・今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘客を図る。	令和元年末から全世界へと拡大した、新型コロナウイルス感染症の影響により、各国・地域では入国制限を設けている状況のため、実績等の情報収集が現段階では困難。本事業においての調査等の結果を踏まえ今後の目標値を決定する。
1	②	北谷町観光統計調査事業	R5 ～ R13	携帯GPSデータ等を活用し、本町を訪れる観光客の動向等を調査・分析する。	・観光統計調査の実施 ・報告書のオープンデータ化	・観光統計調査による実態の把握 ・町内観光関連事業者へ報告書を提供	観光統計調査の結果を踏まえ、町内主要観光地の入込客数等を観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の成果目標は、調査結果を活用した実績について成果目標を設定すべきであるが、検証が困難であるため、定性的な指標を設定した。
1	③	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R6	これまで課題となっていたビーチの環境改善や、拡充整備によって新たなアクティビティを創出することにより観光誘客を図る。	R5 改良工事(園路工、照明工、給水工、休養施設工)	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、照明工、給水工、休養施設工の竣工。	【R7年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数 33万人/年 【今後のスケジュール】 令和6年度サンセットビーチ改良事業。造園工	【R7成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
2	①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R5	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) 中学校2名(各校1名)	小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差2.1ポイント以上	引き続き英語指導助手を配置する。	【R5成果目標設定の考え方】 小学校:対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校:過去実績を勘案して設定した。
2	②	日本語指導学習支援員配置事業	H25 ～ R5	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置:2名	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 日本語指導学習支援員を継続して配置し、日本語指導が必要な児童生徒の早期の困り感解消に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R5	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	小学校4名(各校1名) 中学校2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 1.3ポイント以上 中学校 △0.9ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ～ R13	海外での生活や体験を通して国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、本町の中高生をハワイへ短期留学させる。	・中・高校生ハワイ短期留学派遣:15人 ・派遣生の事前研修 ・派遣後の事後報告会及び報告書の作成	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に中・高校生のハワイ短期留学派遣を実施し、国際的な広い視野を持つ人材育成を行っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象児童のうち、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
3	①	跡地利用推進事業	H24 ～ R9	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	・キャンプ桑江南側地区:地権者への継続的な情報提供 ・桑江第一タンクファーム地区:前提条件の整理、今後想定される課題の抽出 ・キャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー)地区:都市機能・跡地利用基本構想(全体方針)検討、先行取得に係る条件整理及び検討、地権者合意形成活動	(桑江第一タンクファーム地区) ・調査報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	【R10成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R10成果目標】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R9成果目標】 (インダストリアル・コリドー) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R7	本町に残された自然の保全・活用を図るため、本町の沿岸、河川及び緑地に生息する生物の全体把握を行う。また、それら結果を活用し展示公開等を行い自然保全の意識醸成を図る。	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本およびレプリカを製作する。	タイヘイヨウアカボウモドキの骨格標本およびレプリカの製作を完了。	<p>【R13成果目標】 町立博物館、大型宿泊施設等におけるパネル展示等を行い併せてアンケートを実施し、「保全意識が高まった」80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 R6、7年度： 陸域生物調査 町民参加型調査(夏季1回) R8～13年度 調査からわかった内容を活用した企画展示・観察会など</p> <p>R5年度末に完成予定の文化発信拠点において以下3点を念頭に成果を展示公開し利活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 <p>R13年度：第2回大規模モニタリング調査</p>	【R13成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
5	①	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ～ R5	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 今年度は建設工事及び外構工事を実施する。	建築工事及び外構工事の実施	建築工事及び外構工事の完了	<p>【R6成果目標】 年間利用客数25,000人</p> <p>【今後のスケジュール】 R4～R5：整備工事 R5年度末：供用開始</p>	【R6成果目標設定の考え方】 博物館総合調査の統計値(同規模施設の来館者数)を参考に設定した。
6	①	北谷城跡活用促進事業	R5 ～ R7	北谷城跡の公開活用を促進するため、課題の整理を行う。	・公開活用に係る課題の整理	・課題整理報告書の作成	<p>【R7成果目標】 アンケート調査で北谷城跡を「知っている」率80%以上。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・用地境界測量や補償物件調査、土地鑑定評価を行う。</p>	【R7成果目標設定の考え方】 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度末)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	あやかりの社交体験事業	H24 ～ R13	沖縄の自然を活かした野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験交流事業：14事業	体験交流人数：432人以上	【今後の展開方針】 継続的に魅力ある講座を企画し、参加者の確保に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 ・新型コロナウイルスの影響があった場合の施設利用人数制限した際の最大受入可能人数の総数を目標として設定した。
1	②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城まつり」を開催する。	・青年エイサーまつり：R5年8月～10月開催 ・北中城まつり：R5年9月～11月開催	・青年エイサーまつり来場者数：6,600人 ・北中城まつり来場者数：10,100人/日	【今後の展開方針】 まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継続して実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	ウェブやSNS等のICTを活用したプロモーションや、データ収集分析などDXの推進を図る。 また、観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施するとともに、観光ガイドの育成及びWebマツチングをおこない、さらなる誘客を図る。	・観光イベントでのプロモーション ・インターネット上での観光案内の強化 ・ビックデータ収集・分析による観光動向調査 ・観光ガイドの育成、サービスの提供	・PRブース来場者数：2,803人 観光案内ページの閲覧数：17,056回/月 ・ボランティアガイド育成：20名	【今後の展開方針】 コロナ禍における観光業への影響を踏まえ、SNSやウェブサイトでのプロモーションの開拓を図るとともに、観光基盤の強化・観光動向データ分析を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R6	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	・運行日数：350日以上 ・運行ルート：2ルート	年間利用者数：11,700人	【今後の展開方針】 村に最適な交通モードの検討による持続可能な地域公共交通の在り方を検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1	⑤	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベントの開催(2回以上) ・ウェルネスワークショップの開催(5回) ・国際ウェルネスツーリズムEXPOへの出展	・ウェルネスイベントへの総参加者数：200人 ・ウェルネスワークショップへの総参加者数：100人 ・国際ウェルネスツーリズムEXPOでの商談実績：5件	【今後の展開方針】 国際ウェルネスツーリズムEXPOでの出展で、事業者側のニーズを収集し、産官学連携ウェルネス会議でツアープログラムを磨き上げ、北中城村への誘客が図れる魅力的なウェルネスツアーを展開していく。	【R5成果目標設定の考え方】 前年の実績を勘案し設定した。
1	⑥	北中城村観光振興基本計画策定事業	R5	・北中城村の観光資源の現状調査、掘り起こしおよび課題と改善に向けた調査の実施 ・調査結果をもとに北中城村観光振興基本計画を見直す。	・北中城村観光振興基本計画の見直し	・北中城村観光振興基本計画見直し：完了	北中城村観光振興基本計画で設定したKPIを達成し得る観光施策を展開し、本村の観光振興に取り組む。	成果目標の根拠・考え方についても計画策定の段階で検討していく。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R5	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	公共用地の取得:203㎡	全体用地取得率:100%	【今後のスケジュール】 取得した公共用地を踏まえた跡地利用計画(素案)を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2	②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画(案)の作成を行う。	跡地利用整備計画(案)の検討	跡地利用整備計画(案)の作成	【令和5年度以降】 跡地利用整備計画(案)作成後、当該計画に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R5以降成果目標設定の考え方】 地権者や村民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
2	③	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	H25 ～ R5	キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区整備計画案をもとに、返還予定区域の有効かつ適切な跡地利用の検討を行う。	・交通量推計の実施 ・整備効果の分析	・これまでの検討結果を踏まえた報告書の作成	【R6度成果目標】 本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R6成果目標設定の考え方】 跡地利用の内容や返還スケジュール等が定まっていなかったため、本地区の跡地利用計画が具体化した段階でアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 指標については、大多数が評価していると考えられる数値として80%以上と設定する。
3	①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R13	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓:20件 ・求職者の個別支援:30件	・就業者数:3人 ・職業訓練校マッチング人数:3人 ・相談件数130件以上	【今後の展開方針】 求職者が求める求人企業の開拓を進め、求職者と求人企業のマッチング向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3	②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。	・ジョブシャドウイングの実施(小学校2校) ・職場体験の実施(中学校1校) ・キッズJOBクラブの実施 ・職業人講話及びフィールドワークの実施(高校1校) ・キャリア教育講演会の実施	就業に対する意識が向上したか(80%)以上を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。	【今後の展開方針】 追跡調査の結果も踏まえ、企業や学校、地域との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。
4	①	営農支援強化事業	H24 ～ R13	専門性の高い営農指導を行うことで、農家に対し生産から販売までの安定した営農体制構築の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備を支援する。	・営農指導員の配置:2人 ・パイプハウス施設の整備補助:2基	村アンテナショップにおける村内農家の出荷額:4,780千円	【今後の展開方針】 農業者に対し生産・販売体制の支援を行うことで、農業経営の安定化に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を利活用するため、民間事業者による医食同源・農福連携・健康長寿への取組支援及び円滑な事業展開を図るためのエリアマネジメント組織設立に向けた支援を実施する。	・令和5年度内での民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備着手 ・第二段階及び第三段階整備に関する民間事業者による事業計画とりまとめ	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備支援 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定	【今後のスケジュール】 ・R5年度内は、第二段階整備(地域振興施設(医食同源レストラン、農産物直売所等)、観光農園、園芸ハウスなどの生産施設)及び第三段階整備(医療・福祉健康増進施設)に向けた事業調整・整備着手への準備作業 ・R6年度では、第四段階整備に向けた事業調整・整備着手への準備作業 ・R7年度では、第五段階及び第六段階整備に向けた事業調整・整備着手への準備作業	【R5・R6・R7成果目標設定の考え方】 令和2年度事業報告を踏まえ設定した。
5	①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英会話指導員の配置 ・小学校:1人 ・中学校:1人 ・幼小兼務:1人	・英語検定の受験者数:249人 ・児童生徒へのアンケートにより英会話が楽しいと感じる割合80%以上	【今後の展開方針】 国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案し設定した。 ・大多数が楽しいと感じると考えられる数値として「80%以上」とした。
5	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中学生向けの英語講座を実施する。	・中学生クラス:前期32回、後期32回 ・小学生クラス:前期32回、後期32回	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒の平均点80点以上	【今後の展開方針】 継続した事業展開により、米国語学教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の取得率向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 ・英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「平均80点以上」と設定した。
5	③	海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	南米3カ国(ペルー、ブラジル、アルゼンチン)から海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため研修生を受け入れる。	・海外移住者子弟受入人数:3人 ・研修報告会:1回	・受入れた研修生が、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、海外と本村の懸け橋となる人材の育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 指標の設定については、概ね大多数の人が興味を持っていると言える数値として設定。
6	①	歴史まちづくり計画策定事業	R4 ～ R5	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。	・歴史まちづくり計画策定委員会の開催:3回 ・歴史まちづくり計画策定協議会の開催:3回 ・文化財保護審議会の開催:1回 ・関係省庁との協議:4回	歴史まちづくり計画書(案)の作成	【今後のスケジュール】 R4～R5:村による計画(案)策定 R6:国への申請及び計画の認定 【R6成果目標】 住民アンケート:策定した計画について、歴史情緒あふれたまちづくりが期待できると答えた割合(80%以上)	【R6成果目標設定の考え方】 対象エリアの住民の大多数が、計画を踏まえたまちづくりに期待する意向を示す値として「80%以上」を設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	②	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ～ R6	米国統治下における本村の歴史的経過(集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など)を明らかにするため、各種調査を実施する。	・村関連資料の整理 ・戦後集落地図の作成 ・追加の聞き取り調査の実施	・村関連資料のデータ化(4件) ・戦後集落地図作成(13字)	【今後のスケジュール】 R4～R5:資料収集及び既存記録の整理 R6:編集校正・冊子発刊 【R7成果目標】 利用者アンケート:村の歴史に対する理解が深まった(80%以上)	【R7成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値として「80%以上」を設定した。
7	①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	特別支援教育支援員を配置する。 ・小学校:11人 ・中学校:4人 ・幼稚園:4人	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
7	②	学習支援員配置事業	H27 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校(2校):2人 ・中学校(1校):1人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(19.6%以下) 中学2年生:数学(32.3%以下) ○無答率 小学5年生:算数(8.2%以下) 中学2年生:数学(8.7%以下)	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有するとともに、引き続きR3年度から導入されている1人1台端末を活用しての授業における支援が行えるよう研修等でのスキルアップを図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
7	③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	県外への派遣団体数:8団体(150人)	派遣された児童生徒の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。
7	④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ～ R13	県外大会への参加を村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対して航空運賃を補助する。	県外大会等への派遣者数:50人	派遣された子ども達の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	【今後の展開方針】 本事業の継続により、村内の子ども達の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	① 屋宜原地区避難道路整備事業	R4 ~ R5	北中城村の大型宿泊施設等へのアクセス道路である仲順屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての整備に必要な予備設計を実施する。	・実測図を用いた道路改良範囲の検討	実測図を用いた道路改良範囲の決定	【R9成果目標】 住民アンケート：整備した避難道路について、安心安全に利用できると答えた割合(80%以上) 【今後のスケジュール】 R4~5: 道路予備設計 R6: 実施計画 R7~8: 整備工事	【R9成果目標設定の考え方】 道路利用者のうち大多数が本路線の整備効果に満足していると考えられる値(80%以上)とした。	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	R5成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	公共施設跡地に誘致する商業施設を核とした新たなまちを誘導するための地区計画を策定する。	地区計画の策定	地区計画策定の完了	<p>(R11年度)</p> <p>【村の農産物や特産品等の販路拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設で取り扱う村産品の生産者・加工者数70件以上(業者を含む)、村産品の販売コーナーの設置 <p>【新たな雇用創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域雇用の全体雇用の20%以上(障がい者、ひとり親家庭保護者含む) <p>【安心・安全な生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定締結1件(災害時応援協定、物資支援協定の締結) <p>【村民等のコミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントスペース、イートインコーナー設置1箇所、村との連携イベント実施1件以上/年 <p>【知名度・関心度向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設内に中城村紹介コーナーの設置1箇所、店舗アプリ等での中城村の宣伝 ・村外からの観光客数の増加、30%以上 H29年度145,000人⇒R11年度、188,500人 <p>(R12年度)</p> <p>【日常的に買物できる商業施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物利便性の向上70%以上 	<p>【R5年度成果目標】</p> <p>本事業の成果目標は、商業施設の誘致による住民の利便性向上等について測れる指標を設定すべきだが、本年度は用地購入のみで検証が困難なため、本年度の成果目標としては定性的な指標を設定した。</p> <p>【R11、12成果目標設定の考え方】</p> <p>商業施設供用開始後に事業効果が確認できる指標として設定した。</p>
2	①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	H28 ～ R13	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、今年度は芝の適正管理、東屋の設置、管理棟の整備、遊具の設置を行う。	<p>①ごさまる陸上競技場芝生の適正管理</p> <p>②吉の浦公園東屋設置計画の実施</p> <p>③遊具の設置</p>	<p>①プロサッカーチームの合宿誘致件数: 2件</p> <p>②整備の完了</p> <p>③整備の完了</p>	<p>【R6成果目標】</p> <p>整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>村内外の人へ機能強化されたことを周知し、利用促進を図るため、村HPや広報等で周知を行う。</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>(園内)</p> <p>利用者の大多数にとって施設の利便性が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	プロサッカーキャンプ支援事業	R4～R13	<ul style="list-style-type: none"> ・プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動を行う。 ・受け入れたチームの円滑なキャンプ環境を確保するため、場内警備や歓迎セレモニー等を実施する。 ・グッズ販売やトレーニングマッチを開催し、県内外からの集客を図る。 ・スタンプラリーを実施し、域内事業所での消費喚起を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ環境を確保するための支援を実施 ・グッズ販売やトレーニングマッチを開催 ・スタンプラリーを実施 	キャンプ見学者数:8,640人	【今後のスケジュール】 前年度を上回る見学者を目標に事業に取り組む	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
2	③	観光地周辺美化事業	H29～R13	<ul style="list-style-type: none"> 作業対象箇所を増やし、より魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化作業員 9名配置し、美化清掃等を実施。 	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き観光地及び観光地へのアクセスルートを美化清掃等を実施し、観光地として相応しい景観の形成に取り組む。 観光地へのアクセス道路になっている路線を作業対象箇所に追加し、魅力的な観光地景観形成を図る	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 観光地へのアクセス道路として、村道奥間南上原線、村道ウフクビ線白線を加え、より魅力的な観光地景観形成を図る。
3	①	海外移住者子弟研修生受入事業	H26～R5	<ul style="list-style-type: none"> 海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受け入れる。 ・住民への国際交流の機会の提供 ・移住の歴史について住民の興味喚起を実施する。 	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き、異文化交流をおとして交流の架け橋となる人材育成に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄の文化や歴史に、より一層興味を持ったと考えられる数値として80%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
4	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～R13	<ul style="list-style-type: none"> ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援員の派遣 ・ICT機器を活用した授業等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 <p>以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	【今後のスケジュール】 引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 (児童生徒)大多数にとって授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 (教員)大多数がICT機器活用の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	・特別支援員配置 8人 ・相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率41%以上	【今後のスケジュール】 引き続き日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去のアンケート結果及び復帰率を勘案して設定した。
4	③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援配置 2人	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5P以上	【今後のスケジュール】 引き続き数学科を中心とした授業内での学習支援を行うとともに、放課後の補習を通じた個々の生徒に合わせた学習支援を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の学力到達度調査結果を勘案して設定した。
4	④	子育て保育支援事業	H29～ R5	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行う。	加配保育士 27名	保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き加配職員を配置し、適切な保育環境を確保するとともに、保護者の育児負担の軽減に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者の大多数が保育園での生活の困難が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	⑤	保育施設機能強化整備事業	R5	園児に向けた遊びの場を提供している村内保育施設を安全に利用できるよう機能強化整備を行う。	工事の実施	工事の完了	【R6成果目標】 安全に子供が遊べるようになったかを検証する。 遊具に関連する事故及び怪我件数0件	【R6成果目標設定の考え方】 安心安全な保育環境が確保されたかを検証するため事故等の発生件数を設定した。
4	⑥	オンライン英会話学習支援事業	R5 ～ R13	村内の小学生(5・6年生)及び中学生を対象としてアメリカ州立大学の英語講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。	土曜日・日曜日にオンラインによる英会話学習を実施する。 小学生・中学生それぞれ64回の授業を実施する。	初回の授業開始時と最終回のひとつ前の授業において独自のテストを実施し、生徒の英語力の伸びを測定する。目標は筆記試験と面接試験で構成された年度末のテストで80点(100点満点)を達成すること。	【今後のスケジュール】 対象児童及び保護者にアンケートを実施し、本事業のあり方について検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 最終のテストで80点以上を達成することを目標とする。初回のテストの結果については、生徒の状況に応じた授業の進め方などの参考とする。
5	①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ～ R9	寄贈資料の分類・整理を完了させ、資料調査のための準備を行う。	寄贈資料の分類・整理	寄贈資料の分類・整理の完了	【今後のスケジュール】 R6～R7:資料に関する情報収集・調査・分析 R7～R8:公開システムの検討、システム構築、公開準備 R9～:資料の公開	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の目的は、寄贈資料の分類・整理・調査・分析を行うとともに、資料を広く一般に公開し、それらを活用することであるが、本年度は資料調査に入るために膨大な資料の分類・整理を完了させることが必要となる。したがって、定量的な成果の検証が困難であるため、本年度の成果目標としては定性的な指標を設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細				R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	②		村内文化財整備事業	R4 ～ R5	村指定文化財「伊舎堂のマーチューグラー」の保存に向けた工事を実施する。	工事の実施	工事の完了	【今後のスケジュール】 R6:各文化財の見学者150人	【R5成果目標設定の考え方】 工事の完了後に効果が得られることから、R5年度は定性的な指標となった
5	③		中城文化まつり事業	R5	・吉の浦会館における民俗芸能、組踊、琉舞、古典音楽などの舞台部門の上演、護佐丸歴史資料図書館企画展示室における陶器、漆器、水墨画などの展示部門の展示を行う。 ・獅子舞等の伝統芸能を兄弟都市である福岡県福智町の文化祭で演じ、沖縄の伝統芸能を県内外に発信するために要する経費について補助金を交付する。	・吉の浦会館での舞台部門の上演 ・護佐丸歴史資料図書館企画展示室での展示部門の展示 ・福智町文化祭での上演	・舞台部門来場者数(出演者も含む)約1,500人 ・展示部門来場者数(出品者も含む)約500人 ・文化祭の来場者数 約300人	【今後のスケジュール】 中城文化まつりは、今後も3年に1回実施していく。 村の伝統芸能が今後も継承され、年1回以上、伝統芸能を発表する場や中城文化まつり等へ出演する。	【R5成果目標設定の考え方】 (中城村文化まつり) 過去の実績を勘案して設定した。 (福智町文化まつり) 過去の上演実績を勘案して設定した。 (収容人数の約8割)
5	④		地域多世代交流活性化事業	R3～ R5	南上原自治会で行われている組踊で使用する新規台本の作成と、衣裳・小道具の購入を行い、組踊の公演を行う。	補助金の交付	①新規台本・道具・衣裳の製作 ②公演会の開催 見学者数:250人	【今後のスケジュール】 今後も南上原自治会の組踊の保存継承及び地域振興を図るため、年1回以上の公演会を実施する。また、中城村主催の文化まつり等でも公演を依頼する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①		中城村農業振興推進事業	H30 ～ R8	①農業指導員及び補助員の配置及び試験栽培の実施 ②新たな推奨品目の検討	①農業指導員1名・補助員1名 重点品目の試験栽培の実施 ②新たな推奨品目の検討にむけた継続的な栽培試験を実施	①農業指導員及び補助員の配置及び重点品目2品目の栽培試験の実施 ②新たな推奨品目1品目の継続的な栽培試験の実施	【R8成果目標】 試験栽培により得られた成果を活用し農業指導を行った農家の割合 80% 【今後のスケジュール】 引き続き試験栽培及び営農指導を実施する。	【R8成果目標設定の考え方】 農家の大多数に栽培試験の効果を行き渡らせる事ができたと考えられる指標として設定した。
6	②		水産物安定出荷事業	R5	水産物の安定的な出荷を図るために冷凍庫の整備を行う。	整備の実施	整備の完了	【R6成果目標】 水産物出荷量の増加前年比10%増	【R6成果目標設定の考え方】 事業が漁業者の売上に繋がったかを検証するため出荷量を設定した。
7	①		PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ～ R8	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入することにより、沖縄の主要な産業のひとつである建設業における地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。	モニタリングの実施	教育施設整備に向けた基本設計の完了	【今後のスケジュール】 R6 実施設計 R7-8 建築工事	【R5成果目標設定の考え方】 PFI事業募集要項に記載ある内容を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	②	中城村中学生平和体験学習事業	R5 ～ R13	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習(校外学習)を実施する。	平和学習の計画的な実施	平和体験学習を今後も継続して実施した方がよいか(80%以上)を含め、参加した中学生・教員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R6まで事業を実施し、アンケートの結果等から今後事業をR13まで継続していくかどうか検討する。 ※事業期間はR13年度まで記載	【R5成果目標設定の考え方】 本事業は令和5年度から実施の新事業のため、R5～R6の期間は効果検証期間とする。アンケートを実施し、生徒の声をきくことで今後の事業継続を検討することとする。 指標としては対多数が継続した方がよいと考える数値として「80%以上」と設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施(3箇所) ①運動公園 ②東崎公園 ③東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施 環境美化:24箇所 整備:文化財 1件 説明板 3基 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:3回	文化財巡り等イベント参加者数170名	【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。
1	③	西原まつり運営事業	H27 ～ R13	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	西原まつりの開催の支援	まつり来場者数:35,000人	【今後のスケジュール】 今後もまつりを通して観光誘客を図り、地域活性化に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名派遣(町立4小学校)	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、生徒に対してのアンケートにより検証する。
2	②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:3名 ・定期的な学校訪問(町立小中6校) ・教育委員会との連絡会議の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 35%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わることで、状況の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 R3の実績見込を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:10人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.6以上 算数 4.3以上 ・中学校 国語 4.3以上 数学 4.8以上 英語 0.3以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:18人 ※状況に合わせて各学校へ配置 ※支援対象者の人数に応じて増減あり ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(2回)	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を86%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	障がいや発達の遅れなど特別な支援を必要とする幼児に対し特別支援教育支援員を配置することで、当該幼児の状態、特性・ニーズ等に応じたきめ細かな教育支援体制を確立し、集団生活を通して全体的な発達の促進及び安心・安全な学園生活の確保を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	支援児個々の状態に適した支援を展開していたかを検証するため、対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応への満足している」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方・課題等についても、アンケートにより意見聴取を行う。
3	①	親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ:8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 過年度における実施状況は、設定した成果目標を達成しており、効果的な事業展開が実施できているため、今後も継続的に事業が実施できるよう取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R13	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定する。	・確定測量の実施 ・表示登記申請の実施	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界確定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～R5 確定測量・表示登記 R6 避難経路整備計画図策定 R7 避難経路整備	【R5成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。
5	①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	・求職者と企業のマッチング 20件以上 ・スキルアップ講座等 20回以上	新規雇用割合50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6	①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	・麻しん風しん(MR)予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん風しん(MR)集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種勧奨に取り組み、接種率向上を目指す。 定期接種に加えて、MR1期の未接種者(2歳から5歳になる年度の末日まで)及びMR2期の未接種者(小学校1年生から6年生まで)に対しても、行政措置として接種費用を助成する。	【R5成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7		官民連携によるコンパクトシティ形成事業	R4 ~ R5	・官民連携手法による施設再整備の実現に向け、策定予定である基本計画(案)に基づく事業実施に必要な調査業務を実施する。	・計画地内における各種調査業務の実施 ①測量調査 ②擁壁健全度調査 ③土壤汚染地歴調査 ④建物アスベスト建材調査	・計画地内における各種調査業務を完了させ、事業者公募に必要な前提条件を整理する) ①測量調査の完了 ②擁壁健全度調査の完了 ③土壤汚染地歴調査の完了 ④建物アスベスト建材調査の完了	【R5成果目標】 策定作業中の基本計画(案)に基づき、PFI等事業を実施する際に必要となる各種手続き・調査を実施し、R6の事業者公募手続きの着手を目指すとしていたが、事業休止の判断から後年度効果の発現も一旦、見送ることとなる。 【今後のスケジュール】 R5 各種調査の実施	【R5成果目標設定の考え方】 本事業により官民連携手法による事業実施に向けた必要な手続き・調査等を完了させ、後年度の業務着手及び事業実績を発現させることができる予定であったが、物価高騰等の影響により事業休止を判断したことから、R5成果目標は関連調査業務の完了のみと設定する。 なお、地元民間事業者等に対しては、官民連携手法を活用した事業に対する参画意向について、アンケート調査等で検証していく。
8		平和の約束運営事業	R4 ~ R13	西原町平和事業の一環として、西原町平和事業「平和の約束2023」を実施し、平和意識の醸成を図る。	「平和の約束2023」を開催	「平和コンサート」イベント来場者350名。 「平和パスタツアー」参加親子20組。 「チョコレート制作事業」参加者30名、作品数10作品。 「平和の語り部アーカイブ動画企画作成」戦争体験者1名の語り動画を制作。	【今後の取り組み】 本事業のような平和を発信する取り組みは、単発では効果が限定的で、毎年続けて発信していくが重要と考えられる。「平和の約束」という取り組みを継続させるとともに、子どもや若者等の新しい世代を巻き込んでいく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績や参加受け入れ可能な規模を想定して設定した。
9		西原町観光PR促進事業	R4 ~ R8	交流人口の増加・歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員の配置、観光PR、町産品のPR業務にかかる経費の支援を行う。	①観光・歴史・文化情報等の発信事業 ②誘客イベントの実施 ③観光キャラクター運営事業の委託 ④町産品PR業務	①誘客イベント 6回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産品PR事業 6回以上	誘客イベント、キャラクターの連携により交流人口の増加を図る。初年度のイベントの状況を踏まえ次年度以降の交流人口の目標数値を設定する。	過去の実績により、次年度以降の交流人口の目標を検討する。
10		緑のリサイクル事業	R4 ~ R13	町内家庭及び地域清掃で排出される木枝廃棄物を収集・処理することにより、焼却ごみを削減し清掃工場の負担低減、ごみ処理コスト低減、省エネルギー化を図る。	・町内一般家庭、共同清掃から出た木枝を収集し、処理する。 ・簡易車両重量計の購入 ・カッターの購入	・木枝の収集量の増加(5%)を図る ・簡易車両重量計の購入 ・カッターの購入	【今後のスケジュール】 施設の設置場所・規模の検討	【R5成果目標設定の考え方】 ・R4で把握した収集量よりも収集量を増加させる ・簡易車両重量計を購入し独自で計量を行う ・カッターを購入し、処理の効率化を図る

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
11		シェアサイクル活用推進事業	R5 ～ R7	町民及び観光客の新たな移動手段の充実を図り、町内観光資源への誘引を図るとともに、本県の課題とされている過度な自動車依存からの脱却による脱炭素化の取組を進める。	①シェアサイクル利用件数 6,000件/年 ②シェアサイクルを活用した観光資源周遊ルートの確立	シェアサイクル利用によるCO2排出量の削減目標値 6,156kg-CO2	・新たな交通手段としてシェアサイクルを定着させるとともに、観光資源へのアクセス手段として周知PRし、観光資源周辺の小規模店舗の利用拡大による地域おこしにつなげたい。 ・新たな地域活性化のツールとして「東海岸サンライズ推進協議会」による広域的な連携につなげたい。	【R5成果目標設定の考え方】 シェアサイクル活用を通して、自家用自動車の運輸件数を削減し、CO2排出量削減を図る。	
12		地域防災強化事業	R5 ～ R9	防災体制強化のため、災害監視カメラ等の整備や食料、飲料水等の備蓄を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	・災害監視カメラ2基設置 ・備蓄用飲料水(500ml)9,792本購入	・冠水被害の影響を特に受けている住宅地域へ監視カメラを2基設置し、大雨等の水害に警戒できる体制づくりを行う。 ・備蓄用飲料水をR9までの5年間で避難所最大想定避難者数(8,400人分)の1日分の飲料水を確保することを目標とし、R5は備蓄率40.3%整備することを目標とする。	・整備した監視カメラを活用し、水害等の危険性が発生した際に、迅速に住民への警戒周知を行い、また、現場対応につなげる。 ・平準化を図りつつ、R9年度までに飲料水の備蓄率100%整備する。	・町内の水害状況を確認するため、冠水被害の影響が大きい住宅地区へ監視カメラを設置・映像公開することで早期の対応が可能となる。 ・大規模災害発生時に行政備蓄として、避難所最大想定避難者数の1日分を確保することが必要と考え目標設定した。	
13		学校DX推進支援事業	R5 ～ R13	ICT機器やシステム・アプリ・サービスの活用を支援する支援員を学校に配置する。	町立小中学校6校への支援員配置計2名	教職員のアンケートにてICT機器を活用した授業を自ら行えるとする回答を全員(100%)とする。 児童生徒アンケートにて昨年よりもICT技術の活用能力が向上したとする回答を70%とする。	【今後のスケジュール】 今後も支援員による支援を継続し、学校におけるICT活用能力の継続的な向上を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 教職員令和3年度末の調査結果より児童生徒は現時点では記録がないため効果が一定以上あると思われる70を採用した。	
14		学校教室ICT環境整備事業	R5 ～ R9	町立小中学校の教室に大型提示装置等のICT機器を整備し、授業におけるデジタル教科書(含む独自教材などの教材)の活用、GIGAスクール構想にて整備されたタブレットの効果的な活用など授業でのICT活用の促進を図る。	大型投影装置43式の整備	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 次年度以降も同様に整備を継続し、5年間ですべての教室でICT機器を効果的に活用できるようにし、ほぼ毎日活用する状況を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 ICT機器を導入した学年の児童生徒へのアンケート調査を実施し、授業が分かりやすかったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
15		西原町ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R5 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合に当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与することを目的に、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。(1人当たり月額上限5,000円)	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成	助成対象世帯(保護者)に対し、アンケート実施。「利用支援を受けたことで、役に立った」等の回答80%以上	事業を継続して行うことにより、当該家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。	【R5成果目標設定の考え方】 広く効果があったと考えられる数値として80%以上と設定。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
16	西原町公園照明LED化事業	R5 ～ R9	町内公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素排出量(消費電力)を削減し、低炭素社会の実現を目指す。	公園照明のLED化を行うための調査設計	公園照明のLED化の調査設計業務の完了。LED化による二酸化炭素排出量の削減値の把握。	R6年度からは取替工事に着手し、着実に二酸化炭素排出量(消費電力)の削減を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 R6からの取替工事に向けた調査設計の業務委託を行うため、具体的な数値による設置が困難であり、業務完了と本事業における二酸化炭素排出量の削減値について把握することを目標とした。
17	緊急避難道路整備事業	R5 ～ R6	交通弱者等を含めた観光客や町民の安全かつ円滑な避難行動の実現を図るため、未舗装の下水道管理用道路を緊急時の避難路としても活用できるようアスファルト舗装を行う。	調査測量設計の実施	調査測量設計の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに内間都市下水道管理用道路及び翁長都市下水道管理用道路の調査測量設計を完了させ、西原町地域防災計画で定めた徒歩による避難を原則として、地域の実情を踏まえつつ、できるだけ短時間で避難が可能となるようなまちづくりに繋げる。 【今後のスケジュール】 R5 調査測量設計 R6 避難路整備	【R5成果目標の考え方】 調査測量設計を基に、避難路整備に繋げていく。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	・与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳まつりのCMを作成し、テレビ・ラジオ等で幅広くPRを行いより多くの集客を図り、与那原町の魅力を町内外に発信する。 ・与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「ゆかたまつり」の開催、「スタンプラリー」を開催する。 ・地域活性化イベントを行い、与那原町の魅力を町内外に発信する。	・与那原大綱曳まつりへの40,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) ・その他事業(地域活性化イベント・ゆかたまつり)での8,000人の誘客。	・与那原大綱曳まつりや地域活性化イベントゆかたまつり、スタンプラリー等を通して与那原町の魅力を町内外に発信していく。	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。
1	②	美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散策できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・環境美化作業員配置14名による対象ルート等の美化清掃作業 ・フットライトの設置	・本事業による取組の結果、散策しやすくきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して繁茂対策、美化作業を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる町へ再度訪れたいと、概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。
2	①	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。	・学習支援員 11名配置 ・特別支援教育支援員 19名配置 ・情報教育支援員 3名配置 ・スクールカウンセラー 1名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・スクールカウンセラー1名(3校)、特別支援教育コーディネーター1名、保幼小中連携コーディネーター1名、就学支援コーディネーター1名	・沖縄県学力到達度調査にて県と本町との平均正答率の差(小学校:0.3pt以内 中学校:0.9pt以内) ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上	R13年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 ・対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。
2	②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	英語の授業の指導助手及び小学校の教職員とALTとの授業に関する連携・助言・支援の補助を行う。	・主任英語指導助手 1名配置	・対前年度比 英検合格率5%上昇	R13年度まで事業を実施するため英語指導コーディネーターを配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者の学習意欲の向上値として設定した。
2	③	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上の為、ICT教育の環境を整備する。	・デジタル教科書一式購入(小学校2校分) ・電子黒板(ディスプレイタイプ 可動式) 15台購入(小学校8台、中学校7台)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	R13年度まで事業を継続し、ICT設備を整備し電子黒板等を活用した授業体制の構築を図りICT学習の向上を図る。	児童生徒の授業のあり方をICTを活用し個に合った学習環境を整備するため、学校における対象備品の整備率を設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H30 ～ R13	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを図るため、個の発達に応じたきめ細かな支援を行う事が出来るよう特別支援教育支援員及び特別支援教育コーディネーター、臨床心理士を配置する。	・特別支援教育支援員10人配置 ・特別支援教育コーディネーター1人配置 ・臨床心理士2人配置	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方についての検証。	教諭及び児童、保護者の障害理解を図ることで、支援員配置を減らすことができる。10人→8人	【R5成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業	R4 ～ R13	ひとり親家庭等の児童が放課後児童クラブを利用した場合の経済的負担を軽減するために、利用料を減免する放課後児童クラブへ減免に要した費用の一部を助成する。	利用料減免を行う放課後児童クラブへ助成。(ひとり親家庭等受入クラブ)	アンケート実施、「減免により利用することができた」等の回答:80%以上	利用料減免を継続して行うことで、ひとり親家庭等が放課後児童クラブを利用しやすい環境を整え、子どもたちの安心・安全な居場所の確保に資する。	【R5成果目標設定の考え方】 広く効果が発揮されたと考えられる数値として、対象者の80%以上の支持を設定した。
4		与那原町海外友好親善大使人材育成事業	R5 ～ R13	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・海外移住者子弟研修生2名受入:日本語及び文化研修の実施 ・児童生徒・町民との交流会の実施 ・与那原町における交流会でのアンケート実施 ・帰国後の研修報告会及びアンケートの実施 ・帰国後に現地での報告会:1回	・与那原町における交流会でのアンケート 「違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合:90%」 ・帰国後の研修報告会でのアンケート 「沖縄・与那原に関心がある人の割合:90%」 (PR大使としての活動の実施)	【今後のスケジュール】 交流会を継続して行うことで人的ネットワークの強化を図り、相互の文化振興や友好親善の推進へつなげていく。 研修生は、帰国後積極的に町人会及び県人会活動に参加し、本町及び本県とのネットワークの強化を図り、両国において沖縄伝統文化の継承・発展に寄与する。 また、町民の海外派遣についても、相互の国際交流の強化を図るため、計画する。	【R5成果目標設定の考え方】 受け入れを実施した平成29年度から令和元年度の過去3年の平均値を次年度の目標とした。 R4については事業実施中であるためR1～H30までの3年間の実績を記載
5		新しい公共交通検討事業	R1 ～ R5	福祉型町内バスの導入に向けて検討するため実証実験を行う。 実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催 ↓ 検討委員会の開催	実証実験実施 ↓ アンケートの実施 ↓ 検討委員会の開催 ↓ 導入可否の決定	町内バスの導入可否の決定	【今後のスケジュール】 R5年度まで実証実験を実施し、R6年度の本格導入に向けて検討する。	【R6成果目標設定の考え方】 順路の見直し及び高齢者と障がい者等に妊婦を新たに加え、より町内バスを利用した交通手段が確保されたかを検証するため、バスを利用した高齢者や障がい者、妊婦等へのアンケートを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格導入に向けての検討をする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				6		与那原町防災力強化事業		
7		与那原町伝統文化発信事業	R4 ～ R6	・与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。	・伝統文化の映像を撮影し、映像コンテンツ等を制作する。 ・大綱曳に関する技術の記録等をとする。 ・コンテンツ用機器(大型スクリーン)の購入及び設置	綱曳資料館への4,000人誘客	【今後のスケジュール】 映像コンテンツや体験型の展示等を活用し、学び・体験を通して、伝統文化の継承・発展につなげる。	【R5成果目標の考え方】 過去の実績とコロナの影響を受けた時の実績及び、令和4年4～9月の来館者数を勘案して設定した。
8		与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ～ R13	将来の公共交通利用に係る児童への学習会の実施をおこなう。	①交通教育の実施	・対象となる園児へのアンケート調査を実施し、「公共交通教育について理解できた」等の回答:80%以上	本町のコンパクトな町域を生かした移動環境の向上を図る(自転車等)。また、自動車だけではなく公共交通等の利用を促進するための環境整備、意識啓発等を実施継続して実施することで、安全で安心な交通環境の構築する。	【R5成果目標の考え方】 ①2018年度に実施した、町民の交通に関する意識調査で、バス等の公共交通が6.4%と低かったことから、交通戦略で定めた目標値に合わせて3%向上させることを目標とした。 ②2018年度に実施した、町民の交通に関する意識調査で、交通渋滞を問題と考える割合が72.1%であり高かったことから、を交通戦略で定めた目標値に合わせて50%以下とさせることを目標とした。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
9	新たなまちづくりに向けた公有地等活用事業	R4 ～ R6	・事業者選定アドバイザー委託業務 1式	・公有地公募の実施 ・優秀提案者との協定締結	・公有地公募の実施 ・優秀提案者との協定締結	【今後のスケジュール】 令和5年度 公募の実施 事業者の決定、協定締結、 契約締結 令和6年度 契約締結、事業開始 ・策定された基本計画を実現可能な事業者による新たな経済効果の創出。	令和5年度に 契約締結 を予定していることから令和6年度の 契約締結 、事業開始を目標とした。	
10	運玉森「平和学習広場」整備工事	R1 ～ R5	運玉森山頂の斜面对策工事及び散策路、広場の整備を行う。	平和学習広場斜面对策工事及び散策路等整備工事 一式 不動産鑑定業務 一式 分筆測量業務 一式 用地買収 一式	斜面对策工事及び散策路、平和学習広場の整備工事の完了	【R6成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する。	整備スケジュールに基づき設定した。 R1年度:基本計画作成委託 R2年度:実施設計委託 :用地取得 R3年度:価格調査業務 :運玉森「平和学習広場」整備工事 R4年度:斜面对策調査測量設計業務 :磁気探査業務委託 R5年度:運玉森「平和学習広場」斜面对策工事及び整備工事	
11	市街地拡大地区可能性調査事業	R5 ～ R7	与那原町都市計画マスタープランにおいて「市街地拡大検討地区」と位置づけられた「町道上与那原前の井線」周辺において、地権者等への市街化に対する意向調査及び市街地拡大の事業手法等を検討するとともに、都市拠点としての当該地区における都市機能の充実や良好な住宅市街地の形成を目指すための可能性を模索する。	可能性調査業務の実施	可能性調査業務の完了	土地利用の決定 (市街地拡大手法を決定する)	本事業において策定する基本構想に基づく事業手法等を決定するため、現時点で定量的な指標を設定することが困難であり、当該基本構想に基づいた事業手法等を決定していくことを目標とする。	
12	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29 ～ R5	農作物の出荷量向上を図る為、資材導入にかかる経費に対し、補助を行う。	農業用被覆資材導入補助 3件	ゴーヤー出荷量 1,506kg以上 マンゴー出荷量 3,791kg以上	【今後のスケジュール】 今後は、講習会等を通じさらに品質向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
13	与那原町青少年人材育成交流事業	H24 ～ R13	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることにより一層の郷土愛、地元愛を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内社会教育団体への補助 ・県外への派遣 15人 ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケートの実施。達成度の回答 80% ・報告会の開催 1回 ・ジュニアリーダークラブまたは準会員としての登録 5名以上 	今後も派遣事業を続けていくことで、継続的に人材育成を図る。研修受講後は積極的に町のイベントや行事に参画することで、協働のまちづくりの一旦を担ってもらう。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業において人材育成に係る活動目標については派遣事業における視点視野の広がりを子どもたちが持つことであることから、事後報告やアンケートにおける参加者の達成度を成果目標とした。	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	青少年国際交流事業	H24 ～ R13	海外移民者との交流や海外での生活体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年を海外へ派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、ホームステイ、及び現地の学校への体験入学を実施する。	・交流事業派遣生徒数：10名 ・研修後報告会の開催	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、青少年の海外派遣を継続して実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者の内、大多数が国際的な視野が広まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数：6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う児童の割合：80%以上	【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による研修を中心に調査研究し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の実施 ・小学校4校 2年～3年：国語・算数 ②学力調査の実施 ・中学校2校 3年：国語・数学・理科・社会・英語 ③リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 5年～6年 ・中学校2校 1年～2年 ・教員 ④外部講師による研修会等の実施 ⑤到達度確認問題 ・中学校2校 1～3年	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学2年：2科目/2科目 ・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストや到達度確認問題の調査結果により個々の学力を更に詳しく把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる学力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 小学2年生、3年生は、標準学力調査において、平均正答率が目標値を上回ることを目標とした。 小学5年生、6年生、中学1～2年は、沖縄県学力到達度調査において、令和3年度実績を踏まえ、目標値を設定した。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	(小学校) ・8名：4校各2名配置 (中学校) ・4名：2校各2名配置	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、前年度実績を踏まえ、目標値を設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:25人	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。
1	6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質を確保するため、ICT支援員を配置する。また、児童数の増加によるクラス数や特別教室が増えた学校へ電子黒板一式の整備を図る。 普通教室へ入れない児童生徒の学びの保障及び学力向上を図るため、特別教室へICTネットワークの整備を図る。	・ICT支援員1名配置。 ・クラス数や特別教室が増となった学校へ電子黒板一式の整備。 ・教育相談室などの特別教室へICTネットワーク環境の整備。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員	【今後のスケジュール】 【ICT支援員】 次年度以降も配置する。 【備品購入費】 今後も、クラス数の増加が見込まれることからより良い授業環境を提供するため、電子黒板等のICT機器の整備を図る。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。	【R5成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	・青少年教育相談員 1名配置 ・特別支援教育相談員 1名配置 ・自立支援教室支援員 2名配置 ・適応指導教室学習支援員 2名配置 ・心の教室相談員 6名配置 ・作業療法士の派遣 (4園・6校) ・Q-Uテストの実施(小学校4校、中学校2校) ・登校支援車の購入 5台(小学校4台、教育支援センター1台)	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	【今後のスケジュール】 ・不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰率を22.8%以上にする。 ・多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 ・本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、過年度全国値 22.8%を目標値に設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校1年・2年 英語+0.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要の派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数141名	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	10	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R13	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も事業の必要性や効果を検証しながら園児の体力向上に効果的な事業を実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	11	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	児童生徒の大会派遣の支援延べ83名	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっと身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
1	12	南風原町学校プール日よけ設置事業	R4 ～ R6	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	整備工事(町立3小学校、1中学校)	整備工事完了	【R6成果目標】 事業完了後の令和5年度に設置済、令和6年度に供用開始の学校プールにおける日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。 【今後のスケジュール】 R5: 設備工事、 R6: 設備工事、供用運用開始	【R6成果目標設定の考え方】 事業の目的に基づき、成果目標を設定した。
1	13	学習者用端末整備事業	R5 ～ R13	児童生徒一人ひとりがICT機器の活用を行えるよう、町立小中学校の児童生徒数の増加に伴う、学習者用端末を整備し、ICT教育の充実を図る。	学習者用端末の購入 小学校 : 12台 中学校 : 17台	・各学校において、学習者用端末を使用した課題の達成率 80%以上	【今後のスケジュール】 今後も、町立小中学校においては児童生徒数の増加が見込まれることから、ICT教育の充実を図るため、学習者用端末の整備を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 各学校において、学習者用端末を使用した課題を達成することで、スキルの向上に直接繋がると考えられるため。また、80%以上としたことは、大多数が課題を達成していると考えられる数値として設定した。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。	・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園6箇所の景観美化完了	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細				R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	2		ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催：1回 ・ヒーローを題材にした舞台化：1回	・イベント(上映会、風上げ、金城哲夫展等)来客者数：3,250人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3		シマジマガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2名 ・シマジマガイド開催12回	シマジマガイド参加者：1,700人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及び、Jリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託 ・黄金森公園陸上競技場管理職員の配置	・陸上、サッカー等合宿利用者数：1,300人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数：6,000人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 合宿利用者数、見学者数ともにコロナ禍前の数値を参考に設定した。
2	5		南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえるん等利用数：50件 ・イメージキャラクターによる観光PR活動(年間60回) ・県外誘客活動(誘客イベント)の実施	SNS(Instagram)閲覧数64,800件	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R5成果目標設定の考え方】 SNSを積極的に使い始めたため観光サイトアクセス数からSNS(Instagram)閲覧数に変更した。 SNS閲覧数はR4年度(R4.4-10)の値を参考に設定した。
2	6		南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R6	優先して取組む区域に対し、具体的な事業化に向けて検討し、関係地権者への説明会及び、企業ニーズヒアリング等を開催し事業化に向けて取り組む。	・事業化に向けた検討 ・企業ニーズヒアリング ・地権者説明会の開催	・事業化に向けた検討 ・企業ニーズヒアリング ・地権者説明会の開催	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会、説明会を重ね、早期事業化に向けて取組みし企業誘致等を図る。	【R5以降の成果目標設定の考え方】 R6以降：事業化に向けた手続き、面的整備
2	7		南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R8	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図ります。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行います。	・商品改良相談(延べ50件) ・企業マッチング相談(10件) ・品質向上セミナーの実施(3回) ・販路開拓セミナーの実施(2回) ・地域産品の販路開拓(テスト販売の実施5回) ・優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(更新含む5件) ・商談会など催事への出展(2回以上)	商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施	【今後のスケジュール】 販売売上向上率(個数)：前年度比4%以上UP	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標)：令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標)：令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	8	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R6	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入(2頭)の導入支援	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110% 去勢110%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしておくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。
2	9	琉球かすり会館機能強化事業	R5	国の伝統的工芸品である「琉球絣」、「南風原花織」の展示販売・保管の環境改善を図るため、琉球かすり会館の展示ホールに産業用除湿機を導入し、機能強化を図る。	琉球かすり会館への産業用除湿機の導入工事	琉球かすり会館における「琉球絣」、「南風原花織」の反物の売上高伸び率7%以上	【R5成果目標】 琉球かすり会館における「琉球絣」、「南風原花織」の反物の売上高伸び率7%以上 【今後のスケジュール】 R5: 導入工事、運用開始	【R5成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、事業完了後の成果目標を設定した。
3	1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破砕し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化): 509トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化): 105トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	2	環境保全3R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 1,079トン 廃食油の収集分別量22,000リットル	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 資源ごみのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した また分別量は、R3年度の収集分別量の実績より算出した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	<p>安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、本町の民間の家賃住宅等を利用している学童クラブに対して家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。</p>	<p>(1)家賃補助 14カ所 (2)生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助 107人</p>	<p>安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。</p>	<p>【R5成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4	2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R13	<p>出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町内認可外保育園に対し、運営費補助、歯科検診費用補助、傷害保険費用補助を行う。 また、町内在住の町外認可外保育園利用児童保護者に対し、保育料の助成を行う。</p>	<p>1.認可外保育園への補助 1施設 (1)運営費補助 (2)歯科検診費用補助 (3)傷害保険費用補助 2.町外認可外保育園を利用する町内在住児童保護者への保育料助成 13人</p>	<p>・対象園利用児童保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・対象児童保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】 認可外保育施設が提供する保育の質の向上及び保護者の負担軽減を継続的に実施する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 アンケートについては、保育の質の向上、助成による負担軽減を実感できる保護者を対象とした。 また、成果目標については、大多数が、保育の質が向上した又は助成により負担が軽減され満足したと考えられる値として80%を設定し、合わせて本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4	3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	<p>新型コロナウイルス感染症対策の為の入国制限措置が段階的に緩和され、麻しん及び風しんに感染した観光客が来県した場合でも、感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。</p>	<p>①MRⅠ期接種目標率 95% ②MRⅡ期接種目標率 95%</p>	<p>外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件</p>	<p>【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。</p>
5	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	<p>南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して壕内外のガイド案内を実施する。</p>	<p>開壕日数:309日</p>	<p>見学者数8,000人</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施する。 見学者数の回復を図るため、町観光協会などと連携して旅行会社や学校団体に対する見学方法などの情報発信を強化する。 また、各見学団体のニーズに応える見学行程の設定を進める。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 過去(R1～R3年度)の実績を勘案して設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	R5成果目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数:8人 ・事前学習及び本研修を実施後、報告会を開催し、報告書を作成する。	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童:90%	【今後のスケジュール】 ・本事業におけるOB会との連携、事後学習の充実を図る。 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催などを実施する。 ・令和4年度は新型コロナウイルス感染に注意を払いつつ、県外研修を行った。学級閉鎖の子どもたちにはリモート研修を実施した。今後も平和学習のための現地訪問を基本としつつ、状況に応じ、リモート研修を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 児童の平和等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。
5	3	伝統芸能保存育成事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承を図るため自治会への道具・衣装・楽器・面具などの購入や修繕に対して補助金を交付する。	伝統芸能保存育成補助(2件)	補助団体による伝統芸能上演等回数 34回	【今後のスケジュール】 今後も伝統芸能の保存継承を推進するため、自治会を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	4	民俗芸能交流会開催事業	H26 ～ R13	町内各地にある伝統芸能を披露する場、他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため南風原町民俗芸能交流会を行う。	第29回民俗芸能交流会の開催	出演:6字12演目 参加者数(出演・来客):450人	【今後のスケジュール】 令和7年:第30回民俗芸能交流会開催 令和9年:第31回民俗芸能交流会開催 令和11年:第32回民俗芸能交流会開催 令和13年:第33回民俗芸能交流会開催	【R5成果目標設定の考え方】 町内には民俗芸能保存会がある字が9字あるが、前回は4字の出演にとどまっていたため、R5年度は過半数の字が出演、交流することを目標として設定した。 参加者数は、会場となる南風原町立中央公民館黄金ホール(約1000人)の収容人数で設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	5	資料の公開活用事業	H24 ～ R11	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料等をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	民具、文書資料等整理500点	資料約500点のデータベース化完了	<p>【R7年度成果目標】 資料公開システム活用開始のデジタルアーカイブについて資料を公開し、関心を持ってもらうことで、南風原文化センター来館者数(壕見学者含む)を合計28,000人とする。</p> <p>【今後のスケジュール】 令和6年度に資料公開システムを導入し、平行して資料のデジタル化を進め、デジタルアーカイブとして保存・公開する。</p> <p>R06:資料公開システムの導入、図書資料整理 R07:資料公開システムの活用、民具等・図書資料の公開、図書資料整理 R08:登録完了資料の随時公開、写真・レコード資料整理・権利確認 R09:登録完了資料の随時公開、写真・レコード資料整理・権利確認 R10:登録完了資料の随時公開、写真・レコード資料整理・権利確認 R11:登録完了資料の随時公開、写真・レコード資料整理・権利確認</p>	<p>【R7成果目標設定の考え方】 デジタルアーカイブを開覧し、歴史学習を行うことで、本町の歴史・文化に関心を持ち、直接南風原文化センターへ訪れるなど、歴史の継承及び観光誘客につながることを考えると考え設定した。 指標は過去の見学者数を参考に、新型コロナウイルス感染症前の状況に回復することを目標に設定した。</p>
6	1	長寿県復活食の応援事業	H25～ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	生活習慣病予防健診の開催 健診結果説明会の開催	中学2年生の継続受診率60%(令和2年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	<p>【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見ていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、60%は本町の特定健診継続受診率を参考値とした。</p>
7	1	南風原町防災情報発信強化事業	R5 ～ R7	災害時に住民や観光客への適確な情報発信として、防災行政無線の屋外子局(スピーカー)の機能向上や増設、複数メディアへの同時配信機能整備等により、被害を最小限に抑える対策を講ずるため、防災行政無線の情報発信強化を行う。	実施設計の策定	実施設計の策定完了	<p>【R8成果目標】 防災行政無線放送を活用した避難等訓練(1回以上/年)を実施</p> <p>【今後のスケジュール】 R5:実施設計委託 R6:整備工事(第1工区) R7:整備工事(第2工区)</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 整備スケジュールと事業の目的に基づき、整備事業完了後の成果目標を設定した。</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	2	防災体制強化事業	H24 ～ R5	大規模災害時における観光客及び町民の安全確保を図るため、災害備蓄品及び資機材等を整備し、地域防災体制強化を行う。	・ポータブル電源:30台 ・避難所用テント:150張 ・防災倉庫整備:1箇所	指定避難所(南風原町総合保健福祉防災センター)及び緊急避難所(自治公民館)への災害用備品の設置完了 ・ポータブル電源:30台 ・避難所用テント:150張 ・防災倉庫整備:1箇所	【R6年度成果目標】 ・整備した避難者用テント等を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する。	【R6成果目標設定の考え方】 整備した避難所用テント及びポータブル電源、防災倉庫の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、避難所用テントを活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、町民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	R5事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ細								
1	①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	・PRツールの制作配布(観光MAP等) ・県内外で行われるイベントでのPR活動(沖縄国際映画祭、ダイビングフェア等) ・広告掲載(観光情報誌掲載) ・外国語スタッフの配置(那覇泊港とまりん)	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・閑散期でも入域客数を安定確保するため、多様な渡嘉敷村の魅力を前面に出したPRを展開する。 ・ポストコロナ時代を見据え、持続可能な観光推進を目指し観光振興実施計画を新たに策定する。	【R5成果目標設定の考え方】 ①過去の実績を勘案して設定した。 ②大多数の観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する	①花木植栽10箇所実施 ②美化清掃10箇所実施 ③渡嘉志久海岸公園支障枝除去作業	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図れたか(80%以上)をふくめ、アンケートにより本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 R13年度まで継続実施し、本村のイメージアップに務める	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する
1	③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会等への支援や、修学旅行等の誘致活動に取組む観光協会及び特産品(お土産品)のPRに取組む商工会への支援を行う。	・各イベントへの支援 ・観光協会への支援 ・商工会への支援	①年間入域観光客数 134,800人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・とかしきまつり 600人 ・とかしきマラソン 890人 ・冬季(11月～3月)20,394人 ②修学旅行受入校数 10校以上/年 ③特産品のブランド化・PR 土産品に特化したサイトやSNSツールの構築 セミナーの実施 マラソンイベントでのPR	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしや入域観光客の平準化を図る。 ・修学旅行等誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。 ・2月実施のマラソン開催時のPRに向け、特産品をブランド化し、知名度の強化を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。R2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のための旅行自粛等による影響により、観光客(修学旅行含む)が通常想定される以上に激減した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	① 水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件 ② 観光客を対象としたアンケートを実施し、安全性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。
2	①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間自動車航送台数 自動車 860台	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(満足度80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後の目標】 離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	【R4成果目標の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として、アンケートを用いて満足度80%以上と設定し、検証する。
2	②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。	年間補助回数 30回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3	①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。 <R5取組> 配置人数 村立小学校2校に各2名、計4名	渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣 阿波連小学校へ支援員を2名派遣	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+7.9ポイント以上	児童の学力向上及び離島の教育環境の改善を図る。	R2年度の沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率と村の平均正答率を比べ、その差をR5年度成果目標に設定。
3	②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。 <補助概要> 対象経費:交通費、宿泊費等 自己負担:一律2千円/回	島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	保護者へアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったと考える保護者80%以上を成果目標に設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。	オンライン学習塾の開校 小学5年(国語・算数)76授業 小学6年(国語・算数)76授業 中学1年(数学・英語)76授業 中学2年(数学・英語)76授業 中学3年(数学・英語・国語)177授業	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。 中学3年生は、志望校合格率80%	オンライン塾の実施継続を行い、児童生徒の学力向上を図る。	オンライン学習塾を継続し、全国平均との差を縮小する。
4	①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業(農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール)、観光(自然を感じられる散策コースとしてアピール)、環境(動植物保護のための保全活動)の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	・島の玄関口にあたる農村公園の1帯の草刈作業及びその周辺の農道の草刈り作業。	村民・観光客へのアンケート 農環境が改善した80%以上	【今後のスケジュール】 ■農村公園1帯の草刈作業及びその周辺の農道の草刈り作業の継続。	【R5成果目標の考え方】 対象者のうち半数以上が農環境の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①	渡嘉敷村防災体制強化事業	R5 ～ R6	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するために、災害情報や避難情報伝達を様々な手段(メディア)で発信できるよう防災行政無線の機能強化を行い、村の防災体制の向上を図ります。	デジタル防災行政無線システムの機能強化	複数メディア配信装置(防災CMS)の導入	【R6成果目標】 ・避難訓練時に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上	当該年度の整備が年度末に終了予定の為成果の確認ができないため、今年度は導入までを成果目標とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	<p>村内の指定3ビーチにおいて、観光客の増加する4月上旬から11月中旬の期間、水難事故防止及び安全確保を図るため、ライフセーバー等を配置する。</p> <p>また、ビーチ周辺の危険箇所や無人島のパトロールも併せて行う。</p>	<p>①村内3ビーチヘライフセーバー員等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ビーチ2名配置 ・GW期間中、梅雨明け以降から8/31までは1名増員 ・7/1～8/31の最繁忙期は更に1名増員 <p>②ビーチ周辺の危険箇所(座間味シル、阿真シル)及び無人島(安慶名敷島、嘉比島)のパトロール</p>	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>ライフセーバー人材の確保と水難救助講習会による人材育成に努め、より安全な海水浴場づくりに注力する。</p>	<p>【R5成果目標の考え方】</p> <p>水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、引き続き村指定の3ビーチにライフセーバーを配置し水難死亡事故0件を目指す。</p>
1	②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	<p>観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともに、PR素材を活用した県内外へのプロモーション施策展開を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント実行委員会への補助金交付 ・PR素材を活用したプロモーション 	入域観光客数112,000人	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>一層の入域増につなげるよう、イベント内容を改善しながら、実施してゆく。またPR素材を上手く活用したプロモーション施策を展開していく。</p>	<p>【R5成果目標の考え方】</p> <p>観光客数が国立公園指定当時ほどの増加率で推移しないが、数のみならずリピーターづくりに努める。</p>
1	③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	<p>観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光誘客活動年5回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 4回 心肺蘇生講習会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。</p>	<p>【R5成果目標の考え方】</p> <p>大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。</p>
1	④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R6	<p>平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や石碑等の周辺環境整備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・躑躅の塔、昭和自衛隊の碑、集団自決の碑の周辺環境整備工事/施工管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・躑躅の塔、昭和自衛隊の碑、集団自決の碑の周辺環境整備工事/施工管理の完了 	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>R5: ・躑躅の塔、昭和自衛隊の碑、集団自決の碑の周辺環境整備工事/施工管理</p> <p>【R6成果目標】 修学旅行学校数 5校し方)</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】</p> <p>コロナ前の修学旅行実績を参考に設定を検討したが、コロナ禍で近年修学旅行の受入れがほとんど無かった為、誘致しなす意味で5校と設定。</p> <p>R1→3校 R2→0校 R3→1校 R4→1校</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	座間味港緑地公園照明設備更新工事業	R4 ～ R5	村内をはじめ、県内又は県外のスポーツ団体を誘致し、地域のスポーツ振興、活性化を図るため、本村既存の緑地公園グラウンドの照明設備の設置工事を行う。	設置工事の実施	設置工事の完了	【今後のスケジュール】 R5年度に設置工事を実施 利用団体数の増加を図るためのイベントの企画または村内外の団体への周知、PRを行う。	【R6成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 利用団体数 5団体以上 イベント数 3回以上 【今後のスケジュール】 R5: 既存設備撤去、LED投光器設置 R6: 供用開始
2	①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 利用者アンケート内容も参考に運航会社へ機材の追加導入や予約時の利便性向上を求めている。	【R5成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
2	②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	車両航送運賃の低減化支援	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のため、経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで、定住を促す。 本事業について住民がどの程度継続を希望しているかも含めて、アンケート分析を行う。	【R5成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
2	③	座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業	R4 ～ R6	観光客誘客を図り、観光客の増加＝旅客の増加により、村民の生活に欠かすことの出来ない航路事業の安定化を図るため、冬季(1月～3月)の閑散期における那覇発の船舶運賃を低減化する実証実験を行う。	冬季(1月～3月)における船舶運賃低減化	1月～3月旅客数: 8,000名以上 1月～3月上: 34百万円以上名以上	【今後のスケジュール】 R4～R6年度までの3年間実証実験を行い、実証結果に基づき料金等の設定を行い、観光客の平準化、航路事業の安定化を図る。	【R5成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	④	座間味村大型2種免許取得助成事業	R4～R5	座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数である為、今後のバス運行を続けるために運転手の確保が喫緊の課題である。 免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行い、運転手不足の解消、雇用拡大に繋げ、住民ならびに観光客の交通手段の確保、観光客の利用拡大、公共交通の安全性確保を図る。	大型2種運転免許取得者への取得費用の一部助成、 取得期間の宿泊費用、交通費、船舶運賃の全額助成	助成人数:10名	【今後のスケジュール】 今後の村営バス運転手を確保し、住民ならびに観光客の交通手段の確保、夏場のピーク時における観光客の利用促進、来島者の利用増加に繋がるよう取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 10名分の取得費用一部助成 10名分の船舶運賃、宿泊費、交通費の全額助成

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路を中心に美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 拝所：約90箇所 アクセス道路：13路線 (およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線 (およびアクセス道路に接続するサブアクセス道路) 上記を中心とした村内全域	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R13	観光プロモーション活動を通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、認知度の向上及び観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催や観光PR活動及び広報周知活動を実施する。	①イベント開催【アの国まつり】 1回(2日間) ②広報周知活動【フェア出展】 1回(3日間)	①イベント開催【アの国まつり】 ・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:50人 (むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数:112人(2日間) ・粟国村観光PR活動の実施 ②広報周知活動【フェア出展】 ・フェア全体での来場客数(3日間で15万人)の1割である15,000人に観光PR用の配布物を提供する。	【今後のスケジュール】 R5年度までにイベントを開催し、観光入客数増加及び定住の促進に向けて、村民との交流型イベントを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	ハブ対策事業	R2 ～ R13	ハブ捕獲・駆除を行うことにより、地域住民や観光客の安心安全が確保され、観光振興と安全な生活条件の整備を図る。	・作業員の配置(2人) ・捕獲器の設置・見廻り(130基) ・捕獲器の追加設置(30基)	・ハブ咬傷被害:0件	【今後のスケジュール】 個体数の減と咬傷被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客地域住民の安全安心を確保する。	【R5成果目標の考え方】 令和2年度から当該事業を開始し、車両購入、捕獲器130基を購入し設置した。令和4年4月から11月現在まで110匹のハブが捕獲された。引き続きハブ駆除を積極的に行い、離島である本村の特色的な自然環境、歴史、文化などの資源を活用した着地型観光を促進するためにも、個体数の減と咬傷被害ゼロを目指す。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

栗国村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	①	国際交流支援事業	H27 ～ R13	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。	海外ホームステイ生徒派遣10人 報告書作成 20部	【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(80%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検)	【今後のスケジュール】 派遣予定者は10名。 【成果目標①】 帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」(80%以上)を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者の増加(生徒の70%以上が受検)	【R5成果目標設定の考え方】 【成果目標①】 大多数の生徒が「授業等への取組姿勢などが向上した」及び大多数の保護者が「国際的な視野が広まった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【成果目標②】 英語検定受験者増加については、過去の実績を勘案して設定した。
2	②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	5月から翌年3月まで月50コマの村営塾の実施	【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査での県平均値以上 【成果目標②】 対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」(80%以上)を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 【成果目標①】 沖縄県学力到達度調査で県平均を上回る状況を継続する。 【成果目標②】 アンケートの結果、対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上した」と答えた割合が80%以上	【R5成果目標設定の考え方】 県到達度調査結果の過去の実績を勘案して設定した。また、アンケートについては、令和5年度より実施。
2	③	児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加への参加の支援	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を継続し児童生徒の生きる力を育む。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	栗国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	栗国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	栗国村への観光入域者数:3,300人以上	【今後のスケジュール】 第四次栗国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R5成果目標の考え方】 第四次栗国村総合計画に基づき、設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ~ R13	粟国⇄那覇間の車両航送利用者に対して往復運賃の半減補助を行う。	自動車航送運賃を低減するための支援実施	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減し、住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める	【R5成果目標設定の考え方】 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	粟国村墓地周辺環境整備事業	R4 ~ R7	墓地周辺整備に必要な基本設計及び実施設計を行う。	粟国村墓地周辺環境整備の基本設計及び実施設計を完了する。	粟国村墓地周辺環境整備の基本設計及び実施設計の完了	【R8年度成果目標】 墓利用者へのアンケートにて「粟国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	【R8成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数「粟国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備が図られたか」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
##	④	粟国村交通移動手段低減化対策事業	R5 ~ R13	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの運賃を一部支援する。	那覇泊港～粟国港間の乗船運賃を一部補助する。	・フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 フェリーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑤	離島航空路チャーター運航支援事業	R5 ~ R13	那覇・粟国間航空路線の確保・維持により定住条件の整備を図るため、村民の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、県と協調して補助を行う。	那覇・粟国間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助	那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	【今後のスケジュール】 那覇⇄粟国間航空路線の確保・維持	【R5成果目標設定の考え方】 事業の目的から、事業終了後も継続運航し、本村の航空路が確保・維持されていることを成果目標として設定した。
4	①	和牛改良支援事業	H25 ~ R8	本村畜産業の振興を図るため、県内外から母牛となる素牛としての優良雌牛の導入をして、付加価値の高い子牛の生産ができるよう支援する	優良雌子牛導入10頭	優良雌子牛導入10頭	【今後のスケジュール】 現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%(-22%)なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%	【R5成果目標設定の考え方】 現在の島産の子牛のセリにおける平均価格は南部地区に比べ78%(-22%)なので、計画期間の5年間に導入した雌子牛の平均価格を南部地区比率100%にするため1年ごとの改善を+4.4%とし成果目標とする。 ▼導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 【2024年】104.4% 【2025年】108.8% 【2026年】113.2% 【2027年】117.6% 【2028年】122.0%

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	② 粟国島農業活性化事業	R5 ～ R13	干ばつ時の灌水対策や台風の追加後の塩害対策を行う為、散水車輛2台リースする。 【散水車使用時期(8カ月間)】 ①サトウキビ春植え:3月～6月 ②サトウキビ夏植え:8月～11月 ③もちきび種まき :2月～3月 ④タマネギその他の野菜:12月～1月 ⑤牛飲み水の運搬:12カ月間	4t散水車輛2台リース	サトウキビ:1,890トン以上 もちきび:3,175kg以上	【今後のスケジュール】 粟国村における農産物の増産に取り組む。 サトウキビ:1,890トン以上 もちきび:3,175kg以上	【R5成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
パ	細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地や集落内などの緑化及び美化活動の実施	指定箇所の実施	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		
2	①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数35回	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R5年度:35回	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が事業の目的である利便性が確保されていると感じたか考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。	検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。	集団検診受診率33.3%以上。	【今後のスケジュール】 引き続きR5年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。
1	②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率。100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげ、受診者の負担軽減を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。
1	④	遠隔離島定住促進住宅整備事業	R5 ～ R6	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	住宅用地・ユニット等設計・基礎工事・ユニット製作・海上輸送	住宅用地・基本設計・建築工事・住宅(ユニットハウス)を取得完了(4世帯)。	【今後のスケジュール】 R6年度から島外より移住者の住宅としての活用。(移住者数 4名)	
2	①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 11カ所、アクセス道路 3カ所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃を行い、観光地の景観と魅力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	第2次南大東村観光振興計画事業	R5 ～ R5	本村の観光振興を推進するため、南大東村観光振興計画改定・観光危機管理計画策定を行う。	観光振興計画改訂	観光振興計画改訂完了。	【R5成果目標】 策定する観光振興計画の中で、入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R5 観光振興計画改訂	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けた観光振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R5成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	循環型農業推進事業 (土壌改良材製造施設整備事業)	R4 ～ R6	製造施設整備の実施設設計・施設の運用および実証試験による土壌改良の効果を検証。また、汚泥等による水質改善および汚泥等混合による土壌の実態調査の検証。	土壌改良材製造施設整備のための実施設設計、土壌改良資材投入による改善実証および汚泥除去等による水質改善実証検証。	土壌改良資材の実証試験検証および施設の実施設設計、自然池の汚泥等混合による実態調査検証。	【R9成果目標】 サトウキビ生産量5%増	【R9成果目標設定の考え方】 本村のさとうきび増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。
4	②	南大東村水産業振興計画策定事業	R5 ～ R5	水産業振興計画策定に向けた調査の実施、現状分析及び課題抽出、具体的解決策の検討・策定	水産業振興計画の策定	水産業振興計画の策定完了	漁獲量:150t(R9年度) 水産加工売上高:3,600千円(R9年度)	漁獲量及び水産売上高は以下の数値を参考に設定した。 南大東村総合計画
5	①	文化の継承と観光の拠点機能強化整備事業	R5 ～ R6	訪問者が歴史文化を学ぶスペースや滞在型観光にむけた整備計画及び歴史資料のデジタル化や新たな展示物の検討または配置計画を行う。	基本計画(案)の策定	基本計画(案)の策定完了	【R7成果目標】 年間利用客数 3,000～6,000人 【今後のスケジュール】 R7: 設備設置委託業務 R8: 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。
6	①	南大東村ビジターセンター施設機能強化事業	R5 ～ R7	天然記念物及び島の貴重な資料を損失リスクから守る対処案と、誰もが容易に施設内を観覧できる改善案をまとめ、島の特色を活かした観光資源の活用等を計画する。	基本計画(案)の策定	基本計画(案)の策定完了	【R8成果目標】 年間利用客数 3,000～6,000人 【今後のスケジュール】 R6: 設備設計委託業務 図鑑編集委託業務 R7: 整備工事 R8: 供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 総合戦略の実績及び目標を参考に設定した。
7	①	南大東離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5 ～ R5	離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。	南大東村民等の交通コスト負担軽減の実施	・離島航空路線を維持するために、渡航運賃低減化を図り、負担軽減された離島住民の率:100%	【今後のスケジュール】 ・離島住民に係る航路及び航空路の運賃を継続的に低減することにより、離島地域の定住条件を整備し、地域における活力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 定住条件の厳しい離島で継続的に定住促進が図られる環境を提供することを目標として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:3,000m(10箇所) ・作業員配置4名 ・重機による作業2回	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ～ R13	伝統文化である大東太鼓の担い手を育成・確保し、魅力を積極的に発信することによって観光誘客を図るため、島外の文化交流イベント等に参加する演者の渡航費を補助する。	・文化交流イベントの開催:4回(県内:1回)	・島の観光入客者数:1,100人以上	【今後のスケジュール】 ・文化資源の担い手育成と他団体との文化交流事業を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消するため、村営塾を開講し、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・学習支援員(塾講師)配置:1名 ・東大生によるオンライン双方向授業:授業数66授業/年、講師10名	・令和5年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方向授業等を実施し児童生徒の学力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	保護者の育児への負担感を軽減するため、認定こども園に支援員を配置する。	・認定こども園支援員配置:6名	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・認定こども園への支援員配置を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことにより児童・生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外へのスポーツや交流学習に参加する児童・生徒に対し渡航費の補助を行う。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持たれたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	<p>特定重病患者等の健康を守るため、島内に対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行う。</p> <p>また、村民の心身の健康に関する不安を解消するため、専門医療従事者を招聘し、相談や検診等を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特定重病患者等の検診助成の実施 専門医療従事者の招聘 	<ul style="list-style-type: none"> 渡航費支援が必要な人への支援率：100% 心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定重病患者等の検診の際の渡航費・滞在費助成を継続する。 専門医療従事者招聘のための渡航費・滞在費助成を継続する。 	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>島では対応できない専門治療等を受けなければならない人全員が中断することなく受診できる環境を提供することを目標として設定した。</p>
4	①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	<p>北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備(伐採・植栽)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 村一周海岸道路の植樹環境整備工事の実施：300m 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 村特有の岩礁や風景を活かした景観形成を行う事で、観光客の誘致、観光産業の振興に繋げる。 	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
5	①	土づくり推進事業	R3 ～ R13	<p>大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土壌カルテ作成(40圃場) 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌カルテ作成(40圃場) 	<p>【R8成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物生産量 34,157t以上 <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> R5: 土壌カルテ作成 R6: 土壌改善 R7: 改善土壌への作付 R7-8: 改善土壌での収穫 R9: R7-8の生産量確定値 	<p>【R8成果目標の考え方】</p> <p>直近7年中最大及び最小を除いた5年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。</p>
6	①	北大東離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5	<p>離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北大東村民等の交通コスト負担軽減の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人への支援率：100% 	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 離島航空路線を維持するために、負担軽減支援が必要な人へ支援することにより、離島地域の定住条件を整備し、地域における活力向上を図る。 	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>定住条件の厳しい離島で負担軽減支援を実施することにより定住促進が図られる環境を提供することを目標として設定した。</p>
7	①	緊急車両(消防車)導入事業	R3 ～ R5	<p>緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 緊急車両(消防車)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急車両(消防車)の導入 	<p>【R6成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防訓練の実施 6回 <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> R5: 緊急車両(消防車)の導入 R6: 供用開始 	<p>【R6成果目標の考え方】</p> <p>消防団による災害対応訓練や防災避難訓練等での利活用を通じ防災体制の向上を図るために設定した。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	R5事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ 細								
8	①	避難所強化事業	R4 ～ R5	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。	・各種避難所の雨戸設置等	・避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ・避難所の安全性向上を行うことで、離島における安心な暮らしを充実させ定住促進を図る。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が避難所の安全性が向上されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約200名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるように地域(各戸別訪問)を継続的に実施 ・年間受入観光客数 延べ800人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 1,107人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績(H30/R4見込み)を勘案して設定した。
1	②	観光地等イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。 観光地：15カ所 アクセス道路：10路線	アンケート調査により、観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じる回答80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R5年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R14	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業8件 ・補助事業3件 ・イベント参加支援1件	村内入域観光客数 18,044人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い観光誘客を図る。	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	病害虫防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチューブ)設置:160ha	・さとうきびの生産量 5,060トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日以内	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて子牛のブランド化を推進するため、引き続き優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	①	伝統文化継承支援事業	H25 ～ R13	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催(毎月第3水曜日) ・各支部・団体への支援(6団体) ・ 島外芸能公演の開催出演	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③ 来場者数 300名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望ももち、継続して後継者を育成する。 今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 1名 ・学習支援員の配置 3名	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -0.3ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -7.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R5年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 ・イングリッシュキャンプ開催 30名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R5年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R5年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3	⑤	キャリア教育支援事業	H26 ～ R14	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・外部講師を招聘しての授業の実施 ・村内での産業学習の実施 ・本島への職場体験(マナー講座の実施) ・職場体験を通じた発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(60%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R5年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑥	福祉従事者人材育成事業	R4 ～ R6	本村の福祉人材を確保・育成するため、研修を実施する。	村内、村外での各種研修の実施	・村内外での福祉人材育成確保研修の完了 ・福祉人材3名以上	【今後のスケジュール】 ・受講生の実務研修のための島外介護施設での研修旅費 ・介護支援専門員資格取得に向けての諸般準備	【R5年度成果目標の考え方】 福祉人材を計画実施年度毎3名以上

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑦	琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業	R5 ～ R7	離島間連携・交流活性化、関係人口増加。風土・環境の資源を軸にした広域への配信により今後の交流・観光および定住促進事業の推進力とする。	調査結果を活かした出版物の刊行、展示の実施	調査委託の完了 展示会の実施	<p>【R6成果目標】 計画策定後1年目(令和6年度)の成果目標を以下のとおりとする。 出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったか(70%)、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 3年間の継続事業により下記を目指す。 ・出版刊行のシリーズ化 ・交流事業の実施、参加者の増加 ・展示参加または実施数の増加 ・馬や船を用いた観光・交流アクティビティの増加数 ・島留学、エコツアー参加者の増加数 ・滞在研究・制作事業の促進</p>	【R6年度以降成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な風土環境の価値を実感し、関わりを持ち来島する機会を促進する値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	嘱託保育士配置 2名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に預かり保育を実施し、保護者の育児における負担の軽減を図る。</p>	【R5年度成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が育児における負担感が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
4	②	適正飼養推進事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた普及・啓発活動の取組を行う。	・避妊去勢手術3回/年	・避妊去勢手術実施済猫50頭以上	<p>【今後のスケジュール】 R6～R8 野良猫や野猫の捕獲および捕獲後の猫の対処(避妊・去勢手術助成)などを実施</p>	【R5年度成果目標の考え方】 県内他の自治体でも取組の少ない猫の飼養条例策定並びに制定並びに避妊・去勢手術助成を先導的に行うことで動物にも人にも優しい住環境づくりを行うことを目標とした
4	③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 R5年度:年間6,300台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。</p>	【R5年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	④	公営墓地等整備事業	R4 ～ R7	墓地整備計画を策定する。	墓地整備計画の策定	墓地整備計画の策定完了	<p>【R6成果目標】 墓地行政アンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R6 実施設計作成 R7 墓地整備工事</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケートにより検証し実施設計へ繋げる。</p>
4	⑤	商福連携環境整備事業	R5 ～ R5	地域住民や移住・定住者等の起業支援策として、多用途に使用可能な特産品の生産、製造拠点を整備し、産業の育成による雇用の場を創出する	多用途活用施設の機能強化	村内入域観光客数 18,044人以上 心身的弱者の延べ就労数 4名	<p>【今後のスケジュール】 ・特産品を活かした自立促進支援を実施し、就労者の受入、特産品の販売（PB製造・販売ルート開拓・ネット販売・店頭販売）等、産業の育成による雇用の場の創出を図る。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 地域住民や移住・定住者等の起業支援策として、多用途に使用可能な特産品の生産による産業の育成・雇用の場を創出し定住環境の確保を図る。</p>

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	花木の植栽及び肥培管理 16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃 16カ所	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	いげな尚円王まつり支援事業	H24 ～ R13	いげな尚円王まつり開催支援	いげな尚円王まつりの開催	来場者数 2,475人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にまつりを開催し、観光誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	③	いげな88トライアスロン大会支援事業	H24 ～ R13	いげな88トライアスロン大会支援	いげな88トライアスロン大会開催	大会参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 大会参加者が満足することで本村の魅力が伝わり、観光誘客が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより満足度を検証する。
1	④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R6	観光誘客を図るため、尚円王の血族に関わる旧蔵品の修復を行う。	旧蔵品の修復を完了	旧蔵品(復元資料)を活用した祭時への	【今後のスケジュール】 旧蔵品を活用した公事清明祭を開催し、広く観光誘客に努める。	【R5成果目標設定の考え方】 復元された旧蔵品を使用する公事清明祭への来場者数:80人(目標値)
1	⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	大会内訳 ・ドラッグレース:2回 ・ジムカーナ:1回	来場者数 754人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に大会を開催し、観光誘客を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑧	伊是名村海岸環境整備事業	R3 ～ R7	地域資源を活かした心安らく魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備事業における整備工事の完了	伊是名海岸環境整備事業における整備工事の完了	【今後のスケジュール】 R5 整備工事 R6 整備工事 R7 整備工事 R8 供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 供用開始1年目(令和8年度) 年間観光入客数 36,071人 上記の数値は過去の実績を勘案し設定した。
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復運賃(伊是名⇄運天港)の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図れたかを含めアンケートにより本事業のあり方を検証するものとした。
2	②	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R5	Uターン・リターンによる移住者の定住促進を図るため。	建築工事(勢理客地区)を行う。	建築工事(勢理客地区)整備を行う。	【R6成果目標】 勢理客地区:3世帯(1号棟、3戸) 【今後のスケジュール】 R5: 建築工事(勢理客地区)	【R6成果目標設定の考え方】 建築後、供用開始から3世帯ずつ入居することで定住促進が図られていると判断し設定した。
3	①	人材育成事業 (日高小との交流事業)	H24 ～ R13	伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	日高小学校との交流・体験学習の実施 派遣者 ・伊是名小学校6年生:20人 ・引率者:5人	・児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ・保護者へのアンケートを行い、県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	【今後のスケジュール】 これまでの事業内容を精査し、より効果的な事業展開を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 保護者へのアンケートを実施し、結果から事業のあり方について検証する。
3	②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:8団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外教育活動の支援を行い人材育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験及び交流ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負担軽減を図る。	保育士の雇用:2名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担軽減が図ることができたか(80%以上)を含め当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担軽減を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	④	学習支援事業	H24 ～ R13	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:4人	平成29年度～令和3年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -11.6ポイント以上 中学校 -4.9ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 R3年度までの過去5年間の実績を踏まえて設定した。
4	①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量の増加を図るため、圃場に堆肥の散布を行う。	堆肥導入数量 : 2,000t	さとうきびの単収 : 6,600kg	【今後のスケジュール】 継続的に堆肥を導入し、連年散布による生産物の増量を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 令和3年度伊是名島さとうきび増産プロジェクト会議において決定した。目標単収を設定。
4	②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	除礫作業・作土供用開始	除礫処理量:7,450m ³	作土造成量:13,410t	R5～R8 除礫・供用開始 年間作土造成:13,410t	【成果目標の設定】 機械処理能力×土の体積重量より算出した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	R5導入目標:70頭	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:106%以上	【今後のスケジュール】 今後は優良雌牛導入牛から生まれた子牛の一部を母牛候補として積極的に保留する取り組みを実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	物産展等への出展 呉服店(問屋)へのセールス 試作品製作(子供用着物) アドバイザーの招聘	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,446万円以上 ②小物売上額 1,174万円以上	【今後のスケジュール】 久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	県内外での物産展開催、出展(5回)	開催、出展した物産展における島特産品の販売額:1,932万円以上	【今後のスケジュール】 島特産品の売上増加を図るため、県内外で開催される物産展へ出展する事業所を支援する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒へキャリア教育等を実施する。	・ジョブシャドウイング(小) ・インターンシップ(高) ・職場体験(中) ・職業人講話(小中高) ・職業体験型イベント(わくわくワーク)(小) ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施	①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(80%以上)」により本事業の効果を検証する。 ②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(65%以上)」により本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 若年層の就業意識の向上を図り、地域に愛着を持ち、島でも魅力のある仕事に就けるという個々の意識改革に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、追跡調査実施することによりより事業の効果が図られる。
2	④	ブランディングサポート事業	R4 ～ R6	本町の島素材を活かした特産品の売上向上を目的に、新商品開発や既存商品のブラッシュアップを含めた、販売戦略手法や経営マネジメントを学べるブランディングセミナーを開催する。	・ブランディング講習会(2回) ・ハンズオン支援(6回) ・商品開発におけるモニター調査(3商品)	特産品売上額:8,349千円以上	【今後のスケジュール】 新商品開発や既存商品のブラッシュアップやブランディング等の経営方法の底上げにより、後年度、事業者の売り上げ増に繋げていく。	【R5成果目標設定の考え方】 第2次久米島町総合計画を基に成果目標を設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	観光誘客促進事業	H26 ～ R13	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのプロモーション活動を行う。観光閑散期に向けた誘客として、チャーター便を確保し入域数の平準化を図る。また観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。	・久米島空港観光案内業務 ・観光広報活動 (久米島観光の日イベント開催、県内イベント3回、県外イベント1回参加) ・離島周遊ツアー便12回就航	・久米島に旅行でいま訪れてみたいと回答した割合(80%以上) ・離島周遊ツアー参加人数2,160人	【今後のスケジュール】 第二次久米島観光振興計画に基づいた観光入域数の目標達成に向けて観光振興施策を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数が観光地として認知されたと考えられる数値として設定した。本事業のあり方についてアンケートにより検証する。また、周遊ツアーへの参加者数は入域観光客数へ繋がる。
3	②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ～ R13	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び、教育旅行誘致強化を行う。	・教育旅行の誘致活動13回 ・教育旅行誘致12校 受入人数1,300人以上	観光体験プログラム売上額(一般)1,853,511円以上 (教育旅行)9,140,653円以上	【今後のスケジュール】 今後も体験プログラムの質の向上や観光関連商品の売上増加を図り、観光閑散期の入域数の底上げを行い平準化を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ～ R13	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	久米島町への観光入域者数:130,000人以上	【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。
3	④	久米島観光ブランディング事業	R4 ～ R6	久米島観光の「ブランド化」を進め、観光資源の高質化と高付加価値化を図るとともに、効率的な情報発信を行う。	・ご当地グルメの開発2品 ・新たな特産品・お土産物の開発2件発信を行う。	一人当たりの観光消費額 R5目標一人当たり 食事・お酒12,851円 お土産・買い物8,329円	【今後のスケジュール】 久米島観光の認知度向上を図り、観光資源を活かした地域ブランドの確立を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に掲げる一人当たりの観光消費額目標値を設定した。
3	⑤	観光地等環境美化強化事業	R5 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化作業を行う。	町内45か所の環境美化作業	観光客に対してアンケートを行い、「魅力的な観光地として景観形成が図られたか」に対して思うと回答した割合が80%以上	【今後のスケジュール】 観光客の動向や自然環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討しながら、継続的に環境美化作業を実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑥	アウトドアツーリズム展開促進事業	R5 ～ R6	新たな旅のスタイルとして注目されるアウトドアツーリズムについて、奥武島キャンプ場を拠点に商品化及び販売促進を行い、久米島観光における新たな付加価値の創出と消費拡大を図る。	アウトドアツーリズム商品開発:5件	奥武島キャンプ場の利用者数 R5:1,000人	【今後のスケジュール】 アウトドアツーリズムを展開することにより、閑散期の誘客促進及び島内で生産された食材を取り入れたサービスの提供することにより、地産地消へつなげていく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑦	離島住民航空運賃負担軽減事業	R5 ~ R5	久米島町民にとって生活路線として必要不可欠である那覇～久米島を結ぶ航空路の運賃が令和5年4月に値上げされることから、激変緩和措置として半年間限定で運賃低減を行い、急激な住民負担の増を抑制することで、定住環境の整備を図る。	航空運賃値上分割引率:町230円	負担軽減された離島住民の利用者数:40,000人以上	【今後のスケジュール】 原料価格高騰による影響を見極めながら県と連携を図り、離島住民の定住条件を整備する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	⑧	持続可能な観光地域づくり戦略検討事業	R5	観光消費額の向上や滞在日数の延長など多彩かつ質の高い観光産業の構築のため、第3次久米島町観光振興基本計画(計画期間:令和6年～令和10年)を策定し、着実かつ計画的に施策を展開する。	第3次久米島町観光振興基本計画の策定	第3次久米島町観光振興基本計画の策定完了	【R8成果目標】 観光消費額や滞在日数、町民の満足度等の指標を設定する 【今後のスケジュール】 R5:計画策定 R6~:計画開始、施策展開	【R8成果目標設定の考え方】 R5に策定する計画の中で調査・検討し設定する
3	⑨	スポーツコンベンション推進事業	R5 ~ R13	野球場及び多目的運動場の土・芝生等をプロ野球チームに求められる水準に整備することにより、スポーツキャンプ・合宿のより一層の誘致を図る。	野球場、多目的運動場の高品質(透水性・硬度・均一性等)な土・芝生の整備・管理	スポーツキャンプ、合宿受入件数:10件	【今後のスケジュール】 競技団体からキャンプ・合宿地として選ばれる競技環境を整備し、キャンプ・合宿の継続的な誘致を目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	①	島外保育士確保対策事業	R3 ~ R13	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	・保育施設へ就労体験9人 ・島外保育士の渡航費、転居費の支援 県外2人、県内3人	待機児童数 0人/R5.4.1時点	【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績から設定した。
4	②	自主防災組織強化推進事業	R5 ~ R5	高齢化や人口減少に伴い、車両・消防機械の取扱いが困難となっている遠隔地域に、消防用資機材を整備し、自主防災組織の機能強化を図る。	格納箱・消防用資機材の設置:12カ所	格納箱・消防用資機材の設置の完了	【R6成果目標】 資機材の操作性及び利便性が向上されたと回答された割合(80%以上)を含め、訓練参加者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 訓練回数の充実。ホース延長訓練・消火訓練をとおして、迅速かつ安全な消火作業の実施。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が資機材を使用したことにより操作性や利便性が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	①	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	小中学生の英語への興味・関心を高めるため、小中学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	・管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が-3ポイント	【今後のスケジュール】 今後も、英語指導員を配置し、外国語授業等の支援に取り組むことで、小中学生の英語への興味関心を高める。	【R5成果目標設定の考え方】 ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。
5	②	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ R13	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+6点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+7点以上	【今後のスケジュール】 今後も、学習未定着児を対象とし個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、児童の学力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	③	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(89%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5	④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、大会等に参加した生徒とその保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 派遣旅費の補助により多くの生徒に派遣機会をもたらす。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。 また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
5	⑤	小中アシスト相談員事業	R4 ～ R13	小中アシスト相談員を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行為の早期対応、改善に取り組む、不登校者数減少を図る。	小中アシスト相談員を2名配置し、登校支援を実施	不登校者数減少率6% 不登校者数計20人 小学校4人(R4年10月時点) 中学校16人(R4年10月時点)	【今後のスケジュール】 いじめの積極的な認知を図り、新規不登校者を抑えながら、不登校児童生徒の登校支援を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 長期的な心のケアが必要であることから、年2名以上の登校復帰を目指す。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5	⑥	ホームステイ等派遣事業	R5 ～ R13	沖縄県の次世代を担う若者の語学力の向上や異文化理解を目的に、海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通じた英語の実践機会を提供する。	①海外ホームステイ派遣の実施:2名 ②島内在住外国人との交流:12名	・国際的な視野が広がった生徒の割合:80%以上 ・英語に対する学習意欲向上生徒の割合:85%以上	【今後のスケジュール】 海外ホームステイ、島内在住外国人との交流を通して語学力向上ならびに異文化理解を深め、国際社会において主体的に行動できる人材を育成する。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の在り方をアンケートにて検証し、英語に対する学習意欲の向上や異文化理解が深まったかと考えられる値を設定した。
5	⑦	久米島現代版組踊り推進事業	H24 ～ R13	久米島の歴史的遺産を題材に、沖縄に古くから伝わる古典芸能「組踊り」をベースに、琉舞、エイサー、空手、獅子舞、棒術等の民俗芸能の要素を取り入れたミュージカル的な現代版組踊りの舞台公演を通して地域の誇りを醸成し、地域活性化を図る。	・若い世代(小中高生)による現代版組踊り公演(出演者数:35名)2公演 ・各種イベント出演6回	舞台公演の入場者へのアンケートで、歴史や文化に対する興味関心が高まった割合(80%以上)	【今後のスケジュール】 シナリオを変更し、小中高生による現代版組踊公演を続けていく。	【R5成果目標設定の考え方】 本事業の在り方をアンケートにて検証し、大多数の方が島の歴史を伝えられたと考えられる値を設定した。
5	⑧	学校ICT活用支援事業	R5 ～ R13	児童生徒の学力、情報活用能力の向上を図るため、教職員によるICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるようICT支援員を配置する。また、授業をさらに効果的なものにするために電子黒板等のICT機器を整備する。	・町内8小中学校にICT支援員1名を配置する。 ・町内8小中学校に電子黒板等のICT機器整備する。	ICT活用により授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 ・GIGAスクール構想の推進や、児童生徒の情報活用能力の育成のため、次年度以降も継続してICT支援員を配置する。 ・電子黒板等のICT機器を整備し、より効果的な授業を展開するために活用する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ～ R13	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手:5人配置 小学校4校:3人配置し分担 中学校2校:2人配置	①小学校 対象児童へのアンケート調査により「英語に対する興味・関心が高まった」の割合:80%以上 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差平均以上	【今後のスケジュール】 小学生、中学生の児童生徒に外国語にふれ合う機会を与える。 ・英語興味・関心アンケート調査の実施・話すこと、書くこと、コミュニケーション能力の定着を図る	【R5成果目標設定の考え方】 英語に対する興味・関心度をアンケートにより数値化し、学力到達度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることによって本事業のあり方を検証する。
1	②	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員:3人配置 小学校4校・中学校2校:3人配置(分担)	対象児童生徒へのアンケート調査により「ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか」の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	③	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員:6人配置 小学校4校:4人配置 中学校2校:2人配置	沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) 平均以上 中学校(国語・数学) +4.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も同様な人数の確保及び増員をし、引き続き支援体制を維持し基礎学力の定着を図り、全体の底上げを目指す。	【R5成果目標設定の考え方】 学力達成度テストにより本町と本県の児童の学力の差を計ることによって本事業のあり方を検証する。
1	④	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員:18人配置 小学校4校:15人配置 中学校2校:3人配置	保護者に対するアンケートにより「特別支援員の対応に満足した」と考える割合:80%	【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	H26 ～ R6	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図るため、町内小中学校にICT機器を整備する。	ICT機器の整備 ・電子黒板40台 ・電子黒板用PC40台	児童生徒へのアンケートによりICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑥	八重瀬町学力調査等事業	R5 ～ R13	学力調査等を実施することにより、生徒の学力や学習状況を把握し、課題の明確化及び分析、検証することで、学習習慣を確立し、生徒の更なる学力向上に繋げる。	町内中学校(2校)の生徒を対象に学力調査を実施する。 ・八重瀬町共通テスト(中学1年～3年)(国語・数学・英語・理科・社会) ※2学期の定期テストとして位置づけ、成績・評価の対象とし、生徒の所属学校の成績の把握だけではなく、町内中学校の中で達成状況をもとめることで、学習の定着度を図る。 ・中学3年生学力調査(国語・数学・英語・理科・社会) ※高校入試に向けて、全県的な視点に立って自分自身の習熟度を客観的に把握するために行う。	沖縄県学力到達度調査における県と本町との平均正答率の差 ・八重瀬町共通テスト(中学1年～3年)(国語・数学・英語・理科・社会)+3ポイント以上 県内実施市町村の平均と本町との平均正答率の差 ・中学3年生(国語・数学・英語・理科・社会)+3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後は学力調査の結果を整理・分析することで個々の学力を把握し、教育指導の充実や学習状況の改善策につなげ、生徒の更なる学力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 学力到達度テストにおいて過去3カ年の実績を踏まえ目標を設定した。
1	⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R13	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手(児童生徒)の活躍を支援するため、派遣費の助成やスポーツ教室を開催する。	スポーツクリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	①スポーツ教室の保護者へのアンケートで、「スポーツへの意識が更に高まったか」の割合:80%以上 ②県外大会派遣費助成の保護者へのアンケートで、「児童生徒が広い視野を持てたか」の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持たせたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	⑧	八重瀬町国際交流人材育成事業	R5 ～ R13	海外での生活や体験を通して、国際的な視野を持つ人材を育成するため、中学生を海外に派遣する。	・海外短期派遣生徒数 12人	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の国際的な視野が広まった」の回答率100%	今後も情報化・国際化時代を担う人材育成の為、交流事業を実施する。	保護者へのアンケート実施。
1	⑨	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	R4 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外の児童生徒との交流を実施する。	(夏)児童生徒交流者数 12人 (冬)児童生徒交流者数 42人	保護者へのアンケート実施。 「児童生徒の視野が広まった」の回答率100%	今後も今後の沖縄県・八重瀬町を担う人材育成の為、交流事業を実施する。	保護者へのアンケート実施。
2	①	八重瀬町イベント事業	H24 ～ R13	伝統芸能の継承と観光客誘致を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントの開催支援を行い、国内外へ情報を発信することで町内への集客を図る。	①八重瀬町青年エイサー祭りへの補助 ②やえせ桜まつりへの補助 ③まつり実施に係る八重瀬公園の整備(公園前暗渠管設置工事、進入路修繕、駐車場養生委託業務)を行う。	①青年エイサー祭り 13,000人以上 ②やえせ桜まつり 7,400人上	【今後のスケジュール】 引き続き、地域資源を活用したイベントの開催支援を行うとともに、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、観光客の誘致・町産品PRを実施する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地: 13箇所 アクセス道路: 45箇所	観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じている人の割合: 80%	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	③	運動公園施設等整備事業	H25 ～ R13	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・運動公園整備工事及び芝生用肥料及び資材等の購入、資材単価調査、管理用機械の修繕	野球キャンプの受入れ 4件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	④	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R13	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	・プロモーション企画実施 6回以上 ・SNS等による情報発信 100回以上	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。	【R5成果目標の設定の考え方】 R1年度の八重瀬町観光拠点施設の実績に、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいることを勘案し、感染拡大直前のR1年度の実績を設定した。 R1年度実績: 約267,000人
2	⑤	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動場整備事業	R4 ～ R7	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設体育施設を屋内運動場として機能強化改修整備を行い、スポーツツーリズムの推進を図る。	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備実施設計	旧具志頭小学校体育館の屋内運動場リニューアル機能強化整備実施設計完了	【今後のスケジュール】 各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、実施設計書に基づいて旧具志頭小学校体育館を屋内運動場として、機能強化改修整備を行い、各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の受入れを行う。	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値に向けたスポーツツーリズムの推進施策を実施していくことを成果目標として設定した。
2	⑥	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R4 ～ R13	Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド施設において、プロサッカーチームを誘致し、練習拠点として必要な環境整備を行い、サッカーを活用したスポーツツーリズムの推進を図る。	具志頭サッカー場備品購入	来場者数 4,000人 (県外観光客1,450人)	【今後のスケジュール】 今後も継続して観光交流機能であるサッカーグラウンドの整備を行い、プロサッカーチーム等を活用し、県外観光客の誘致を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 平成30年度沖縄県観光統計実態調査より、県外客の南部訪問率が22.1%となっている。目標値として22.2%と設定した。 沖縄県入域観光客目標1,200万人から、南部訪問率の0.1%増率設定より12,000人増加を目標とし、南部市町の人口で按分した数値を八重瀬町の目標とした。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2	⑦	スポーツキャンプ事業	H26 ～ R13	スポーツチームのキャンプを誘致し、観光客を誘致する。	仮設ヤグラの設置 仮設トイレの設置 警備委託 スポーツチームの写真展示	スポーツチームのキャンプ4チーム誘致	【今後のスケジュール】 キャンプチームの定着を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R4 ～ R13	放課後児童児童クラブを利用する非課税、ひとり親世帯に対してひとりにつき月5,000円補助する。	一人につき月5,000円補助する。	就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担軽減の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 非課税世帯、ひとり親世帯保護者が経済的な負担軽減につながったかについてアンケート等により検証し、事業継続を検討する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案し、設定した。	
4	①	農業用機械施設整備事業	H24 ～ R5	沖縄県の基幹産業であるさとうきび生産が県内でも上位の生産量がある。植替え期の深耕(天地返し)や休耕地の再利用を円滑に行うため、油圧ショベルを整備する。	八重瀬町が機械を導入して、具志頭機械銀行へ貸し出し、植替え期に深耕(天地返し)作業や遊休地解消に活用する。	遊休地の解消や植替え期圃場の深耕(天地返し)を行いさとうきび単収増加を図る。	春夏植替え期の促進を促し、さとうきびの生産量の増加を図る。	株出回収4～5年作は、生産量が減少傾向になり植替えすることにより、生産量の増加を図る。	
4	②	八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ～ R13	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	八重瀬町地産地消フェア等の開催支援	・地産地消フェア来場者数:4100人以上	【今後のスケジュール】 イベントを通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した R4年度に新型コロナウイルス感染症流行後初開催となるため、来場者の実績次第でR5年度も変更になる可能性がある。	
5	①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R5	実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、「食」に対する意識や健康観の向上を図る。	食育SATシステムを活用した個人や地域の課題に応じた栄養教育の実施	食育SATを体験後、アンケート調査により「食事を改善したいと思った」の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 アンケート調査による事業の検証を行い、継続的に食育SAT(体験型栄養教育システム)を有効に活用し、沖縄県や町の現状を伝え、食や健康に関する意識を高め、生活習慣病の予防を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が食に対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	①	八重瀬歴史文化継承事業	R4 ～ R13	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。	[移民・出稼ぎ編] ・会議(3回) ・海外(ポリビア・ペルー・ハワイ)現地調査。 ・収集した証言や資料の整理。 [言語編] ・会議(3回) ・調査 ・企画展の開催 100人 [近代資料] ・有識者会議(4回) ・横内文書調査 ・「沖縄時論27号」調査	企画展の来場者数 100人	【今後のスケジュール】 R5年度以降も町の歴史・文化の調査研究及び資料収集を継続し、その継承を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
6	②	八重瀬町無形文化財活用推進事業	R4～R6	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため、ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化並びに既存施設の設備強化を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。	・ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化に向けた取り組み ・テスト公演の実施 ・施設機能強化工事	・各種団体との協議 ワークショップ及び公演内容の組み立て ・テスト公演による観覧者アンケートを実施 ・施設機能強化工事の完了	【R7成果目標】 年間利用者数 3,250人 【今後のスケジュール】 R4 ワークショップ及び公演内容の組立 テスト公演実施 施設機能強化計画策定 施設機能強化設計 R5 施 ワークショップ及び鑑賞公演の実施 施設機能強化の設計 R6 施 ワークショップ及び鑑賞公演の実施 施設機能強化の実施	【R7成果目標設定の考え方】 利用者数は以下の数値を参考に設定した。 ・町内児童・学生在籍数 ・沖縄県修学旅行生の需要数

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	③	八重瀬町伝承話資料保存継承事業	R5 ～ R11	八重瀬町に伝わる伝承話の保存、継承を図るため、伝承話保存センターに保管されている音源資料総数約2200話を調査、資料収集、整理をする。	伝承話資料センターに保存されているアナログ音源のデジタル化、一話毎にファイル分割、データベース作成及び伝承話資料ランク付けを600話分行う。	伝承話600話のデジタル化	<p>【令和6年度】 伝承話1,000話のデジタル化 整理・収集した目録作成及び著作権関係調査を行う ・HPの利用率10%以上(対R4年度比)</p> <p>【R7年度】 ・伝承話600話のデジタル化 整理・収集した目録作成及び著作権関係調査を行う</p> <p>【今後のスケジュール】 R8年度～R11年度:対話、IPA表記作成、 動画絵本(20話) 監修委員会</p>	【R5年度成果目標の設定の考え方】 委託業者の1日当たりの処理件数を参考に目標値を設定した。
7	①	八重瀬町高齢者おでかけサポート事業	R4 ～ R6	公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。	<p>①地域の現状やニーズの把握 自治会や関係機との連携を図り、利用者の獲得や利用しやすい環境づくりを行う。</p> <p>②安全講習の実施 登録ドライバーに対して安全講習等を実施する</p> <p>④実証運行の実施 車両については町において確保し、無償運行とする</p> <p>⑤利用者に対するアンケート調査の実施・評価</p>	<p>①参加自治会数:7自治会 ②利用人数:月平均25人以上 ③稼働率:40.0%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 参加自治会が増えるような周知広報を図り利用者の増加に向けた取組を図る。また、利用者の声を拾うため各自治会との意見交換会等を定期的に行い、利用しやすいような環境整備を図る。</p>	【R5成果目標の設定の考え方】 実証運行中であり、年間を通じた人数の把握が困難であるため、R4年度9月～1月(5か月)の実績値を上回るよう数値を設定。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	美化緑化推進事業	H25 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9ヵ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1	②	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R3 ～ R5	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	(1)観光PR動画製作 1件 (2)ガイド・コーディネーター育成 10名	(1)観光PR動画を作成することによって観光客の増加が見込まれる (2)ガイド・コーディネーターを育成することにより、本村の特有の体験することができる	【R6成果目標】 観光PR動画作成することにより、観光客の誘致を行う 開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者への黒糖、豆腐作り等体験する 200名 【今後のスケジュール】 体験型プログラムの開発や人材育成を行い、観光客の1人当たり消費額の増加につなげ、本村観光の振興を図り、村民所得の向上に繋げることで、沖縄振興に寄与する。	【R6成果目標設定の考え方】 今年度育成されたガイドが、今年度開発されたコンテンツプログラムを活用した来島者(観光客)を受け入れることにより、観光関連所得の向上を図ることができる。
2	①	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R6	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数:10頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合111%以上	【今後のスケジュール】 H29～R6の8年間で167頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	地域循環型農業推進事業	R4～ R5	本村における農業振興のため堆肥施設に大型機械を導入し、農作物の生産性を高め、農家所得の向上及び資源循環型農業の確立する。	自走式攪拌機の導入 1台	自走式攪拌機の導入 1台	【R6成果目標】 農作物の生産高の10%の増加(過去10年の平均値比)	【R6成果目標設定の考え方】 機械の導入により良質な堆肥の製造が可能となる。(過去10年の平均値比)
3	①	児童生徒島外教育諸活動事業	H27 ～ R13	島外で開催される大会に参加するための航空運賃や宿泊費に対して補助金を交付する。	①児童生徒、引率者の大会派遣に係る交通費(航空運賃)宿泊費に対する補助 ②島外の児童生徒との競争や交流の機会を通して、広い視野を広げさせながら意識の向上を図る	アンケートにより大会を通して、「島内ではできない経験ができた。意識の向上につながった」割合:80%	【今後のスケジュール】 島外への派遣を積極的に行いながら成果の達成につなげていく。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者において概ね肯定的な数値として設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	②	学力向上推進ALT活用事業	H27 ～ R13	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘:年間20回	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合:45%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 (小学生) 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (中学生) 過去の実績を勘案して設定した。
3	③	村営学習塾開設事業	H28 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みた上で臨機応変に対応できるように、オンライン方式での支援も視野に入れ実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数)-4.0ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語)-6.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、で継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R5 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	④	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を社会情勢を鑑みた方法(対面方式とオンライン方式)で行う。	・沖縄本島へ小学6年生(12名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(13名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(14名)、引率者(5名) ・島内での「ライフキャリア教育」中学3年生(15名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、で継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R5 成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	⑤	多良間村自然文化継承事業	H30 ～ R6	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復調査、年中行事の調査記録編集等を行い整理する。	・郷土資等の修復、公開 ・年中行事の調査記録編集整理	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 127人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 309人以上 ③シンポジウム来場者数 60人以上	【今後のスケジュール】 R5年度 修復電子化・現代語訳 ・年中行事の調査記録編集	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	⑥	多良間中学校グラウンド全天候型舗装工事(外周路)	H29 ~ R5	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、ジョギングやウォーキングコースとして多良間中学校グラウンドの外周路を全天候型に改修する。	外周路の舗装工事の実施	外周路の舗装工事の完了	【今後のスケジュール】 R5: 整備工事、供用開始 【R6成果目標】 グラウンドと併用した環境づくりをするために、外周路の整備をし、児童生徒の体育環境の充実と村民の健康増進につなげる。	【R6成果目標の考え方】 全天候型の外周路に整備することにより、雨天後の環境悪化でもグラウンドとともに使用出来る状況に整備する。 数値については、天候の悪化後でも使用できる状況の数値として100%と設定した。
3	⑦	電子黒板整備事業	R5	将来を担う児童生徒の人材育成及び学力の向上を図るため、小中学校に電子黒板を整備し児童生徒の興味関心を引き出し、分かりやすく集中力を高める授業環境を整える。	電子黒板の整備	電子黒板の整備完了	【今後のスケジュール】 積極的に電子黒板を活用した授業の展開を促進する。	【R6成果目標の考え方】 電子黒板を活用した授業が分かりやすかったと感じる児童生徒の指標を80%に設定した。 数値については、概ね肯定的であると考えられる数値として80%と設定した。
4	①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ~ R13	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島⇄多良間島間の自動車航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的條件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	多良間村離島住民コスト負担軽減事業	R5~ R13	コロナ禍や燃料価格高騰等さまざまな要因により離島の航空運賃が値上がりするため、運賃に対し負担額を交付することにより運賃の低減化を図る。	村民(離島カード所持者)が利用する宮古島⇄多良間島間の値上がりする航空運賃に対する補助(補助率:4割)	宮古島⇄多良間島間の航空路を利用する村民(離島カード所持者)への補助適用率:100%	【今後のスケジュール】 交通コストの負担軽減により、離島の地理的條件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者の全てに負担軽減を実施する必要があることから、この指標に設定した。
5	①	多良間村心身障害児等旅費助成交付金事業	R3 ~ R5	本村では対応できない心身障害及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	対象者の申請に対し助成金を交付する。	渡航費支援が必要な児童への支援率:100%	【今後のスケジュール】 今後も障害児及び療育支援を必要とする幼児、児童保護者の経済的負担を軽減する為に旅費助成を引き続き行う。	【R5成果目標設定の考え方】 障害者(児)アンケートで旅行支援のニーズが多かった。医療、福祉、教育の現場から療育支援の必要な児童に関する情報を参考に設定した。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	① たらびん公園整備工事	R4 ～ R5	住民の健康維持や、安心して子育てができる環境づくりの促進のため、運動スペースや遊具を備えた公園を整備する。	大型アスレチック遊具等の設置。	大型アスレチック遊具等の設置完了	【今後のスケジュール】 R5: 整備工事、供用開始 【R6成果目標】 公園の整備により「健康促進や子育て環境の向上」に繋がったと感じる村民の割合:80%以上	【R6成果目標設定の考え方】 R6～村民の健康促進を目指し村民の80%が健康促進等に繋がるような公園整備であったと、対象者である村民の大多数が「健康促進や子育て環境の向上」に繋がったと考えられる値として設定した。	
7	① ヤシガニ生息状況調査及び表示板設置事業	R5 ～ R10	ヤシガニ保護のため、現在の多良間島、水納島におけるヤシガニの生息状況を把握し、保全及び今後の持続的な利用に資する	多良間島、水納島におけるヤシガニの生息状況調査を行う。 ①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニを一時捕獲し、個体数・確認位置、サイズなどを記録する。 ②注意喚起・啓蒙普及表示板設置・・・表示板にヤシガニ注意とイラストで蛍光塗料を用い夜間に目立つようして注意喚起を図り併せてヤシガニの生態などを表示して村民、観光客に周知する。	①ヤシガニ生息状況調査・・・ヤシガニの採取は、繁殖期2回、非繁殖期1回行い150匹を目標とする。 ②注意喚起・啓蒙普及表示板設置・・・表示板は島内の一周道路沿いに10か所ほど選定して設置する。	【今後のスケジュール】 令和6年度～9年度は、村民有志や観光客を募って現場調査を予定。令和5年度調査の標識番号があるのは再計測する。また、新たな個体は標計測して記録する。そして、令和10年度調査では、新たな採取個体を記録し、併せて、再採取個体は再計測して成長度等を明らかにする。「ヤシガニ台帳」を作成してR11年度以降で標識番号のついた個体を発見した場合でも再計測して登録する。	【R5目標の考え方】 ヤシガニの採取個体数は繁殖期100匹程度、非繁殖期50匹程度併せて150匹程度を目標としている。日中に誘引餌を設置することでヤシガニの誘引を図り個体の確認に努める。また、注意喚起・啓蒙普及表示板設置については、ロードキルの多発している一周道路沿いをメインに10箇所設置する。	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	健康診査用機材搬送事業	H26 ～ R13	<p>島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。</p>	<p>集団検診時に検診車両を輸送</p> <p>年2回(車両3台)×5島6地区</p> <p>①住民健診・特定健診・胃がん検診</p> <p>②婦人がん(子宮頸がん)検診</p> <p>石垣発</p> <p>1.竹富島</p> <p>2.黒島</p> <p>3.小浜島</p> <p>4.波照間島</p> <p>5.西表島(上原)</p> <p>6.西表島(大原)</p>	<p>①特定健診対象者の受診率 60%以上</p> <p>②胃がん検診対象者の受診率 10%以上</p> <p>③婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率 30%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和5年度の各種健診実施について、早期にスケジュールの確定を行い、各種お知らせ、広報誌、インターネット、SNSを通じて広く告知をし、成果目標の達成を図る。</p> <p>また、胃がん検診については、引き続き特定健診と同時実施予定の為、利便性のアピールを行い、更なる受診率の向上を図る。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>国が定めている特定健診受診率の目標値及び過去の実績を参考に設定した。</p>
1	②	竹富町民等交通コスト負担軽減事業	H27 ～ R13	<p>町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。</p>	<p>町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。</p>	<p>本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。</p>
1	③	町外保育士等誘致支援事業	R4 ～ R6	<p>保育所の職員不足を解消するため、町外在住で竹富町内へき地保育所への就労を希望する者に対し、渡航費、引っ越し費用の移住費用(実費)を補助する。</p>	<p>渡航費、引っ越し費用の移住費用(実費)を補助する。</p>	<p>待機児童:0名</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>ホームページやハローワーク、保育士合同説明会の参加等を通して幅広く求人を行い、保育所の職員不足解消に繋げる。</p>	<p>【R5年度目標設定の考え方】</p> <p>保育所の職員不足が見込まれる保育所に配置し、年度途中の保育所入所希望者を受け入れ、待機児童をゼロにする。</p>
1	④	竹富町救急救命搬送拡充事業	R5 ～ R8	<p>島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において、救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し、安心な定住・観光環境を推進する。</p>	<p>急患患者が多い西表島西部地区における、救命救急に係る各種活動の実施</p> <p>(1)事故発生や発病等による傷病者への救命救急対応及び医療機関への搬送活動</p> <p>(2)西表西部診療所から他の医療機関への搬送及び搬送中における救急救命活動</p> <p>(3)応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動</p>	<p>・急患搬送の拡充が図られたか(80%以上)を含め、消防団・医療機関へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>・西表西部地区における救急搬送要請への対応率 100%</p>	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>西表島が世界自然遺産登録され、コロナ過以前より多くの観光客が訪れることにより、救急救命業務の増加が推測される。その為、西表島全体での救急救命業務の拡充の必要性があり、西表島東部での民間委託の展開を検討している。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】</p> <p>・対象者のうち大多数が拡充が図られたと考えられる値として設定した。</p> <p>・西表西部地区における救急搬送要請への対応率 100%</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	祖納上村地区観光路整備事業	R4 ~ R13	西表島祖納地区の通称「上村（ウイムラ）」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で活用に向けた土地利用計画を進められている。点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。	散策路整備に関する用地補償総合技術業務の実施	散策路整備に関する用地補償総合技術業務の完了	<p>整備後、1年目(R14)の目標を以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区単位の入域観光客数を把握していない為、R5~7年度に実績値を測り設定する。 <p>【事業スケジュール】(案) R4 調査測量設計 R5 用地補償業務 R6・R7 埋蔵文化財調査(文科省交付金) R8~R9 散策路整備工事 R10 基本設計 R11 実施計画 R12~R13 公園・拠点広場整備</p>	【R14成果目標設定の考え方】 ・地区単位の入域観光客数を把握していない為、R5~7年度に実績値を測り設定する。
2	①	竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ~ R13	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、歴史を活用したコンテンツの調査、支援 ・町内での消費を促すポイントカードシステムの運用 ・ブランドイメージ構築に向けたポータルサイト改修、PV制作 ・経済波及に関連する勉強会実施 ・振興計画の周知による町民への意識啓発 ・星空観測タワーの整備に関する意向調査 	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 満足度調査を継続的に実施しながら取組の効果を検証し、将来的には観光消費額の目標値を設定して持続可能な観光振興に取り組む。	【R5成果目標設定の考え方】 現行の観光振興基本計画に基づき、半数以上の観光客が5段階評価の最高評価をつけることを目標に設定している。現在策定中の観光振興基本計画により変更になる可能性がある。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ~ R7	年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民の活用や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う	R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査及び映像資料のデジタル化を行うとともに、町史編集室に保管されている保存状態の悪い写真・資料等のデジタル化を行う。	町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPにて公開を行う。	<p>【R8成果目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①来館者アンケート満足度80% ②閲覧館者数 40,000人/年 <p>【今後のスケジュール】 R5~6 資料収集及びレドデータ作成 R7 公表データ作成 R8 デジタルミュージアム開館</p>	【R8成果目標設定の考え方】 ①対象者のうち大多数が公開資料に満足していると考えられる値として設定。 ②基本構想の中で算出した来館者数と観光前にデジタル資料を閲覧する人数は等しいと想定し、年間40,000人程度の閲覧数を目標とする。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	③	竹富島ンブフル坂、世持御嶽前石畳整備事業	R5～R6	住民や観光客の多くが利用されるンブフル坂及び世持御嶽前の道路を通行者の快適性や安全性を確保し安心安全な観光地として景観にふさわしい石畳道路の整備を行う。	石畳整備工事の実施 ・世持御嶽前 308㎡	石畳整備工事の完了	<p>【R7成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R5: 整備工事 R6: 整備工事 R7: 供用開始</p>	【R7成果目標設定の考え方】 数値については、大多数の利用観光客等にとって利便性が確保されていると考えられる数値として80%以上とした。対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	①	児童生徒派遣費支援事業	H24～R13	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツ・文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	派遣費補助児童生徒人数のべ 1,000名/年度	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、学校教諭・保護者へのアンケートにより、本事業の効果を確認する。	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に島内ではできない経験をおして広い視野を持たせることができるよう、派遣への補助を行う。アンケート自由記入欄意見等を参考に、より良い事業のあり方を検証していく。</p>	【R5成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、指標値についてアンケート調査により確認する。
3	②	外国語指導助手派遣事業	H27～R8	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語のサポートを行う。	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校に派遣 150回/年度	幼児児童の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上を含め)、アンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 幼児児童は年度ごとに進級、入学、卒業で入れ替わりがあるため、継続して取り組む必要がある。また、各幼稚園・学校教諭へ担当者がヒアリングを行い、改善点を見つけてより良い体制を構築するとともに、台風による船便欠航時やコロナによる学校休校時では、オンラインで授業ができる体制を構築する。</p>	【R5成果目標設定の考え方】 授業を受けた幼児児童のうち大多数が外国語への興味関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
4	①	竹富町和牛生産推進事業	H24～R13	優良繁殖雌牛の導入(購入費の1/2以内、1頭当たり600千を上限とする。)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備をすることで生産の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・離島港湾靴底消毒用マット設置、6箇所(竹富・黒島・小浜・西表大原・上原・波照間) ・優良繁殖雌牛導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防疫マット設置6箇所 ・家畜伝染病等の発生件数0件 ・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭導入支援 	<p>【R7成果目標】 導入後、約2年後に優良繁殖雌牛より生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 1.22%以上</p>	<p>【R7成果目標の考え方】 導入牛から生まれる子牛は種付け後から10カ月後の出産、また出荷までに約10カ月～12カ月の飼養期間が必要となる為、約2年後の令和7年度時での価格値を確認する。 H27年度(基準年度) 631,839円(A) 624,169円(B) A/B=101.22%</p>

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
4	②	文化財美化保全事業	H24 ～ R13	・観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	・委託先の公民館は年間3回以上は美化清掃を実施する。	事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートによる、本事業のあり方を検証する。	コロナ後のインバウンド需要において、文化財を活用した観光地として美化保全は有効であり、観光客への満足度の向上及び地域住民の幸福度の向上にもつながる。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	③	ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R13	世界自然遺産に登録された西表島の貴重な自然生態系の保全、特に国の天然記念物である絶滅危惧種にも指定されたイリオモテヤマネコの生息環境を保全する	・竹富町猫飼養条例運用委員会西表部会の開催 ・飼い主不明猫の保護収容 ・保護収容個体と傷病鳥獣への措置(獣医師の常駐) ・猫適正飼養の普及推進 ・ペット適正飼育の普及啓発 ・飼い猫登録管理の支援 ・世界自然遺産モニタリングに対応した猫の飼養状況調査	・飼い主不明の保護収容数4頭以内 ・飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%	【今後のスケジュール】 最終目標としては、飼い主不明猫の発生件数自体の0を目指す。 飼い猫における特定の感染症の感染率の低減と、屋外での活動を抑えるために屋内飼養の普及推進を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 飼い主不明猫の発生件数は過去の実績を勘案して設定した。 ワクチン接種率は、ワクチンの有効期限から設定した。	

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	地域振興対策事業	H24 ～ R13	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	カジキ釣り大会の補助(7月) 一周マラソン大会の補助(11月)	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,600人	イベント開催月の入域観光客数 令和5年:6600人 SNSの活用や新規コンテンツを交え、観光客数の増加を目指す	過去の実績を勘案して設定した
1	②	与那国町誘客促進活性化事業	H30 ～ R13	観光PRを行い、与那国町の知名度アップや観光客誘致につなげるとともに、観光客の受入体制の整備・強化を行う	・与那国島観光物産展 ・伝統芸能フェアの開催 ・PRツール作成 ・JIBSNや日本ジオパークネットワーク等関連団体との連携 ・観光誘客PR及び商品造成の推進 ・観光客受け入れ体制の整備及び強化	・物産・伝統芸能フェア来場者数 4,000人	県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る	過去の実績を勘案して設定した
1	③	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ～ R13	・与那国島特産品のブランディング向上 ・各事業所の売り上げアップと販路開拓を図る	事業者の販路開拓及び新商品開発などの取り組みを支援し、地域けいざいの活性化を図る	県内外物産展・フェア・商談会への出展 ・県内3回 ・県外1回	出展業者を増やし、各商品の売上額や新規バイヤーとの契約数などの実績をもとに各社の課題を見出し取り組みに活かしていく。	過去の実績を勘案して設定した
2	①	優良牛繁殖雌牛導入事業	R4 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・優良母牛及び妊娠牛導入の支援:30頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛及び妊娠牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	R4 ～ R8	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保:39人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	官民一体型新産業推進基本計画書策定事業	R5～ R13	官民一体型による新規産業を推進するため、官民連携に係る基本方針と一定の導入基準を設定し円滑な事業実施を図る。	官民一体型新産業推進基本計画書の策定	官民一体型新産業推進基本計画書の策定完了	【R5成果目標】 計画書策定後に実施される官民一体型新産業の年度毎の導入事業数を設定し事業振興に取り組む。 【今後のスケジュール】 R5 計画書策定 R6 導入事業 1件以上 R7 導入事業 1件以上	【R5成果目標設定の考え方】 当該計画書により基本方針及び一定の導入基準を策定することにより事業導入が円滑に推進されたことを年度ごとに検証する。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R5活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	④	与那国島地域デジタル推進事業	R5	与那国町における「地域デジタル推進に向けた調査・分析」業務。	「地域デジタル推進に向けた調査・分析」業務 1)調査・分析・考察 ①現状分析のための地域アンケートの実施 ②離島辺地における取組事例調査 ③ワーケーション誘致に向けた調査 2)基本的な方向性(仮説設定)の考察と提示	・与那国町「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料の作成	【今後のスケジュール(R6年度以降)】 ①策定される「地域デジタル推進のための調査・分析」資料に沿って、地域企業へのICT導入支援策を整理していく。また必要に応じ「アクションプラン」を策定する。 ②地域に必要なICT人材ニーズに対する人材育成を実施する。 ③産業振興に資する島外ICT人材の誘致にむけて、具体的に取り組むべき政策を進めていく。	ICT技術導入を軸に産業振興に資する計画を全体的に着実に実施し、デジタル先進離島自治体を目指す。
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R13	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	町営学習塾において学習指導の実施	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生 国語: +7.5ポイント 以上 算数: +9.8ポイント 以上 中学生 数学: +2.7ポイント 以上 英語: 0ポイント 以上	【今後のスケジュール】 今後も学力向上を図るため、町営塾を開設する。	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	②	教育諸活動助成事業	R4 ～ R13	児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	島外で開催される大会等へ参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃の補助を行う。	全児童生徒が派遣に行く機会をえることで、視野を広げること。児童生徒の保護者に対し、アンケートを取り、検証する。(80%以上)	対象児童生徒の保護者に対し、アンケートの実施	児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した
3	③	地域国際交流事業	R4 ～ R13	小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流授業やICT交流を通じて国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・現地交流授業の実施: 17人 ・派遣前後のICT交流授業の実施 ・報告会の実施 ・報告書の作成 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・保護者向けの事後アンケート調査実施	事業実施後、児童の「国際的な視野の広がり」を感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 準備段階である事前学習を含め、台湾での交流授業とテレビ会議システムによる交流を実施することで、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R5目標設定理由】 派遣された児童のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、保護者・教諭向けアンケートにより検証する。

R5活動目標(指標): 令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R5成果目標(指標): 令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R5事業内容	R5活動目標(指標)		R5成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
3	④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	R4 ～ R13	中学生を英語圏の語学研修へ派遣し、ネイティブによる語学学校の授業や海外での生活・体験をとおして、語学力の向上と国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	・研修への派遣:4人 ・報告書の作成 ・報告会の実施 ・新聞社へ感想文を寄稿 ・生徒、保護者、教員向けの事後アンケート調査実施	事後アンケート調査において「国際的な広い視野を持たせたかどうか」「語学能力・学習意欲の向上」の肯定回答(80%以上)を含め、保護者・教員へのアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して中学生を英語圏の語学研修へ派遣することで、語学力向上と国際的な広い視野を備えた人材の育成を図る。	【R5目標設定理由】 派遣された生徒のうち大多数が国際的な視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、保護者・教諭向けアンケートにより検証する。	
4	①	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ～ R5	子ども達が安心して遊び学べるよう指導員の確保を行い、幼稚園から学童までを安全かつ効率よく移動するためバスの運行を実施する。また、指導員のスキルアップのため研修等への参加を支援する。	○指導員(3名) ○指導員の研修参加支援	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(90%以上)	【今後のスケジュール】 今後は子育てに関する負担軽減のみならず、保育の質も高めていくこととする。	【R5目標設定理由】 利用児童の保護者のうち大多数にとって子育て負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
5	①	少子高齢化対策事業	H24 ～ R5	本町唯一の医療機関である与那国診療所には各専門医がいないため、出産または専門医療を受けるためには島外の石垣島へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	・妊産婦定期健診及び出産時の渡航費、宿泊費の助成実施 ※妊産婦一人当たり受診回数:15回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	基本的に石垣市での健診及び出産を対象としているが、高度周産期医療が必要で石垣市での出産が困難な状態等に限り、沖縄本島での対応も助成対象とすることとし、また、新生児集中治療室で医療を受けていた期間(30日を限度)の経費も助成対象とすることで、妊産婦の経済的及び精神的負担にも対応していく。		
6	①	公共交通路線支援事業	H24～ R13	公共交通路線バス運行費用への支援	公共交通路線バス運行費用への支援	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 島民及び来島者のうち大多数にとって島内移動の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	②	与那国町離島住民等交通コスト負担軽減事業	R5	与那国町民等の交通コスト負担軽減の実施	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路線を維持する。	離島航空路の渡航運賃低減化を図り、離島航空路線を維持する。	【今後のスケジュール】 離島航路の継続的な運航を図る	【R5成果目標設定の考え方】 離島航路の継続的な運航を図る	

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和5年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R5成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	③	与那国町国境交流結節点化推進事業	R5	新たなボーダーツーリズムの形を創り、八重山圏域における観光の流れを変化させ、観光振興による地域経済の活性化を図るため、与那国町と台湾(花蓮市)を高速船で結ぶ「社会実験」を実施する。	・外航不定期航路事業の実施(与那国町と台湾(花蓮市)間における社会実験) 実施予定:3月	・新たなボーダーツーリズムの形として有効であると回答した人数8割以上(参加者へアンケート実施)(R5) ・与那国-台湾間の就航による交流人口増加数:5,000人(R9)	【R5成果目標】 社会実験を実施することにより、新たなボーダーツーリズムの形を作ることで、既存の入域観光客とは違う新たなルートによる誘客促進につなげる。 【今後のスケジュール】 R5 社会実験の実施 1回目 R6 社会実験の実施 2回目 クルーズ船寄港 4回 R7 社会実験の実施 3回目 クルーズ船寄港 8回	【R5成果目標設定の考え方】 与那国町が社会実験を実施することにより、非検疫港による外航不定期航路事業の事例を実証し、クルーズ船の受入れも含めた実績を重ね、民間事業者の参入による定期航路化を目指し、最終的には開港を目標とする。

R5活動目標(指標):令和5年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R5成果目標(指標):令和5年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。